
須崎市
高齢期の健康と福祉に関する調査
報告書

令和5年2月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 地区、年齢、性別	2
(2) 認定・該当状況別	3
3. ご家族や生活状況について	4
(1) 家族構成	4
(2) 暮らし・住まいの状況	5
① 介護・介助の必要性	5
② 主な介護者	9
③ 経済状況	11
4. からだを動かすことについて	12
(1) 運動・転倒の状況	12
◆運動器の機能低下リスクの判定	13
◆転倒リスクの判定	15
(2) 外出の状況	16
① 外出の頻度	16
◆閉じこもりのリスクの判定	16
② 外出を控えているか	19
③ 外出の際の移動手段	22
5. 食べることについて	24
(1) 口腔	24
① 口内の健康状態	24
◆口腔機能の低下リスクの判定	24
② 歯の状況	26
(2) 栄養	31
① 体重の状況	31
◆栄養改善のリスクの判定	31
◆低栄養のリスクの判定	32
② 孤食の状況	34

6. 毎日の生活について	35
(1) 物忘れ.....	35
◆認知機能の低下リスクの判定	35
(2) IADL の状況	38
◆ 社会的自立度（IADL）の判定	39
(3) 趣味・生きがいについて.....	41
(4) ゴミ出しや掃除について.....	45
7. 地域での活動について	46
(1) 地域活動への参加の状況.....	46
(2) 活動の認知状況.....	51
(2) 地域活動づくりへの参加意向.....	53
8. たすけあいについて	55
(1) 周囲との相互の関係.....	55
◆たすけあい合計点	59
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手.....	61
(3) 友人・知人との関係性.....	62
9. 健康について	67
(1) 健康状態.....	67
① 主観的な健康感	67
② こころの健康	68
◆うつリスクの判定	69
(2) 飲酒・喫煙.....	72
(3) 病気の状況.....	74
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	76
(1) 認知症の症状の有無.....	76
(2) 認知症の相談窓口の周知状況.....	77
11. 健康づくりや生活支援体制について	79
(1) 健康づくりや介護予防への関心.....	79
(2) 在宅生活を続けるために必要なこと.....	80
12. その他	82
(1) 成年後見制度の認知状況.....	82
(2) 人生の最期への備え.....	84
(3) 生活での困りごと.....	88

(4) ボランティアへの参加意向	90
(5) 配食サービスの利用状況	92

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けるにはどのような仕組みがあればよいのか、地域の課題を把握することなどを目的として、アンケート調査を実施しました。

調査結果は、第9期須崎市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定の基礎資料のほか、効果的な介護予防活動支援等に活用することを目的としました。

(2) 調査の実施について

対象者	令和4年11月1日現在、須崎市内にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5及び施設入所者を除く)
実施期間	令和4年12月12日(月)～令和4年12月30日(金)
実施方法	郵送配布、郵送回収

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
7,185 件	3,730 件	3,693 件	51.4%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

2. 回答者の属性

(1) 地区、年齢、性別

単位 上段：人／下段：％

			全体	地区						
				上分地区	新莊地区	須崎地区	多ノ郷地区	吾桑地区	浦ノ内地区	南地区
全体			3,693	241	370	875	1,164	410	428	205
			100.0	6.5	10.0	23.7	31.5	11.1	11.6	5.6
性別	男性		1,572	112	163	361	463	191	198	84
			100.0	7.1	10.4	23.0	29.5	12.2	12.6	5.3
	女性		2,121	129	207	514	701	219	230	121
			100.0	6.1	9.8	24.2	33.1	10.3	10.8	5.7
年齢	65-69歳		691	58	79	146	225	74	69	40
			100.0	8.4	11.4	21.1	32.6	10.7	10.0	5.8
	70-74歳		927	65	103	197	294	107	113	48
			100.0	7.0	11.1	21.3	31.7	11.5	12.2	5.2
	75-79歳		817	44	78	217	252	105	81	40
			100.0	5.4	9.5	26.6	30.8	12.9	9.9	4.9
	80-84歳		673	43	52	169	215	72	83	39
			100.0	6.4	7.7	25.1	31.9	10.7	12.3	5.8
	85歳以上		562	28	56	140	172	51	78	37
			100.0	5.0	10.0	24.9	30.6	9.1	13.9	6.6
性・年齢	男性	前期高齢者	718	57	83	152	207	85	92	42
			100.0	7.9	11.6	21.2	28.8	11.8	12.8	5.8
		後期高齢者	844	54	80	205	255	105	103	42
			100.0	6.4	9.5	24.3	30.2	12.4	12.2	5.0
	女性	前期高齢者	900	66	99	191	312	96	90	46
			100.0	7.3	11.0	21.2	34.7	10.7	10.0	5.1
	後期高齢者	1,208	61	106	321	384	123	139	74	
		100.0	5.0	8.8	26.6	31.8	10.2	11.5	6.1	

(2) 認定・該当状況別

単位 上段：人／下段：％

			全体	認定該当状況		
				一般高齢者	要支援 1	要支援 2
全体			3,693	2,892	104	82
			100.0	78.3	2.8	2.2
性別	男性		1,572	1,257	32	29
			100.0	80.0	2.0	1.8
	女性		2,121	1,635	72	53
			100.0	77.1	3.4	2.5
年齢	65-69歳		691	630	5	1
			100.0	91.2	0.7	0.1
	70-74歳		927	804	6	8
			100.0	86.7	0.6	0.9
	75-79歳		817	648	18	10
			100.0	79.3	2.2	1.2
	80-84歳		673	490	28	12
			100.0	72.8	4.2	1.8
	85歳以上		562	307	45	46
			100.0	54.6	8.0	8.2
性・年齢	男性	前期高齢者	718	630	8	4
			100.0	87.7	1.1	0.6
		後期高齢者	844	618	24	24
			100.0	73.2	2.8	2.8
	女性	前期高齢者	900	804	3	5
			100.0	89.3	0.3	0.6
後期高齢者		1,208	827	67	44	
		100.0	68.5	5.5	3.6	

3. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問1.1 家族構成をお教えてください。(1つだけ○)

【全体】

○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」が40.1%で最も多く、次いで「一人暮らし」が25.2%、「その他」が14.3%となっています。

【性・年齢】

○ 「一人暮らし」は女性 後期高齢者が36.1%と他の区分に比べて多くなっています。

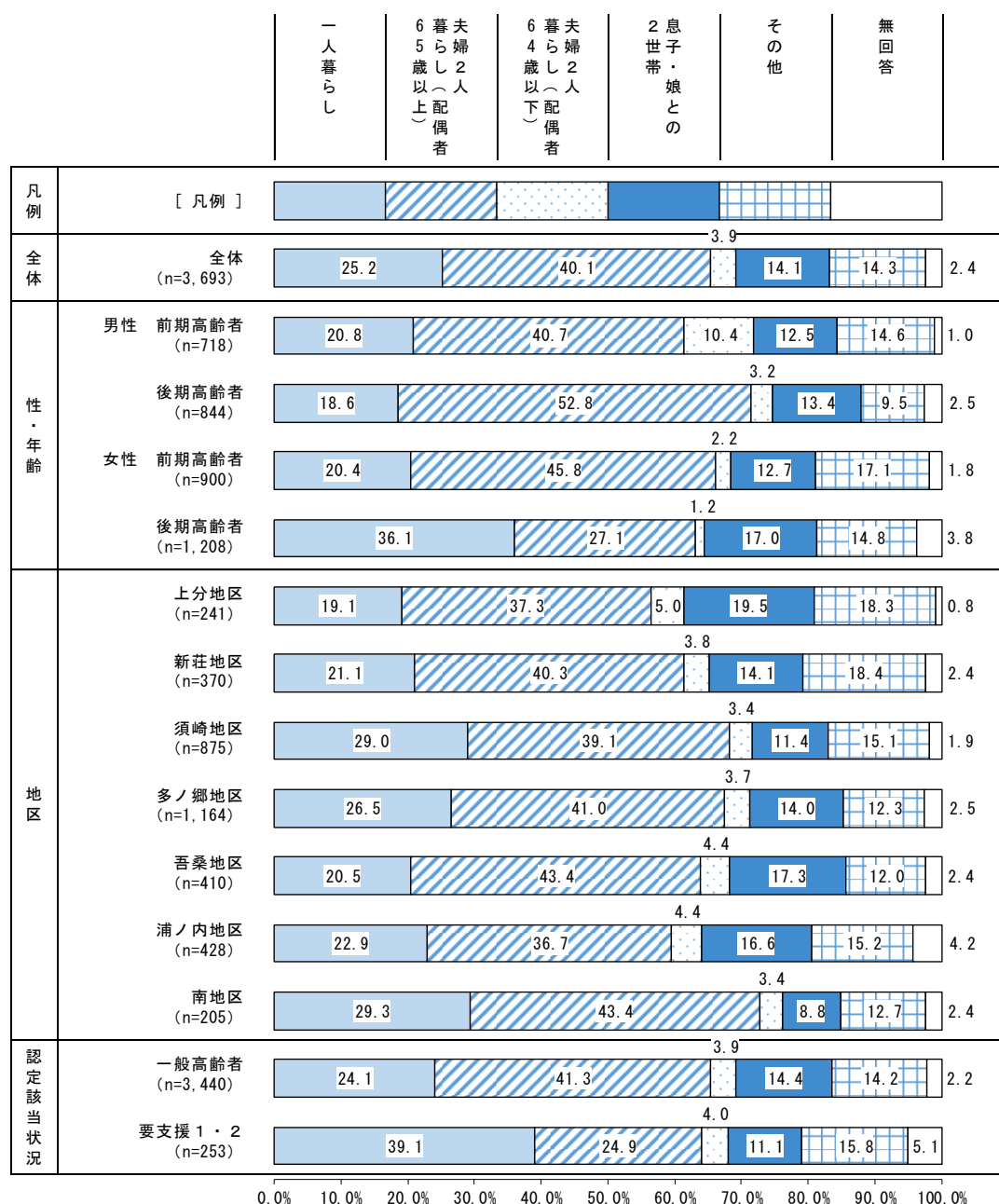
【地区】

○ 「一人暮らし」は須崎地区が29.0%、多ノ郷地区が26.5%、南地区が29.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「一人暮らし」は一般高齢者が24.1%、要支援1・2が39.1%となっています。

【家族構成】



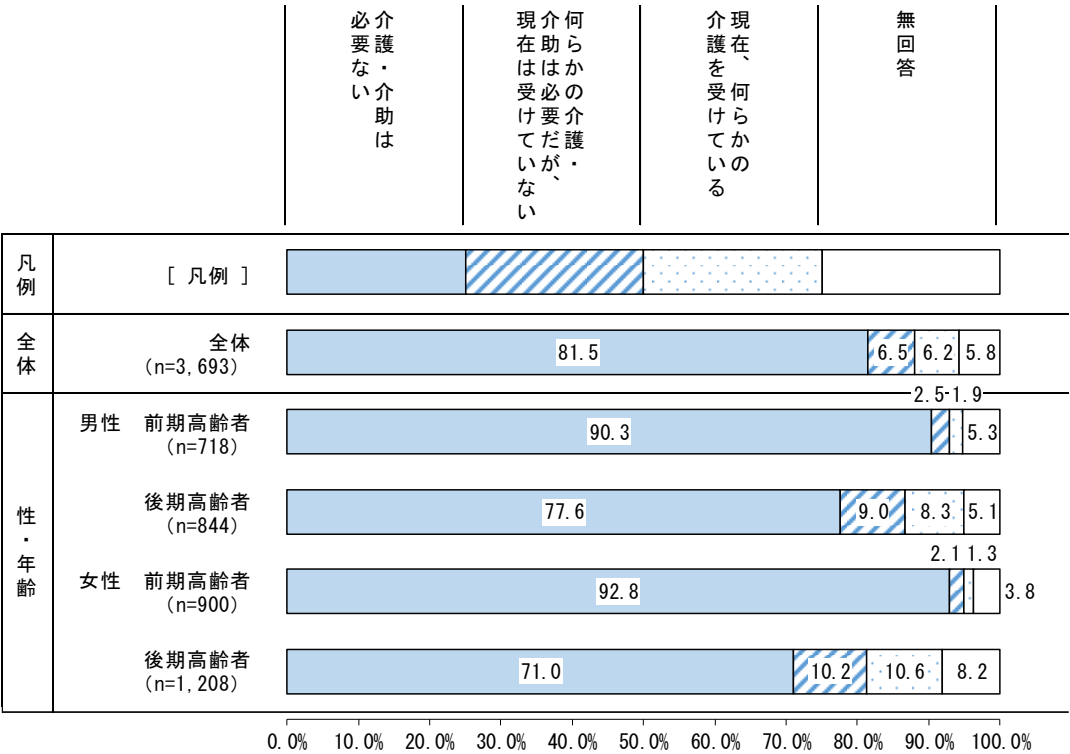
(2) 暮らし・住まいの状況

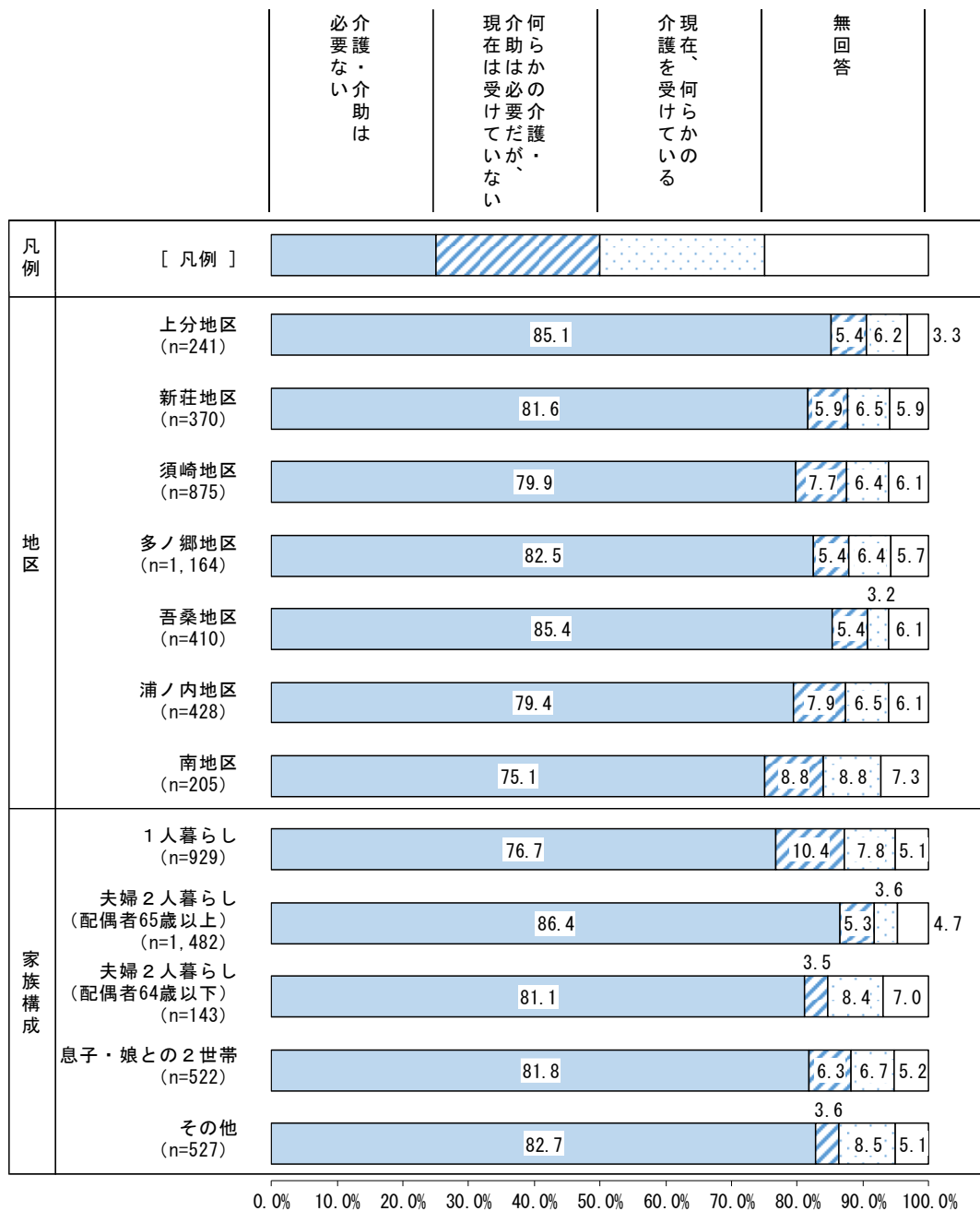
① 介護・介助の必要性

●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

【全体】
○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 81.5%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 6.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が 6.2%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が多くなっています。
【地区】
○ 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は須崎地区が 7.7%、浦ノ内地区が 7.9%、南地区が 8.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【家族構成】
○ 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は1人暮らしが 10.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】



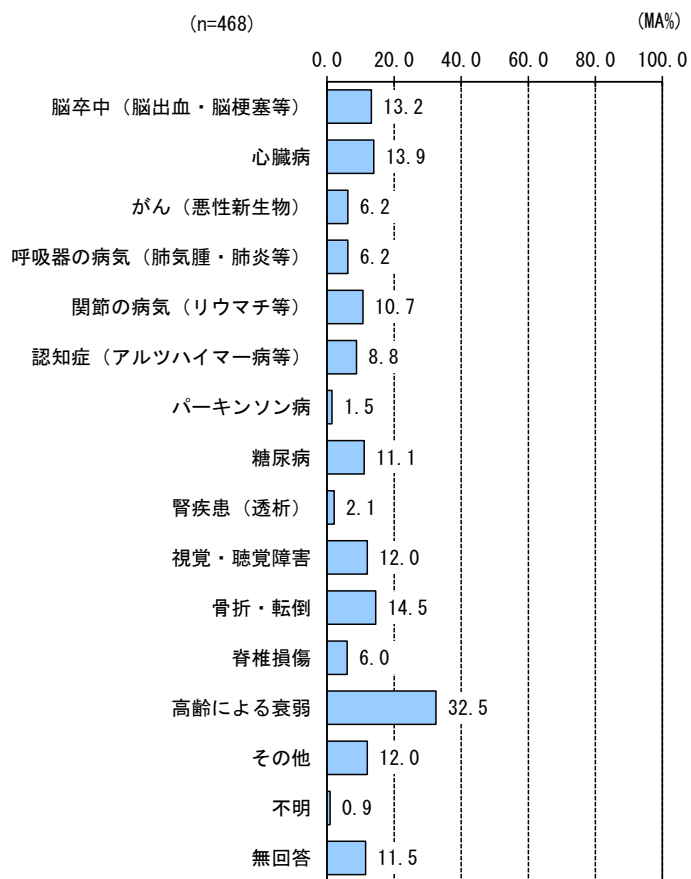


●問1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が 32.5%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が 14.5%、「心臓病」が 13.9%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病 気 (肺炎等)	関節の病 気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全体		468	13.2	13.9	6.2	6.2	10.7	8.8	1.5	11.1
性・年齢	男性 前期高齢者	32	15.6	9.4	12.5	12.5	6.3	3.1	-	6.3
	後期高齢者	146	15.1	17.1	12.3	10.3	8.9	15.1	1.4	17.8
	女性 前期高齢者	31	12.9	6.5	6.5	12.9	12.9	16.1	3.2	16.1
	後期高齢者	251	10.0	13.5	2.0	2.4	12.4	5.2	1.6	7.2
地区	上分地区	28	10.7	17.9	10.7	10.7	7.1	7.1	-	7.1
	新荘地区	46	△ 28.3	8.7	8.7	2.2	△ 21.7	10.9	2.2	10.9
	須崎地区	123	7.3	17.9	6.5	8.9	8.9	6.5	0.8	14.6
	多ノ郷地区	138	15.9	12.3	2.9	4.3	10.1	8.7	0.7	10.1
	吾桑地区	35	14.3	20.0	14.3	8.6	11.4	8.6	5.7	5.7
	浦ノ内地区	62	11.3	9.7	6.5	3.2	8.1	14.5	-	14.5
	南地区	36	8.3	11.1	2.8	8.3	11.1	5.6	5.6	5.6
認定該当状況	一般高齢者	295	10.5	13.9	7.8	8.1	10.8	11.5	1.0	12.9
	要支援1・2	173	17.9	13.9	3.5	2.9	10.4	4.0	2.3	8.1

単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		468	2.1	12.0	14.5	6.0	32.5	12.0	0.9	11.5
性・年齢	男性 前期高齢者	32	3.1	15.6	21.9	3.1	▼ 21.9	18.8	-	12.5
	後期高齢者	146	4.8	12.3	6.2	7.5	34.2	7.5	-	8.9
	女性 前期高齢者	31	-	12.9	16.1	9.7	▼ 12.9	12.9	3.2	6.5
	後期高齢者	251	0.8	11.6	18.3	5.2	36.3	13.1	0.8	13.9
地区	上分地区	28	-	17.9	10.7	10.7	35.7	10.7	-	3.6
	新荘地区	46	-	6.5	19.6	2.2	41.3	8.7	-	13.0
	須崎地区	123	2.4	15.4	16.3	7.3	34.1	13.8	0.8	11.4
	多ノ郷地区	138	1.4	13.8	15.9	5.8	23.9	13.0	0.7	11.6
	吾桑地区	35	2.9	11.4	5.7	8.6	△ 45.7	11.4	-	5.7
	浦ノ内地区	62	4.8	8.1	11.3	4.8	29.0	12.9	-	14.5
	南地区	36	2.8	2.8	13.9	2.8	38.9	5.6	5.6	16.7
認定該当 状況	一般高齢者	295	2.7	11.9	11.9	5.4	30.8	9.2	1.0	14.2
	要支援1・2	173	1.2	12.1	19.1	6.9	35.3	16.8	0.6	6.9

② 主な介護者

●問1.2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」「娘」が 33.2%で最も多く、次いで「息子」が 27.5%、「介護サービスのヘルパー」が 22.3%となっています。

【性・年齢】

○ 「配偶者（夫・妻）」は女性 後期高齢者が 20.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【地区】

○ 「配偶者（夫・妻）」は上分地区が 53.3%、多ノ郷地区が 38.7%、吾桑地区が 46.2%と他の区分に比べて多くなっています。

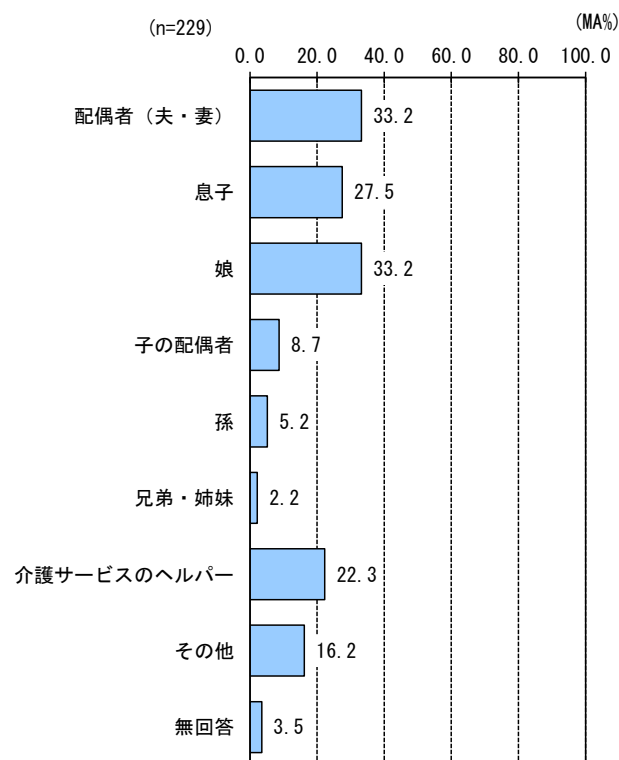
【認定該当状況】

○ 一般高齢者では、「配偶者（夫・妻）」が 41.8%で最も多く、要支援1・2では、「介護サービスのヘルパー」が 35.1%で最も多くなっています。

【家族構成】

○ 「介護サービスのヘルパー」は1人暮らしが 34.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者(MA)】



単位：％

		母数 (n)	主な介護者 (MA)								
			配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無 回 答
全体		229	33.2	27.5	33.2	8.7	5.2	2.2	22.3	16.2	3.5
性・年齢	男性 前期高齢者	14	△ 50.0	▼ 7.1	▼ 21.4	7.1	-	-	▼ 7.1	35.7	21.4
	後期高齢者	70	△ 47.1	28.6	30.0	10.0	4.3	2.9	24.3	12.9	-
	女性 前期高齢者	12	△ 50.0	▼ 8.3	▼ 16.7	8.3	-	-	25.0	16.7	8.3
	後期高齢者	128	▼ 20.3	32.0	39.1	8.6	7.0	2.3	22.7	16.4	2.3
地区	上分地区	15	△ 53.3	20.0	△ 60.0	13.3	6.7	-	▼ 6.7	13.3	-
	新荘地区	24	▼ 20.8	△ 37.5	33.3	8.3	4.2	4.2	25.0	8.3	-
	須崎地区	56	26.8	28.6	39.3	5.4	8.9	1.8	23.2	23.2	1.8
	多ノ郷地区	75	38.7	22.7	26.7	9.3	2.7	2.7	30.7	13.3	6.7
	吾桑地区	13	△ 46.2	▼ 15.4	38.5	-	-	-	▼ 7.7	7.7	-
	浦ノ内地区	28	28.6	32.1	28.6	14.3	3.6	-	21.4	17.9	3.6
	南地区	18	27.8	△ 38.9	▼ 22.2	11.1	11.1	5.6	▼ 5.6	22.2	5.6
認定該当 状況	一般高齢者	98	41.8	32.7	35.7	5.1	6.1	2.0	▼ 5.1	13.3	5.1
	要支援 1・2	131	26.7	23.7	31.3	11.5	4.6	2.3	△ 35.1	18.3	2.3
家族構成	1人暮らし	72	-	▼ 16.7	38.9	11.1	-	1.4	△ 34.7	25.0	4.2
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	53	△ 79.2	22.6	▼ 18.9	1.9	3.8	1.9	18.9	7.5	1.9
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	12	△ 58.3	25.0	-	8.3	-	-	16.7	16.7	8.3
	息子・娘との2世帯	35	42.9	△ 51.4	42.9	17.1	14.3	2.9	17.1	5.7	-
	その他	45	▼ 17.8	33.3	△ 44.4	6.7	6.7	2.2	13.3	20.0	4.4

③ 経済状況

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 経済状況について、「ふつう」が 55.3%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 26.8%、「大変苦しい」が 9.9%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は 36.7%となっています。

【性・年齢】

○ “苦しい方”は男性 前期高齢者が 39.7%と他の区分に比べて多くなっています。

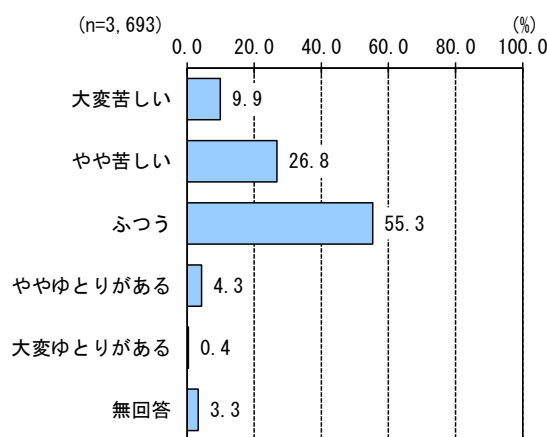
【地区】

○ “苦しい方”は南地区が 39.5%、須崎地区が 38.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 一般高齢者では“苦しい方”が 36.3%、要支援1・2は“苦しい方”が 41.1%となっています。

【経済状況】



		母数 (n)	経済状況						“ 苦しい方”
			大変 苦しい	やや 苦しい	ふつ う	やや ゆとり がある	大変 ゆとり がある	無回 答	
全体		3,693	9.9	26.8	55.3	4.3	0.4	3.3	36.7
性・年齢	男性 前期高齢者	718	12.1	27.6	52.5	5.4	0.4	1.9	39.7
	後期高齢者	844	10	26.8	55.1	4.3	0.4	3.6	36.8
	女性 前期高齢者	900	9	28.2	55.8	4.1	0.3	2.6	37.2
	後期高齢者	1,208	8.9	25.2	57	3.8	0.5	4.5	34.1
地区	上分地区	241	8.3	28.2	58.1	2.9	—	2.5	36.5
	新荘地区	370	7.6	24.3	60.3	3.5	0.5	3.8	31.9
	須崎地区	875	12	26.5	52.3	5.1	0.5	3.5	38.5
	多ノ郷地区	1,164	9.3	28.1	55.2	3.9	0.5	3	37.4
	吾桑地区	410	8.5	25.4	57.8	5.1	0.2	2.9	33.9
	浦ノ内地区	428	10	26.4	53.5	5.8	0.5	3.7	36.4
	南地区	205	13.2	26.3	54.6	2	—	3.9	39.5
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	9.7	26.6	55.9	4.4	0.4	3	36.3
	要支援 1・2	253	12.6	28.5	47.4	3.2	0.4	7.9	41.1

4. からだを動かすことについて

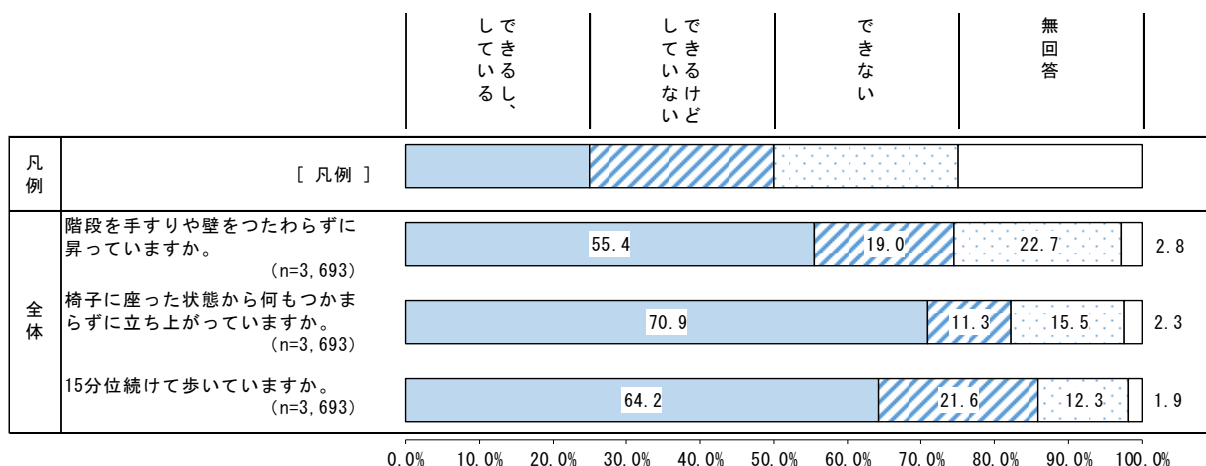
(1) 運動・転倒の状況

- 問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)
- 問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)
- 問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が 55.4%で最も多く、次いで「できない」が 22.7%、「できるけどしていない」が 19.0%となっています。
- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が 70.9%で最も多く、次いで「できない」が 15.5%、「できるけどしていない」が 11.3%となっています。
- 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が 64.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 21.6%、「できない」が 12.3%となっています。

【運動の状況（まとめ）】

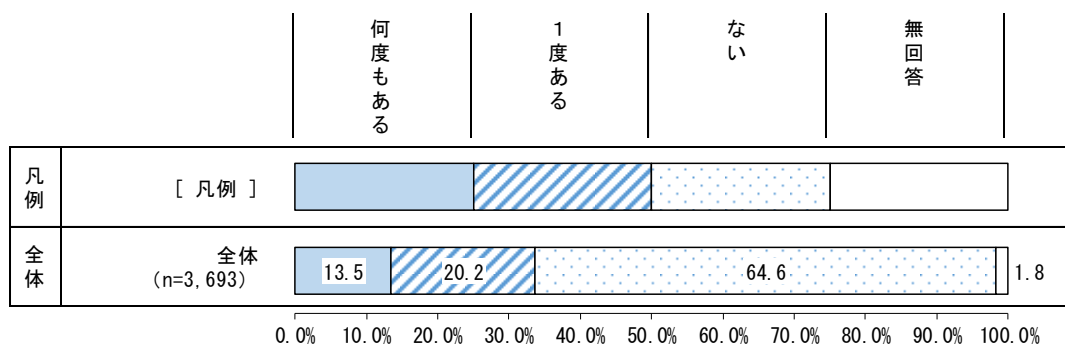


- 問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

【全体】

- 転倒経験について、「ない」が 64.6%で最も多く、次いで「1度ある」が 20.2%、「何度もある」が 13.5%となっています。

【転倒経験】

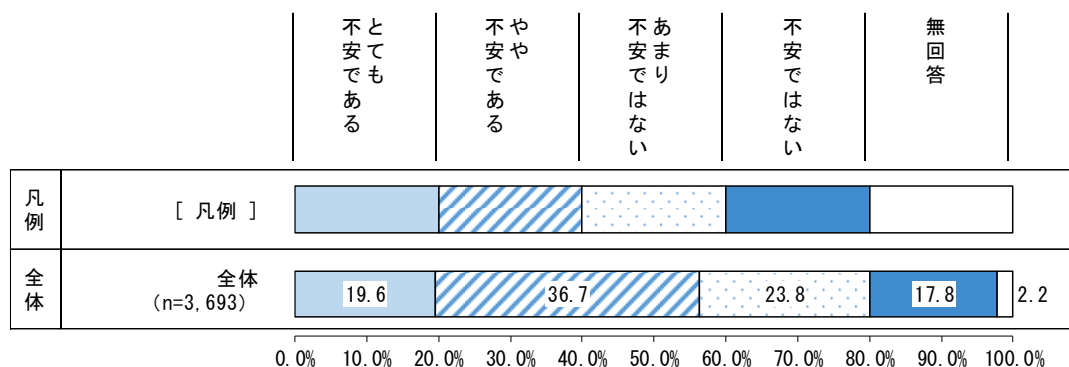


●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が 36.7%で最も多く、次いで「あまり不安ではない」が 23.8%、「とても不安である」が 19.6%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は 56.3%となっています。

【転倒に対する不安】



◆運動器の機能低下リスクの判定

●判定方法

以下の設問に対して 5 問中 3 問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15 分位続けて歩いていますか	できない
過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1 度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／ やや不安である

【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が 19.9%、「非該当」が 80.1%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。特に女性後期高齢者では 33.9%と他の区分に比べて多くなっています。

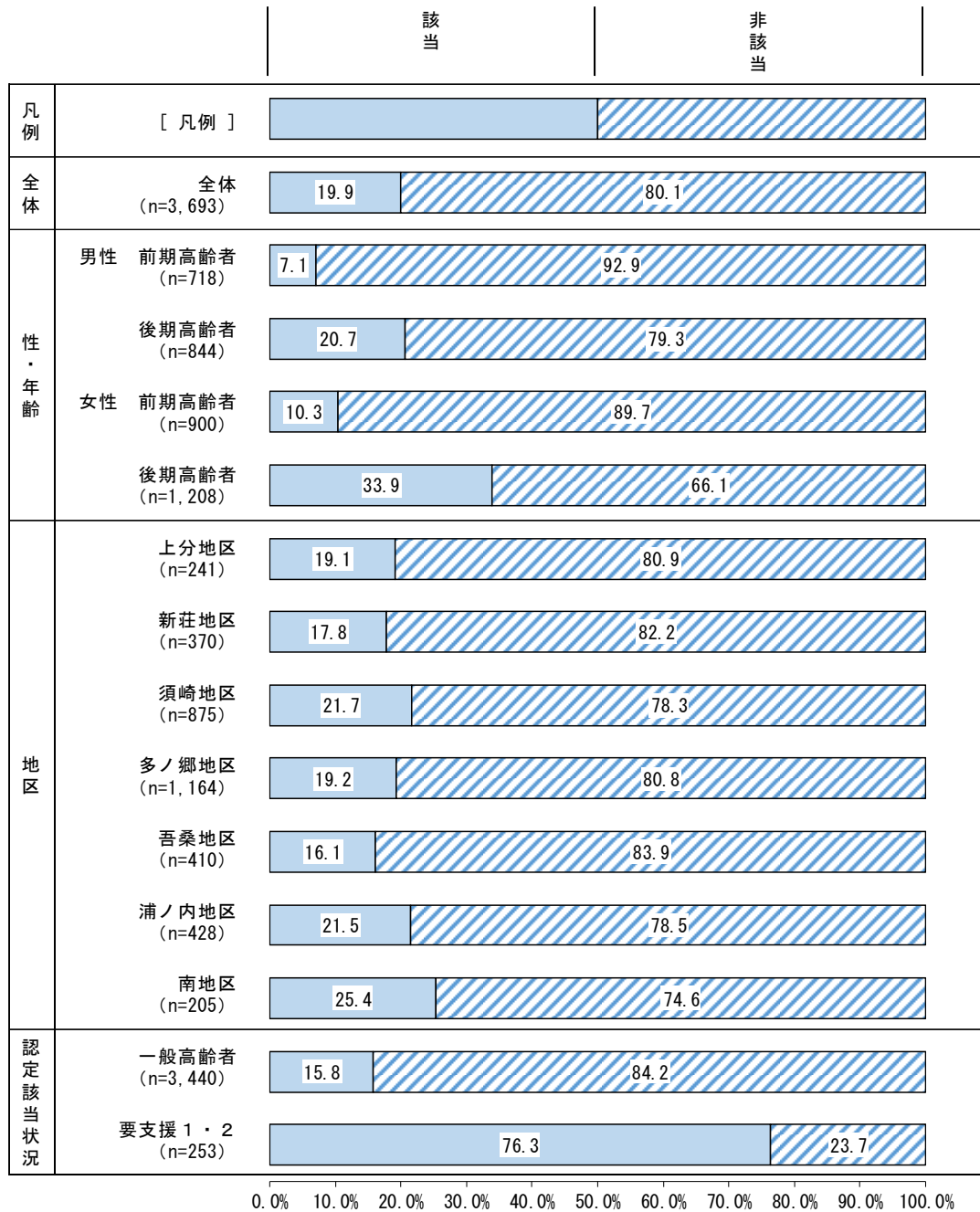
【地区】

○ 「該当」は南地区が 25.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者では、が 15.8%、要支援 1・2 が 76.3%となっています。

【運動器の機能低下リスク】



◆転倒リスクの判定

●判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去１年間に転んだ経験がありますか	何度もある／１度ある

【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当」が 33.7%、「非該当」が 66.3%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。特に女性後期高齢者では 40.3%と他の区分に比べて多くなっています。

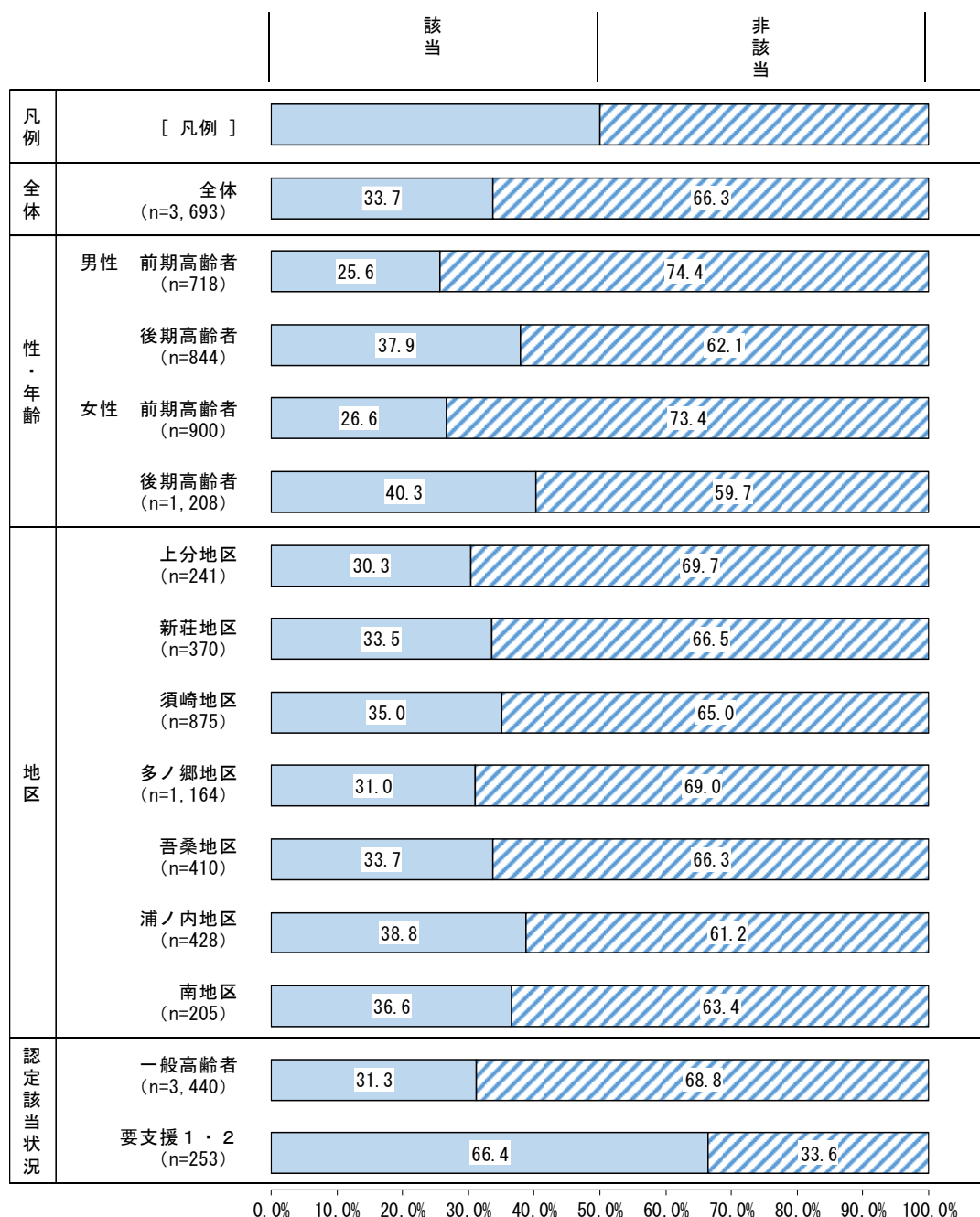
【地区】

○ 「該当」は浦ノ内地区が 38.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者が 31.3%、要支援１・２が 66.4%となっています。

【転倒リスク】



(2) 外出の状況

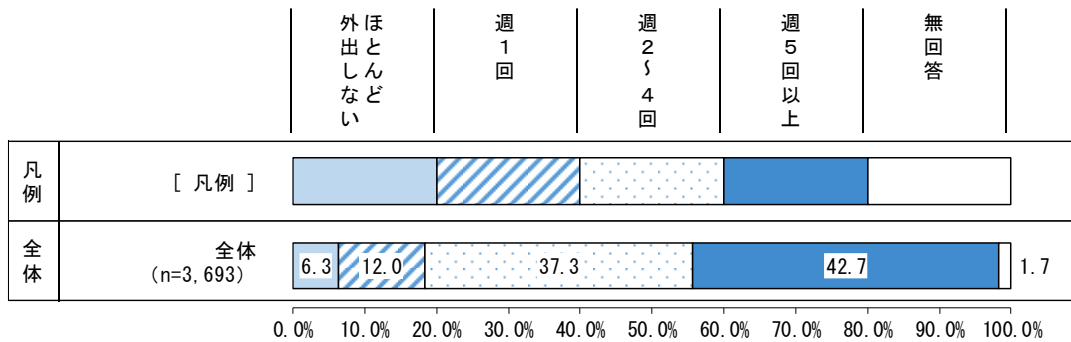
① 外出の頻度

●問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 外出頻度について、「週5回以上」が42.7%で最も多く、次いで「週2～4回」が37.3%、「週1回」が12.0%となっています。

【外出頻度】



◆閉じこもりのリスクの判定

●判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

【全体】

○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が18.3%、「非該当」が81.7%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。特に女性後期高齢者では30.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

○ 「該当」は浦ノ内地区が29.2%、南地区が24.4%と他の区分に比べて多くなっています。

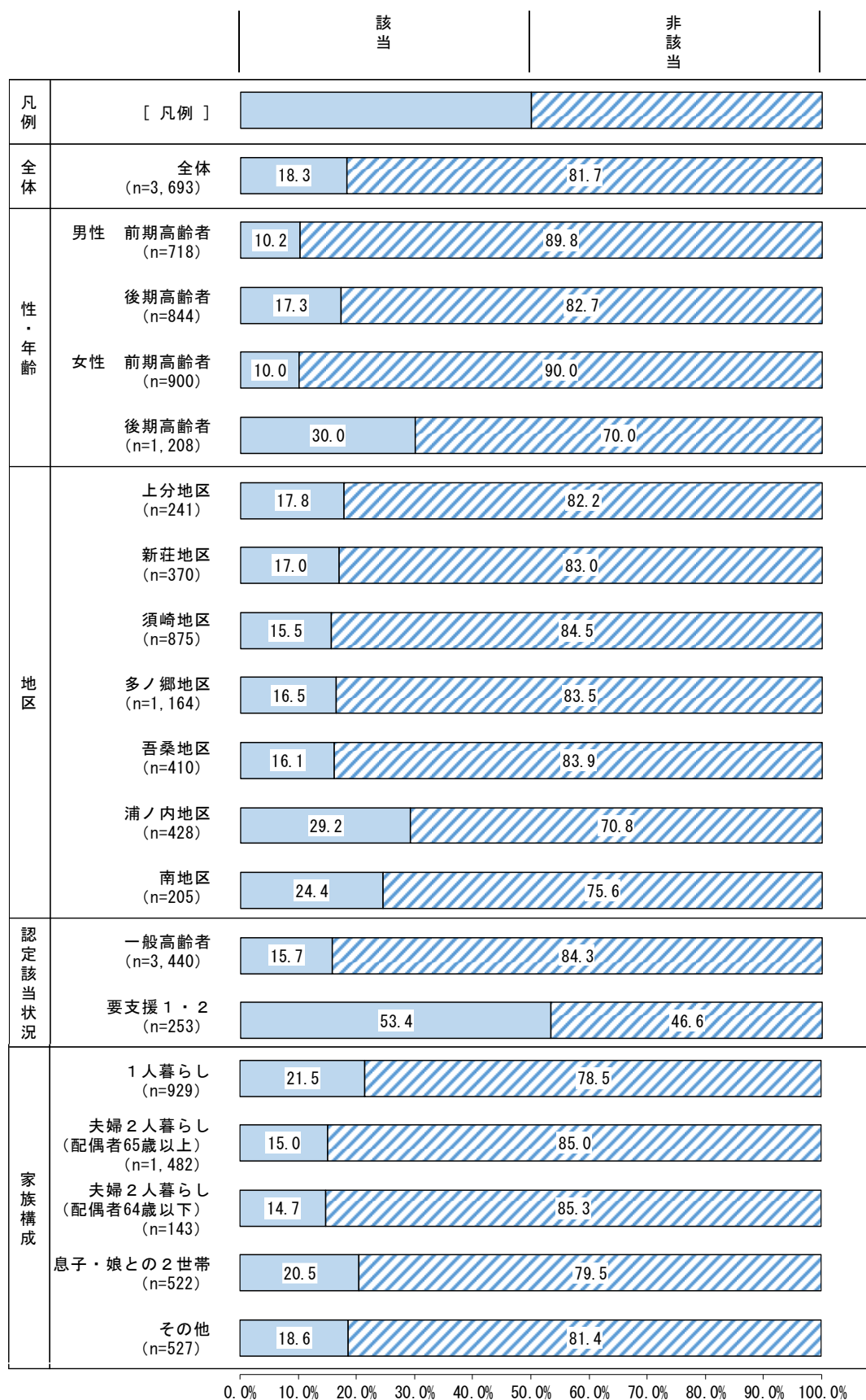
【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者が15.7%、要支援1・2が53.4%となっています。

【家族構成】

○ 「該当」は1人暮らしが21.5%、息子・娘との2世帯が20.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【閉じこもりのリスク】



●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が38.3%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が30.1%、「減っている」が24.8%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は30.1%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“減っている方”が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“減っている方”が多くなっています。

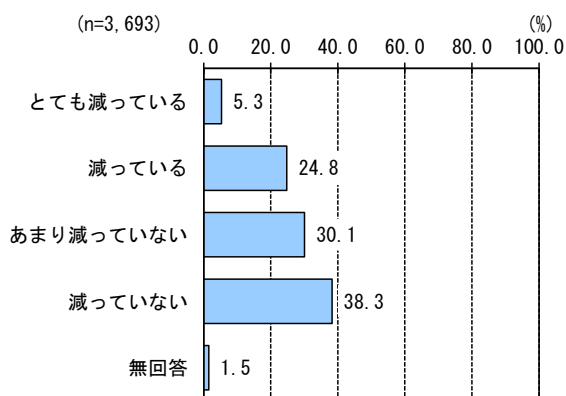
【地区】

○ “減っている方”は須崎地区が34.7%、南地区が33.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ “減っている方”は一般高齢者が27.8%、要支援1・2が62.9%となっています。

【昨年と比べて外出の回数】



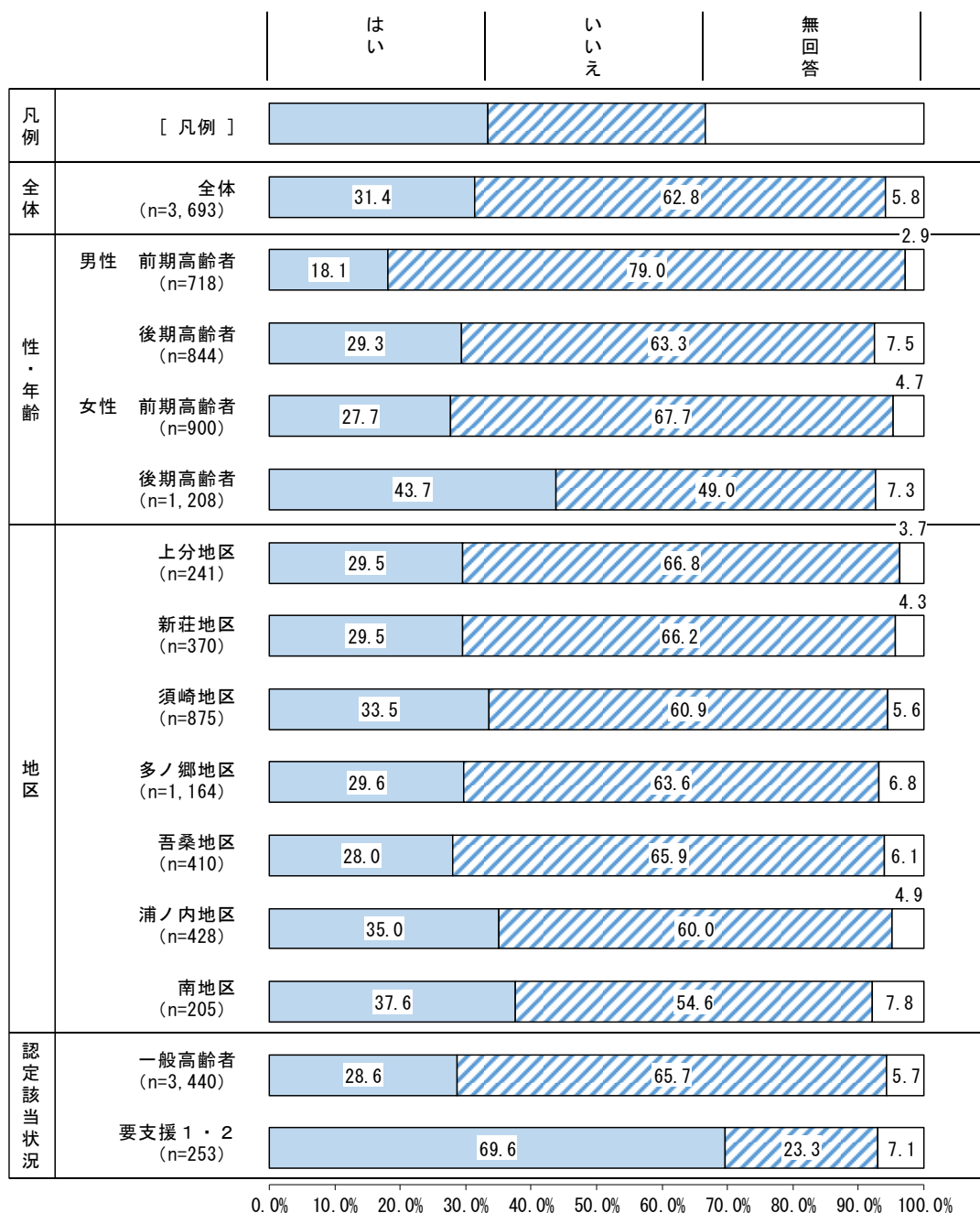
		母数 (n)	昨年と比べた外出の回数					単位：％ “減っている方”
			とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	
全体		3,693	5.3	24.8	30.1	38.3	1.5	30.1
性・年齢	男性 前期高齢者	718	2.8	15.6	25.3	△ 55.0	1.3	▼ 18.4
	後期高齢者	844	5.7	23.3	30.1	38.9	2.0	29.0
	女性 前期高齢者	900	3.8	19.8	32.9	42.9	0.7	23.6
	後期高齢者	1,208	7.7	△ 35.2	31.0	▼ 24.3	1.8	△ 42.9
地区	上分地区	241	7.1	20.7	25.3	46.5	0.4	27.8
	新荘地区	370	4.6	24.9	28.1	40.5	1.9	29.5
	須崎地区	875	7.0	27.7	29.8	34.3	1.3	34.7
	多ノ郷地区	1,164	5.1	23.6	29.7	40.0	1.5	28.7
	吾桑地区	410	2.4	20.7	32.0	43.7	1.2	23.1
	浦ノ内地区	428	4.4	27.3	33.6	33.4	1.2	31.7
	南地区	205	6.3	27.3	31.2	30.7	4.4	33.6
認定該当状況	一般高齢者	3,440	4.3	23.5	31.0	40.1	1.2	27.8
	要支援1・2	253	△ 19.4	△ 43.5	▼ 17.8	▼ 13.8	5.5	△ 62.9

② 外出を控えているか

●問2.8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 外出を控えているかについて、「はい」が31.4%、「いいえ」が62.8%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。特に女性後期高齢者では43.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】
○ 「はい」は須崎地区が33.5%、浦ノ内地区が35.0%、南地区が37.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は一般高齢者が28.6%、要支援1・2が69.6%となっています。

【外出を控えているか】

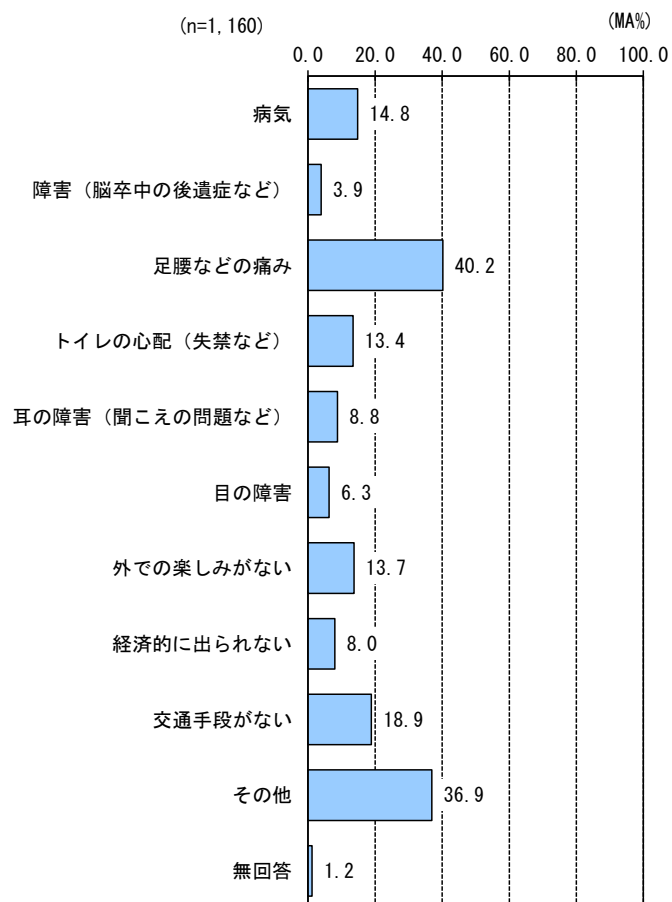


●問2.8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 40.2%で最も多く、次いで「その他」が 36.9%、「交通手段がない」が 18.9%となっています。

【外出を控えている理由(MA)】



単位：％

			母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					
				病 気	(障 害 脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 などの 痛 み	(トイ レ の 心 配 失 禁 な ど)	(耳 の 障 害 聞 こ え の 問 題 な ど)	目 の 障 害
全体			1, 160	14. 8	3. 9	40. 2	13. 4	8. 8	6. 3
性・年齢	男性	前期高齢者	130	10. 0	3. 8	▼ 19. 2	9. 2	3. 1	3. 1
		後期高齢者	247	24. 7	6. 5	44. 9	15. 4	15. 0	9. 7
	女性	前期高齢者	249	10. 4	1. 6	▼ 18. 9	6. 4	1. 2	2. 4
		後期高齢者	528	13. 3	3. 2	△ 53. 2	16. 7	11. 0	7. 4
地区	上分地区		71	14. 1	7. 0	40. 8	12. 7	12. 7	4. 2
	新荘地区		109	13. 8	1. 8	40. 4	12. 8	10. 1	3. 7
	須崎地区		293	16. 7	4. 4	43. 3	14. 7	8. 9	7. 2
	多ノ郷地区		345	14. 8	4. 9	38. 8	14. 2	7. 2	7. 5
	吾桑地区		115	14. 8	1. 7	38. 3	13. 9	7. 8	6. 1
	浦ノ内地区		150	10. 7	3. 3	36. 0	12. 7	10. 0	4. 0
	南地区		77	18. 2	1. 3	44. 2	7. 8	9. 1	7. 8
認定該当 状況	一般高齢者		984	12. 8	2. 0	37. 7	11. 6	7. 3	5. 4
	要支援 1・ 2		176	△ 26. 1	△ 14. 2	△ 54. 0	△ 23. 9	17. 0	11. 4

単位：％

			母数 (n)	外出を控えている理由(MA)				
				外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体			1,160	13.7	8.0	18.9	36.9	1.2
性・年齢	男性 前期高齢者	130	130	15.4	8.5	▼ 3.8	60.8	0.8
	後期高齢者	247	247	15.0	7.3	17.4	24.3	0.8
	女性 前期高齢者	249	249	13.3	7.6	▼ 7.2	63.5	2.4
	後期高齢者	528	528	13.1	8.5	△ 29.0	24.6	0.9
地区	上分地区	71	71	8.5	5.6	18.3	38.0	1.4
	新莊地区	109	109	20.2	6.4	21.1	39.4	—
	須崎地区	293	293	15.7	8.9	19.8	34.8	1.0
	多ノ郷地区	345	345	11.6	7.8	15.1	35.4	1.7
	吾桑地区	115	115	12.2	7.0	20.0	44.3	2.6
	浦ノ内地区	150	150	12.0	10.0	28.0	41.3	—
	南地区	77	77	16.9	7.8	10.4	27.3	1.3
認定該当 状況	一般高齢者	984	984	13.6	8.5	17.6	40.8	1.3
	要支援1・2	176	176	14.2	5.1	26.1	15.3	0.6

③ 外出の際の移動手段

●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 59.7%で最も多く、次いで「徒歩」が 37.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 23.8%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「徒歩」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自動車（自分で運転）」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。

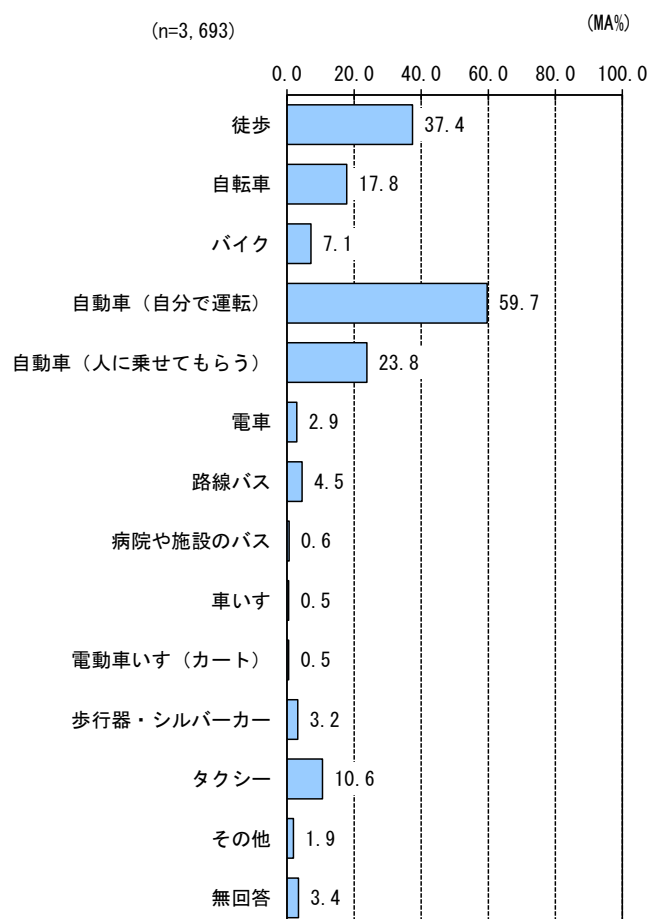
【地区】

- 「徒歩」は須崎地区が 49.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「自動車（自分で運転）」は上分地区が 72.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」が 63.2%で最も多く、要支援 1・2 では、「自動車（人に乗せてもらう）」が 51.4%で最も多くなっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)					
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車 路線バス
全体		3,693	37.4	17.8	7.1	59.7	23.8	2.9
性・年齢	男性 前期高齢者	718	35.8	17.5	9.5	△ 85.7	▼ 7.5	1.9
	後期高齢者	844	40.5	21.3	6.6	68.4	14.5	2.6
	女性 前期高齢者	900	35	17.7	7.1	68.1	24.8	2.7
	後期高齢者	1,208	38	15.7	6	▼ 32.0	△ 39.1	4
地区	上分地区	241	▼ 24.9	10.4	5	△ 72.6	20.3	0.4
	新荘地区	370	30.8	13.2	6.2	68.6	22.2	2.7
	須崎地区	875	△ 49.9	△ 34.3	7.7	▼ 48.7	29	4.5
	多ノ郷地区	1,164	41.1	15.6	9	58.9	21.6	3.1
	吾桑地区	410	28.8	11.7	6.3	67.6	21.5	3.9
	浦ノ内地区	428	▼ 24.8	7.9	5.8	66.8	24.3	0.5
	南地区	205	33.2	9.8	2.4	49.8	23.9	2
認定該当状況	一般高齢者	3,440	38.6	18.9	7.6	63.2	21.7	3
	要支援 1・2	253	▼ 20.9	▼ 3.2	—	▼ 13.0	△ 51.4	1.6

単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)					
			病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他 無回答
全体		3,693	0.6	0.5	0.5	3.2	10.6	1.9
性・年齢	男性 前期高齢者	718	0.1	0.3	—	0.3	3.1	0.7
	後期高齢者	844	1.1	0.5	1.4	1.8	8.5	1.3
	女性 前期高齢者	900	0.1	0.4	—	0.4	4.9	1.7
	後期高齢者	1,208	1.1	0.7	0.6	7.9	△ 20.9	3.1
地区	上分地区	241	—	1.7	0.4	1.7	7.9	1.7
	新荘地区	370	0.3	0.5	1.1	3.2	8.6	0.8
	須崎地区	875	0.3	0.3	0.2	4.3	14.2	1.8
	多ノ郷地区	1,164	0.3	0.3	0.8	2.9	9.7	1.8
	吾桑地区	410	1	0.7	—	1.5	11	1.5
	浦ノ内地区	428	1.9	0.7	0.5	4	8.6	3.5
	南地区	205	2	0.5	0.5	2.9	10.7	2.9
認定該当状況	一般高齢者	3,440	0.5	0.2	0.3	1.7	9.4	1.8
	要支援 1・2	253	3.2	5.5	2.8	△ 23.3	△ 27.3	3.2

5. 食べることについて

(1) 口腔

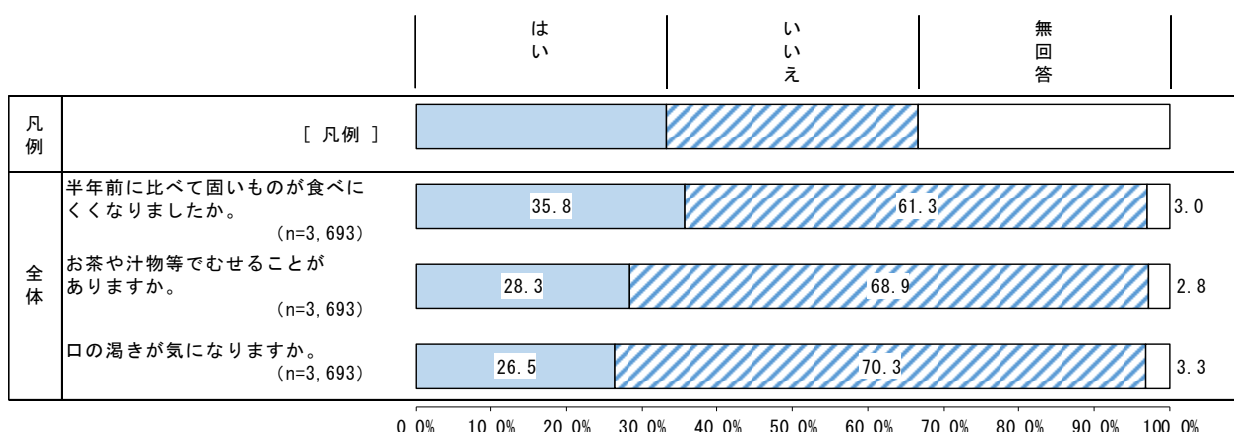
① 口内の健康状態

- 問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)
- 問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)
- 問3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)

【全体】

- 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 35.8%、「いいえ」が 61.3%となっています。
- お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 28.3%、「いいえ」が 68.9%となっています。
- 口の渇きが気になるかについて、「はい」が 26.5%、「いいえ」が 70.3%となっています。

【口内の健康状態（まとめ）】



◆口腔機能の低下リスクの判定

●判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

【全体】

- 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が 25.8%、「非該当」が 74.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

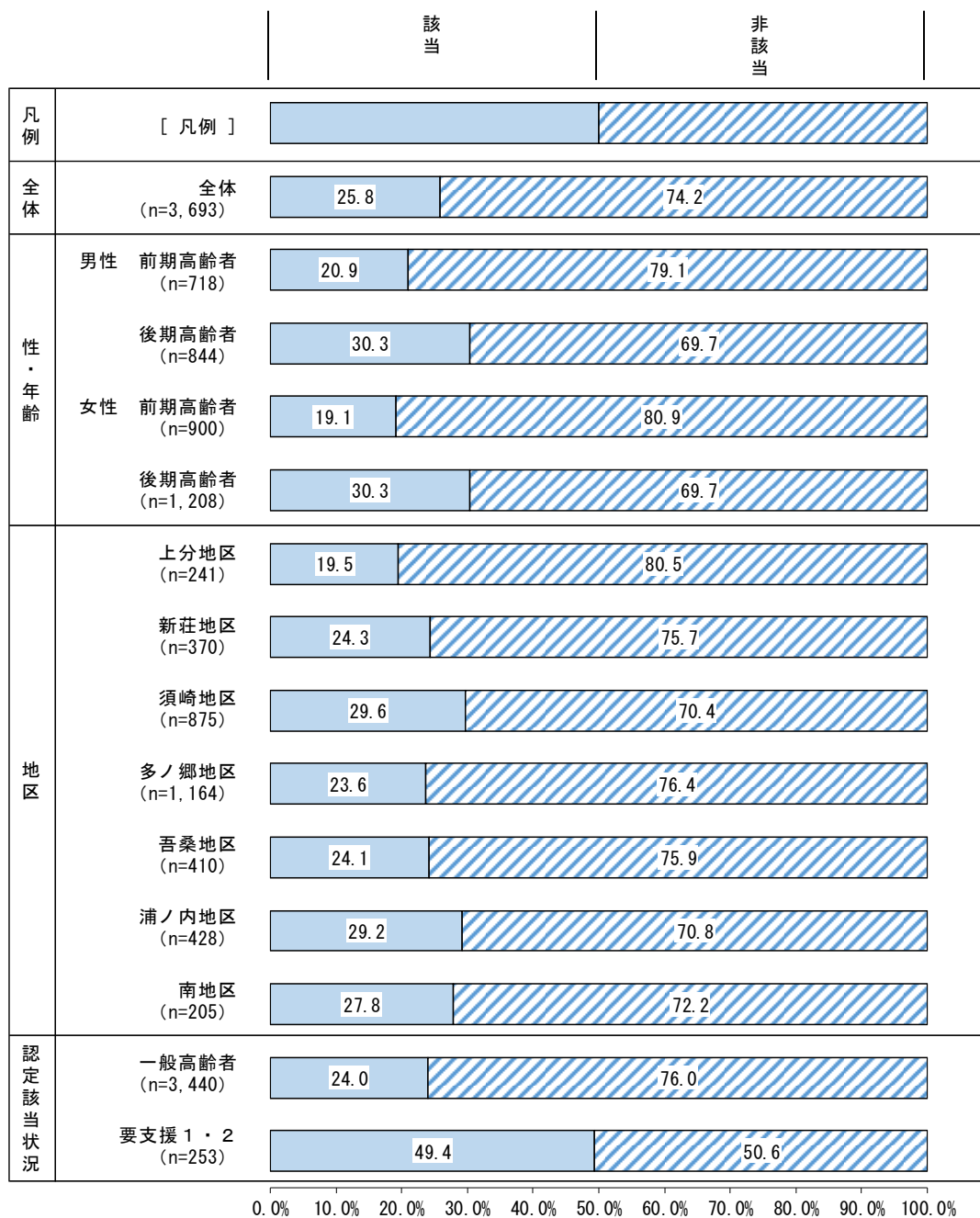
【地区】

- 「該当」は須崎地区が 29.6%、浦ノ内地区が 29.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「該当」は一般高齢者が 24.0%、要支援1・2が 49.4%となっています。

【口腔機能の低下リスク】

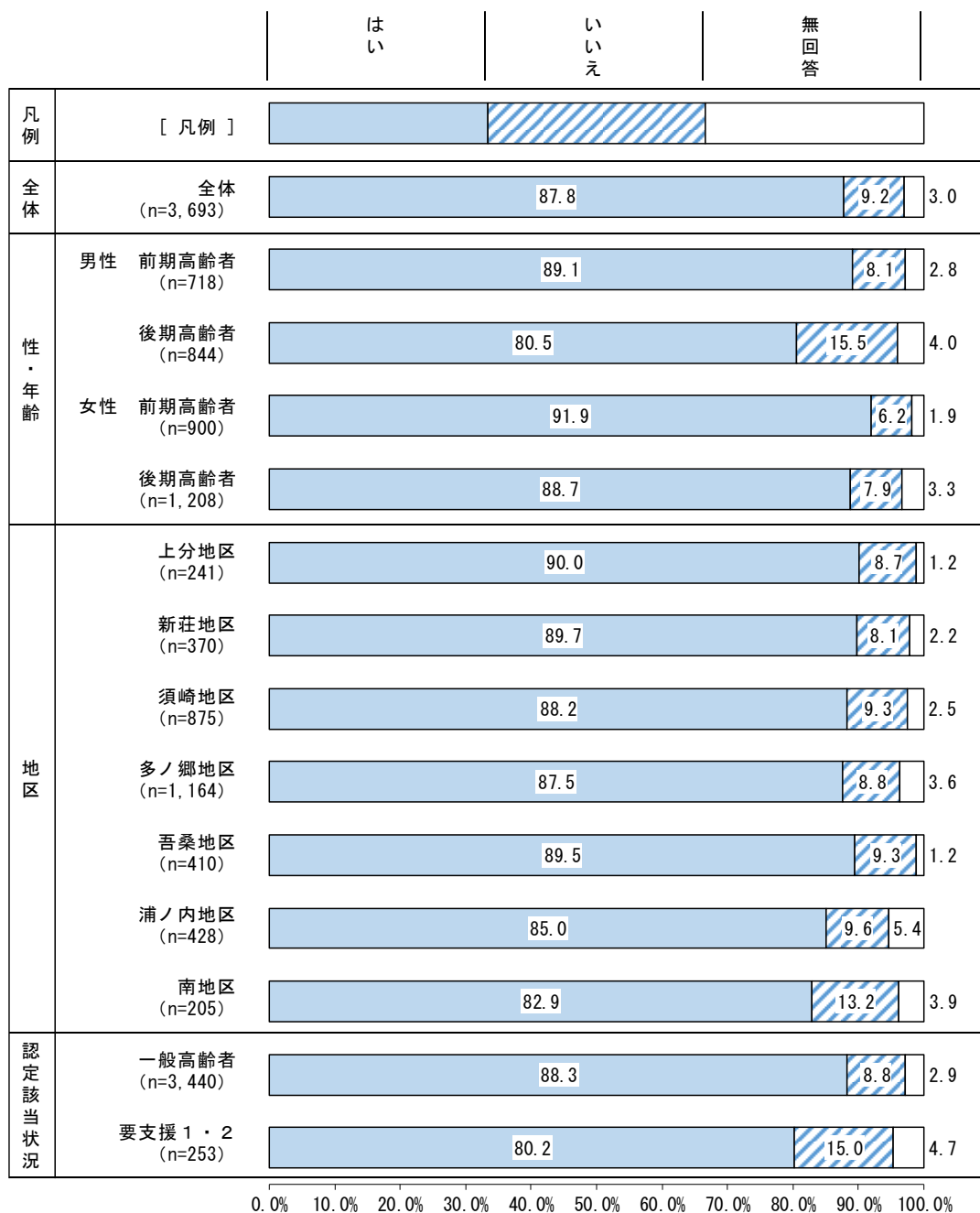


② 歯の状況

●問3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ○）

【全体】
○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が 87.8%、「いいえ」が 9.2%となっています。
【性・年齢】
○ 「いいえ」は男性 後期高齢者が 15.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】
○ 「いいえ」は南地区が 13.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「いいえ」は一般高齢者が 8.8%、要支援1・2が 15.0%となっています。

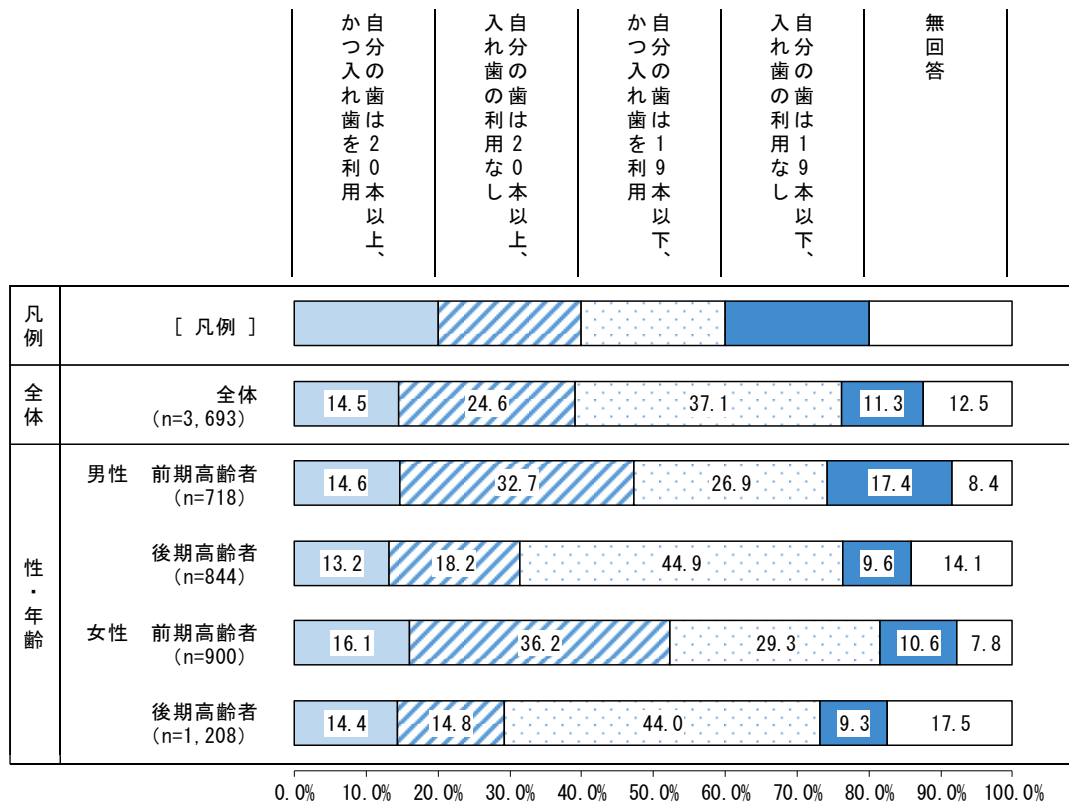
【歯磨きを毎日しているか】

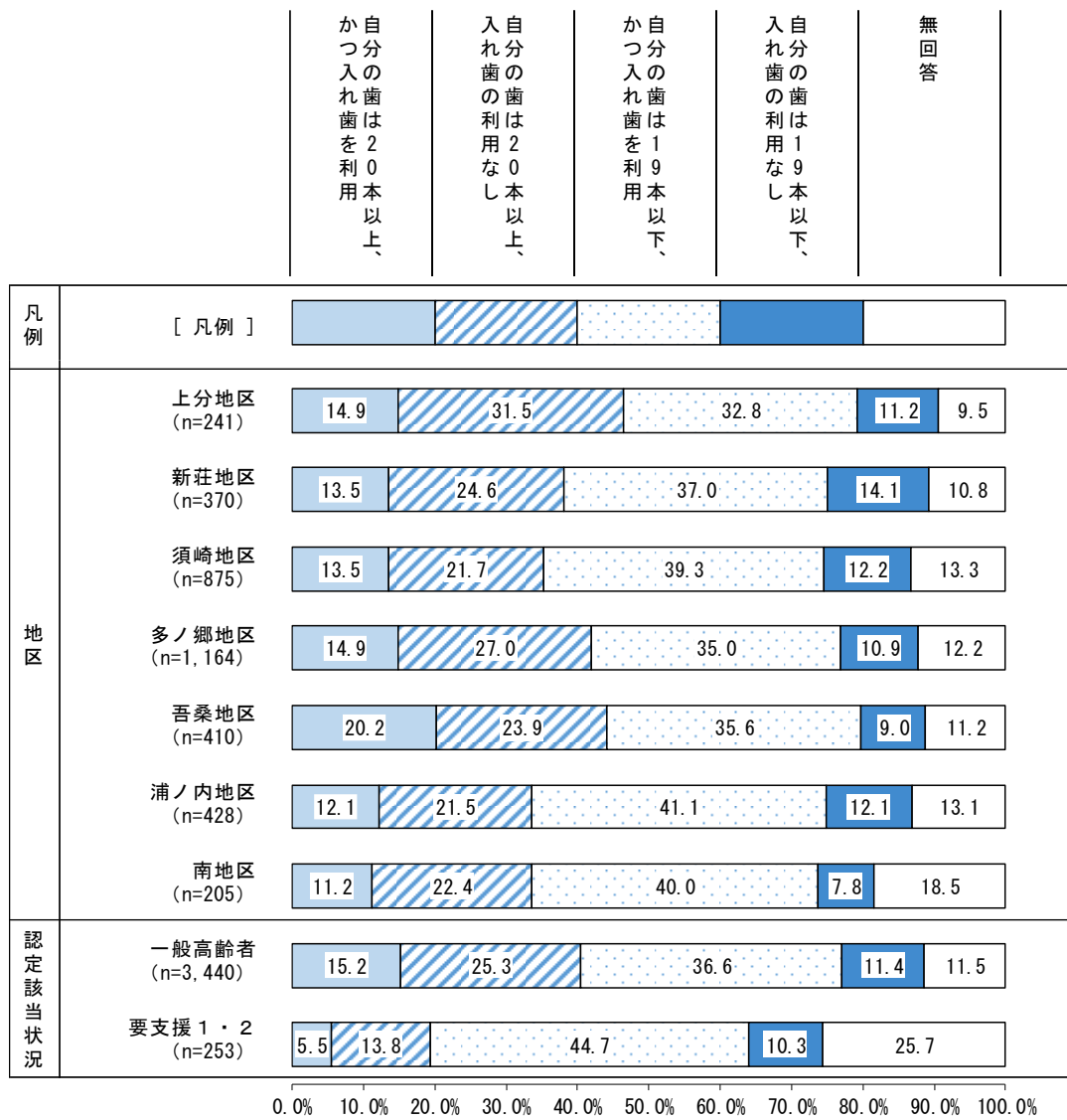


●問3.6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ○)

【全体】	
○	歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.1%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 24.6%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.5%となっています。
【性・年齢】	
○	「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」は男性 前期高齢者が 17.4%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】	
○	「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」は須崎地区が 39.3%、浦ノ内地区が 41.1%、南地区が 40.0%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」は新荘地区が 14.1%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」は要支援 1・2 が 44.7%と一般高齢者の 36.6%に比べて多くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】





●問3.6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が67.2%、「いいえ」が24.0%となっています。

【性・年齢】

○ 「いいえ」は男性 前期高齢者が25.2%、女性 後期高齢者が25.7%と他の区分に比べて多くなっています。

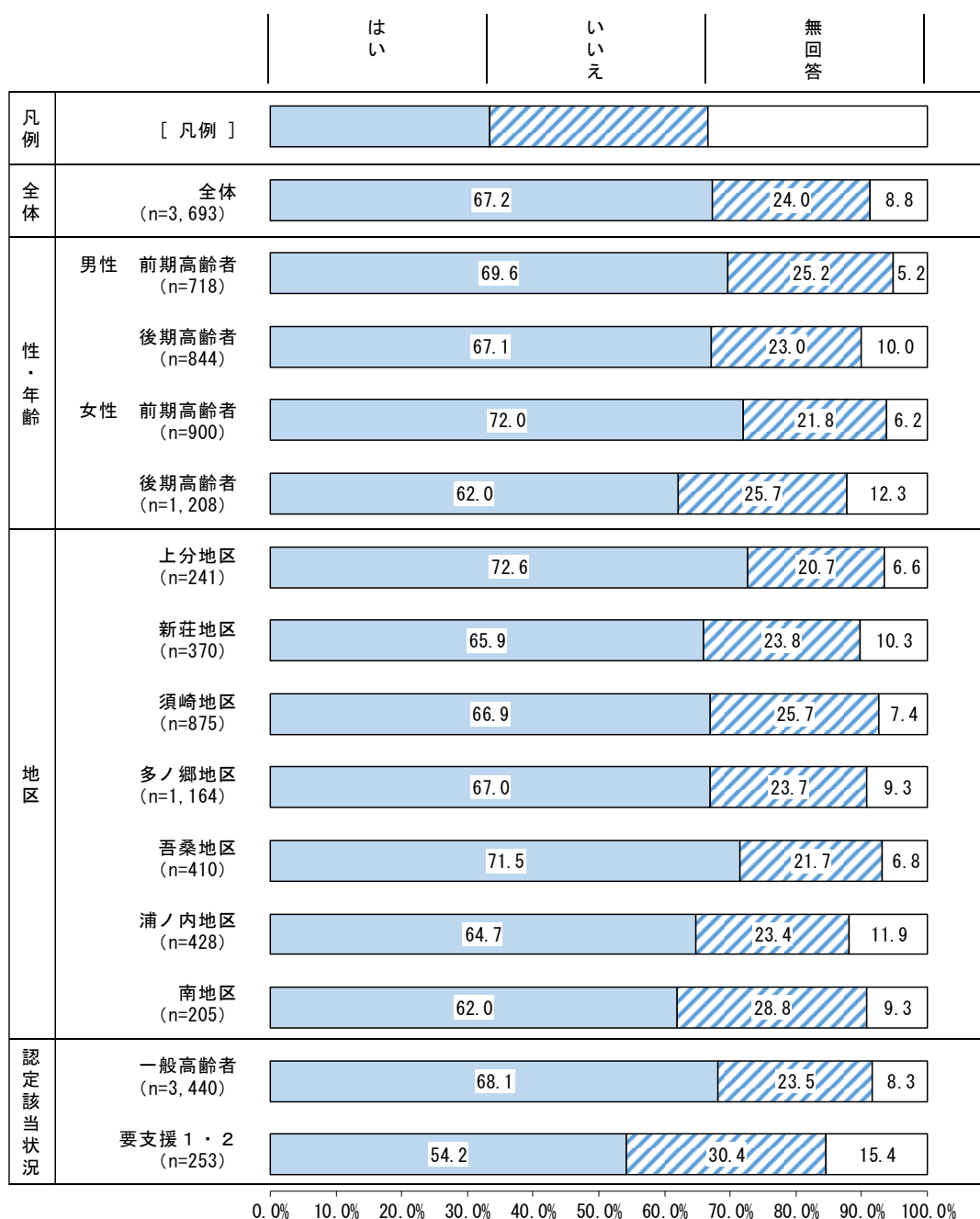
【地区】

○ 「いいえ」は南地区が28.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「いいえ」は一般高齢者が23.5%、要支援1・2が30.4%となっています。

【噛み合わせは良いか】

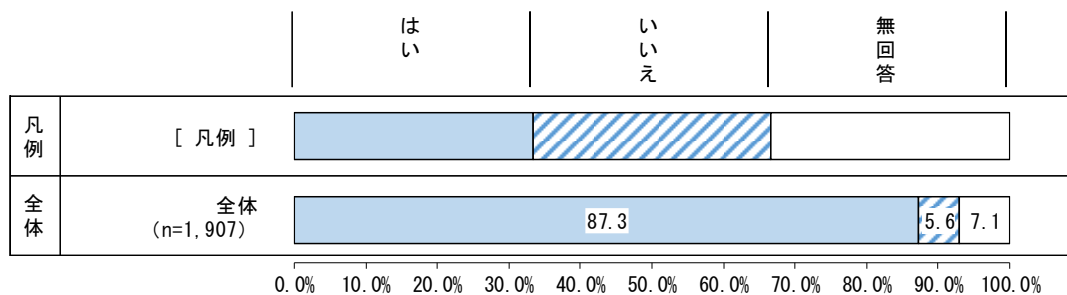


●問3.6-2 毎日、入れ歯の手入れをしていますか。（1つだけ○）

【全体】

○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 87.3%、「いいえ」が 5.6%となっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



(2) 栄養

① 体重の状況

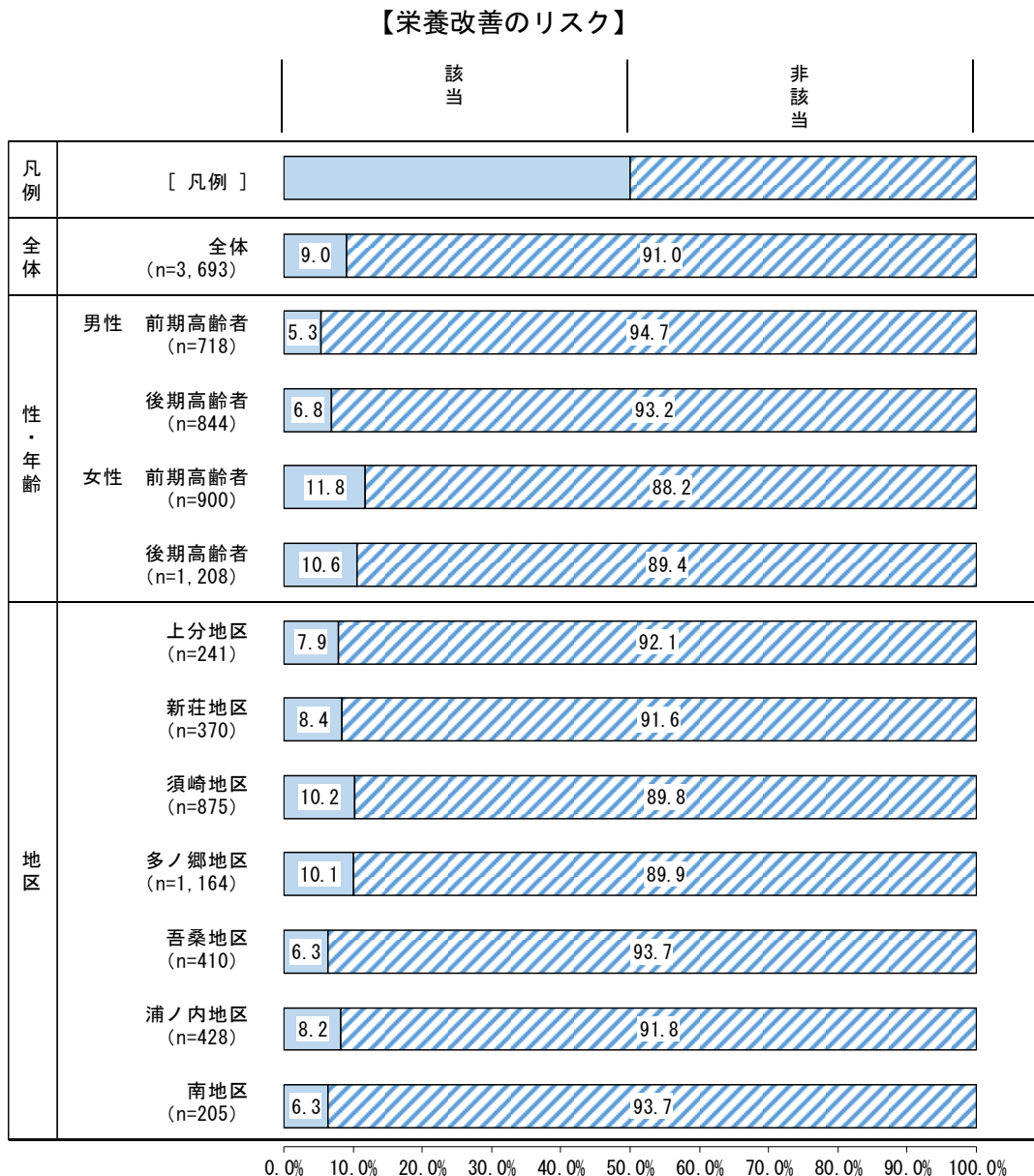
◆栄養改善のリスクの判定

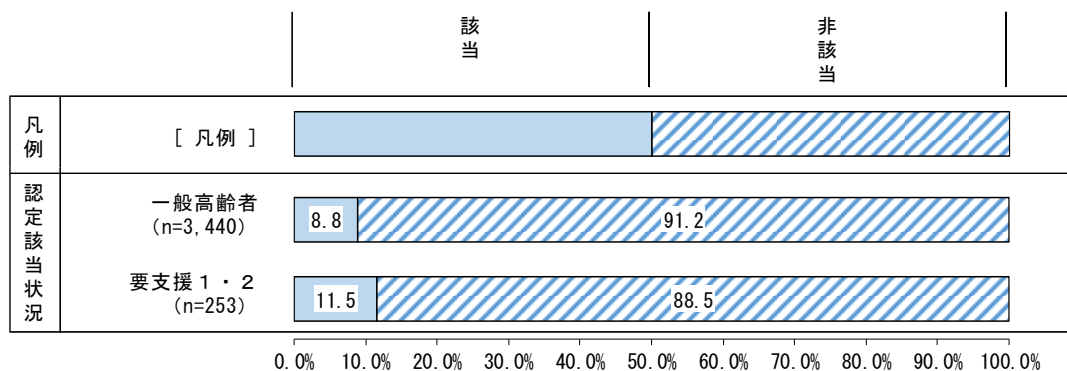
●判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満

【全体】
○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が9.0%、「非該当」が91.0%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
【地区】
○ 「該当」は須崎地区が10.2%、多ノ郷地区が10.1%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は一般高齢者が8.8%、要支援1・2が11.5%となっています。

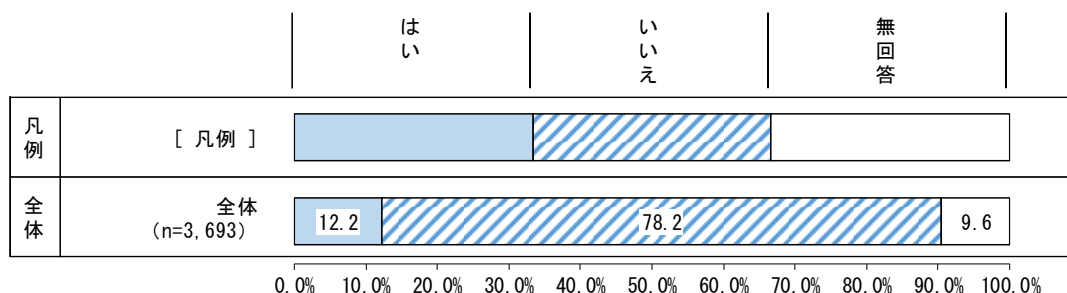




●問3.7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)

【全体】
○ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が12.2%、「いいえ」が78.2%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



◆低栄養のリスクの判定

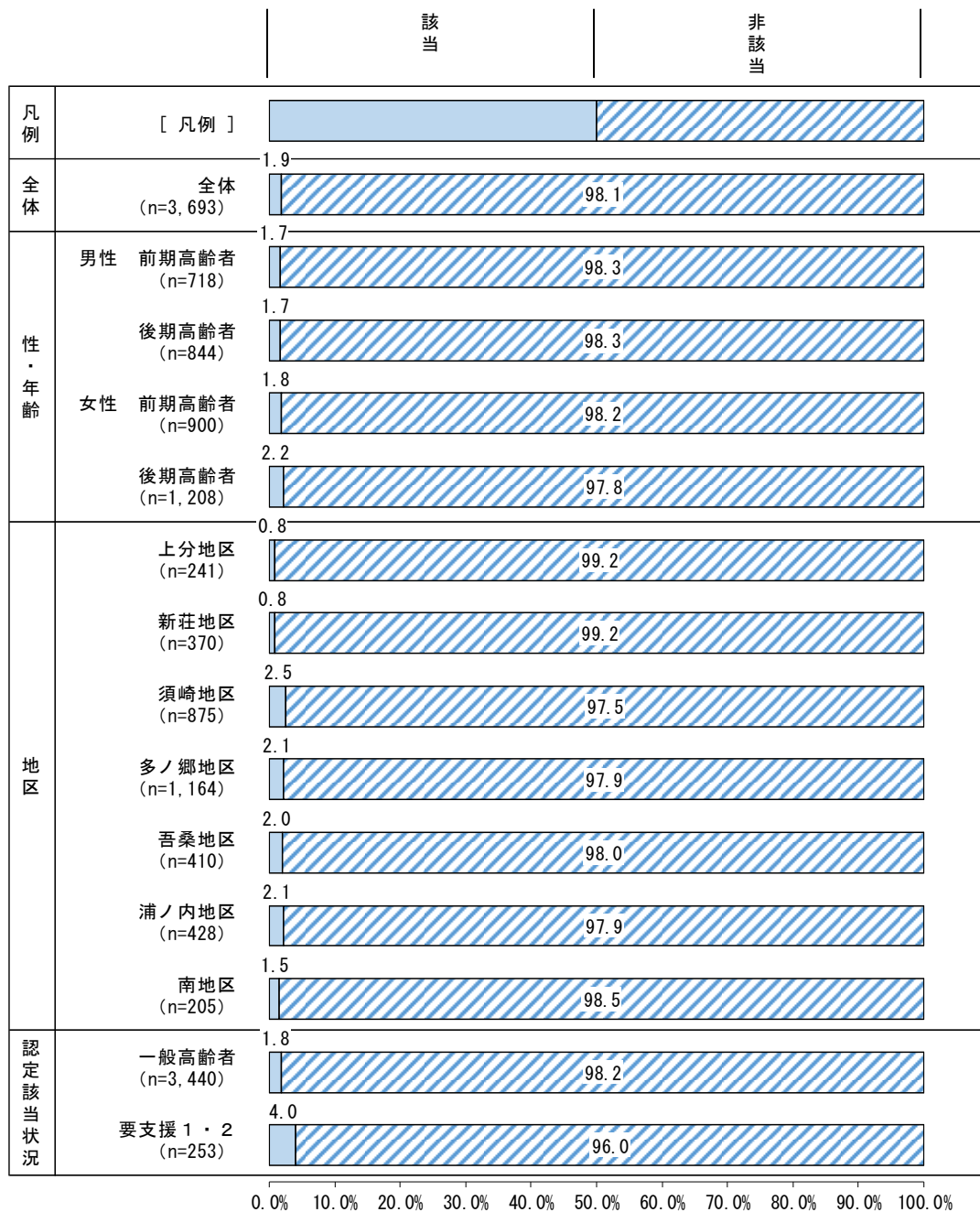
●判定方法

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷身長(m) ²)	18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【全体】
○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.9%、「非該当」が98.1%となっています。
【性・年齢】
○ 「該当」は女性 後期高齢者が2.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】
○ 「該当」は須崎地区が2.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は一般高齢者が1.8%、要支援1・2が4.0%となっています。

【低栄養のリスク】



② 孤食の状況

●問3.8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 共食の有無について、「毎日ある」が 53.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が 12.9%、「月に何度かある」が 12.1%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は 23.4%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“孤食傾向の方”が多くなっています。

【地区】

○ “孤食傾向の方”は南地区が 29.3%と他の区分に比べて多くなっています。

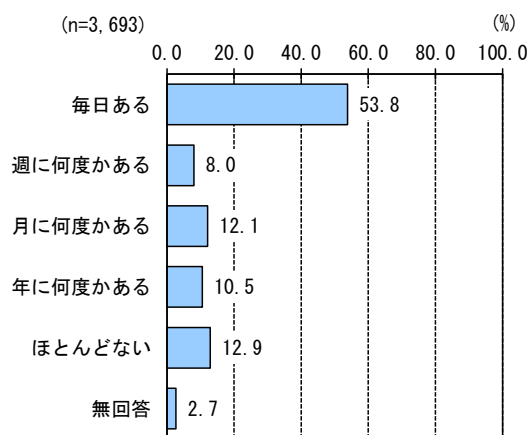
【認定該当状況】

○ “孤食傾向の方”は一般高齢者が 22.8%、要支援1・2が 30.5%となっています。

【家族構成】

○ “孤食傾向の方”は1人暮らしが 47.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【共食の有無】



単位：%

		母数 (n)	共食の有無						“ 孤食傾向の方”
			毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
全体		3,693	53.8	8.0	12.1	10.5	12.9	2.7	23.4
性・年齢	男性 前期高齢者	718	60.6	6.5	10.4	8.6	11.7	2.1	20.3
	後期高齢者	844	53.0	5.6	10.1	10.2	18.2	3.0	28.4
	女性 前期高齢者	900	61.9	8.9	12.0	8.7	6.4	2.1	15.1
	後期高齢者	1,208	44.1	9.9	14.8	13.2	14.6	3.3	27.8
地区	上分地区	241	60.2	5.8	9.1	10.0	13.7	1.2	23.7
	新荘地区	370	57.6	7.3	11.9	10.8	11.4	1.1	22.2
	須崎地区	875	52.2	10.2	12.9	10.9	12.3	1.5	23.2
	多ノ郷地区	1,164	52.7	8.6	12.4	10.0	12.1	4.3	22.1
	吾桑地区	410	54.4	6.3	13.4	9.3	13.4	3.2	22.7
	浦ノ内地区	428	54.0	6.5	11.0	11.0	14.5	3.0	25.5
	南地区	205	51.7	5.9	11.2	12.7	16.6	2.0	29.3
認定該当状況	一般高齢者	3,440	55.0	7.7	12.1	10.4	12.4	2.4	22.8
	要支援 1・2	253	▼ 37.5	12.6	13.0	10.7	19.8	6.3	30.5
家族構成	1人暮らし	929	▼ 6.1	15.6	△ 27.8	△ 21.9	△ 26.0	2.6	△ 47.9
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,482	△ 70.5	4.9	7.2	7.2	7.7	2.4	14.9
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	143	△ 68.5	6.3	5.6	6.3	8.4	4.9	14.7
	息子・娘との2世帯	522	△ 69.7	6.1	7.1	5.7	8.8	2.5	14.5
	その他	527	△ 72.3	6.1	6.1	5.3	8.3	1.9	13.6

6. 毎日の生活について

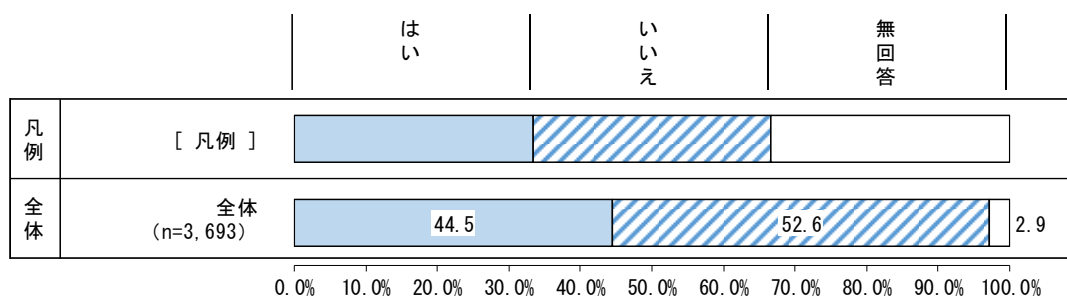
(1) 物忘れ

●問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が44.5%、「いいえ」が52.6%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



◆認知機能の低下リスクの判定

●判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

【全体】

○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が44.5%、「非該当」が55.5%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【地区】

○ 「該当」は須崎地区が46.6%、吾桑地区が45.9%、浦ノ内地区が48.4%と他の区分に比べて多くなっています。

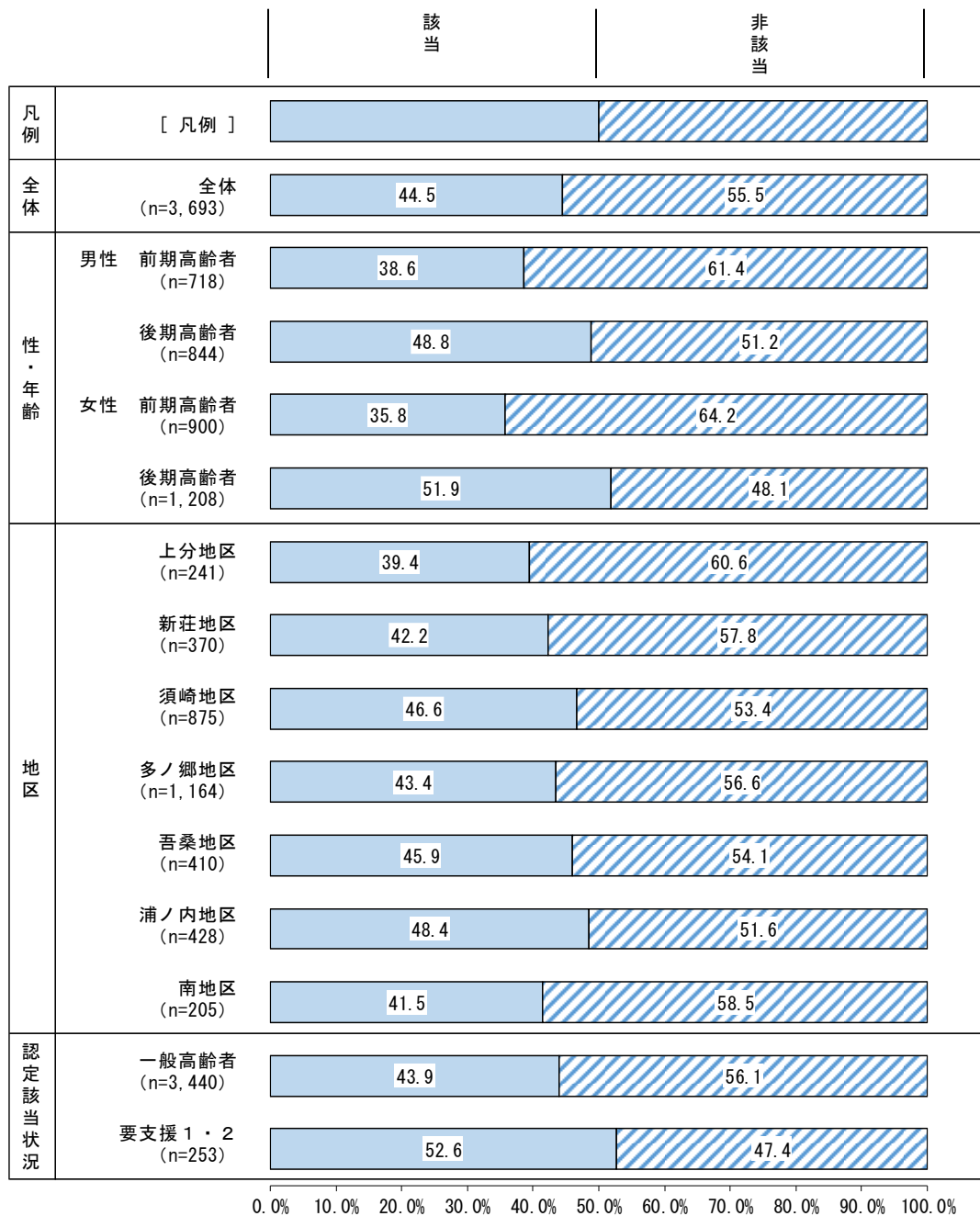
【認定該当状況】

○ 「該当」は一般高齢者が43.9%、要支援1・2が52.6%となっています。

【家族構成】

○ 「該当」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が37.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認知機能の低下リスク】

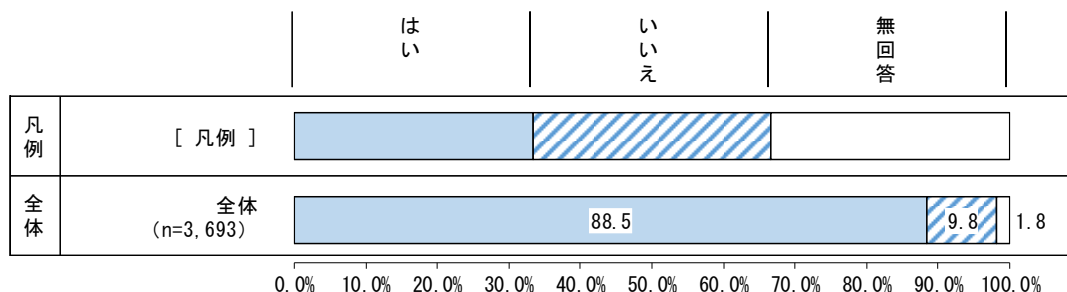


●問4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が88.5%、「いいえ」が9.8%となっています。

【自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】

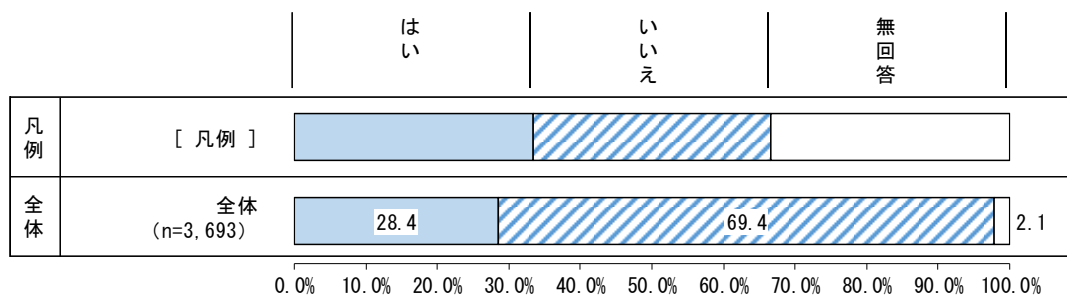


●問4.3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が28.4%、「いいえ」が69.4%となっています。

【今日が何月何日か、わからない時があるか】

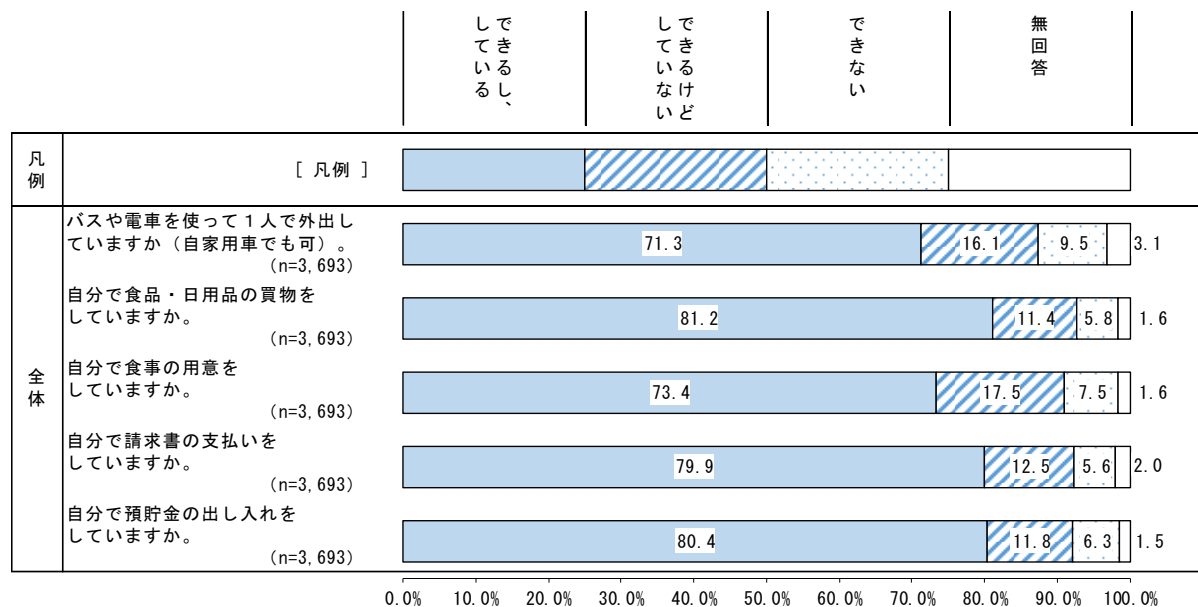


(2) IADLの状況

- 問4.4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (1つだけ○)
- 問4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)
- 問4.6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)
- 問4.7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)
- 問4.8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)

【全体】	
○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が 71.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 16.1%、「できない」が 9.5%となっています。	
○ 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が 81.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.4%、「できない」が 5.8%となっています。	
○ 食事の用意について、「できるし、している」が 73.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 17.5%、「できない」が 7.5%となっています。	
○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が 79.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 12.5%、「できない」が 5.6%となっています。	
○ 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が 80.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.8%、「できない」が 6.3%となっています。	

【IADL の状況（まとめ）】



◆ 社会的自立度（IADL）の判定

●判定方法

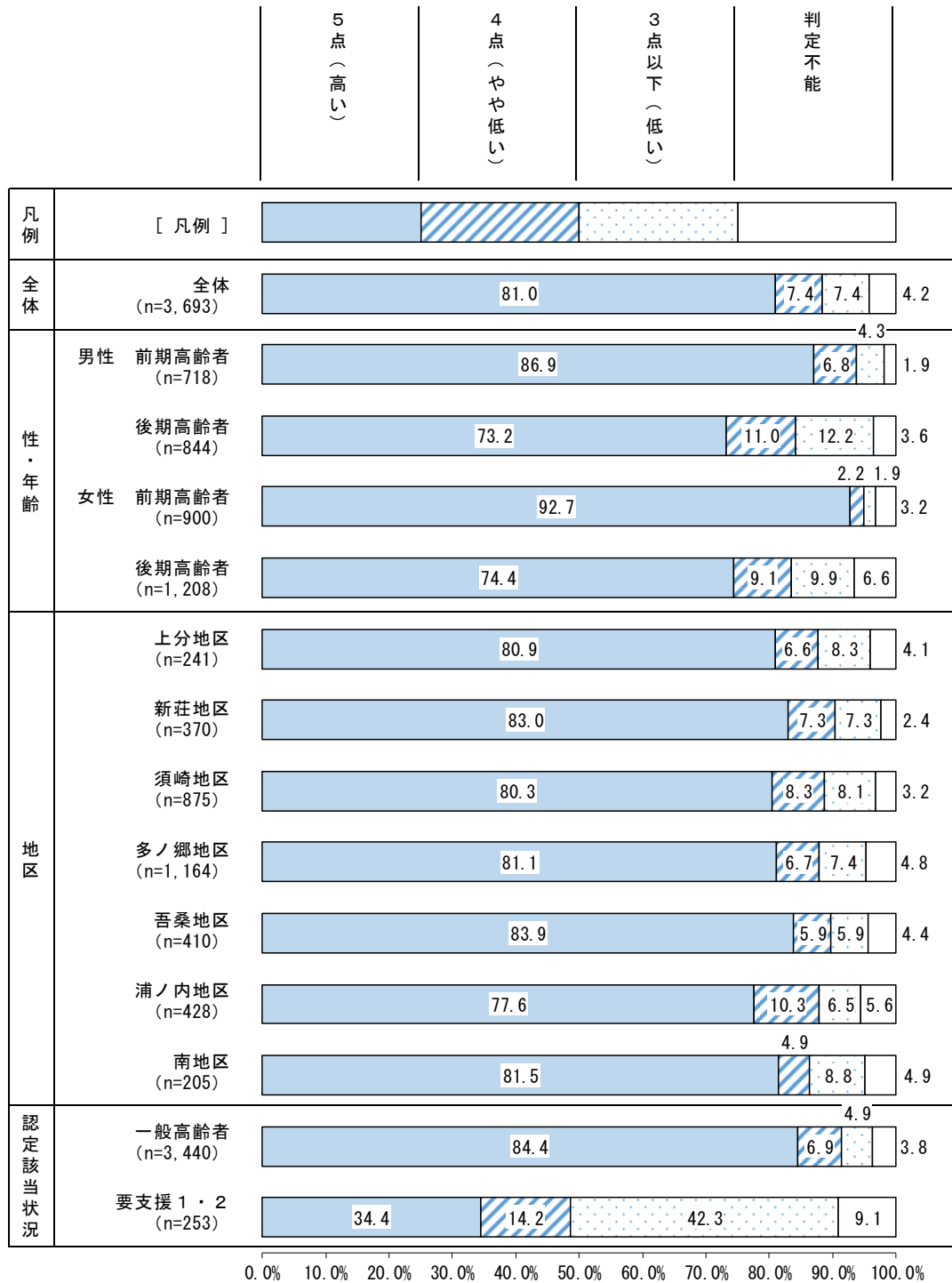
以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

※手段的自立度（IADL）とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

【全体】 ○ IADLについて、「5点（高い）」が81.0%で最も多く、次いで「4点（やや低い）」「3点以下（低い）」が7.4%となっています。 【性・年齢】 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「3点以下（低い）」が多くなっています。 【地区】 ○ 「5点（高い）」は浦ノ内地区が77.6%と他の区分に比べて少なくなっています。 ○ 「3点以下（低い）」は南地区が8.8%と他の区分に比べて多くなっています。 【認定該当状況】 「3点以下（低い）」は一般高齢者が4.9%、要支援1・2が42.3%となっています。

【社会的自立度（IADL）】

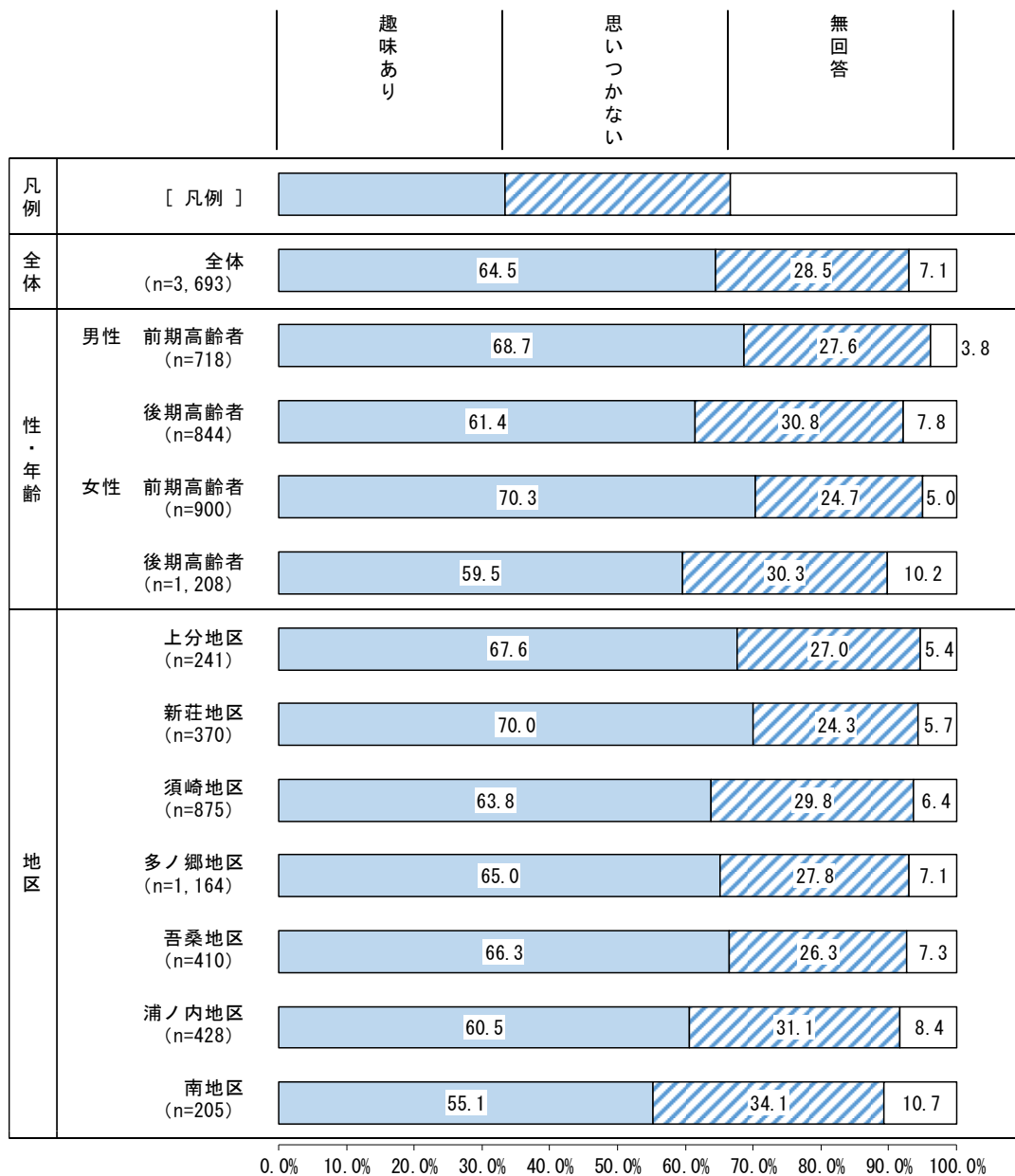


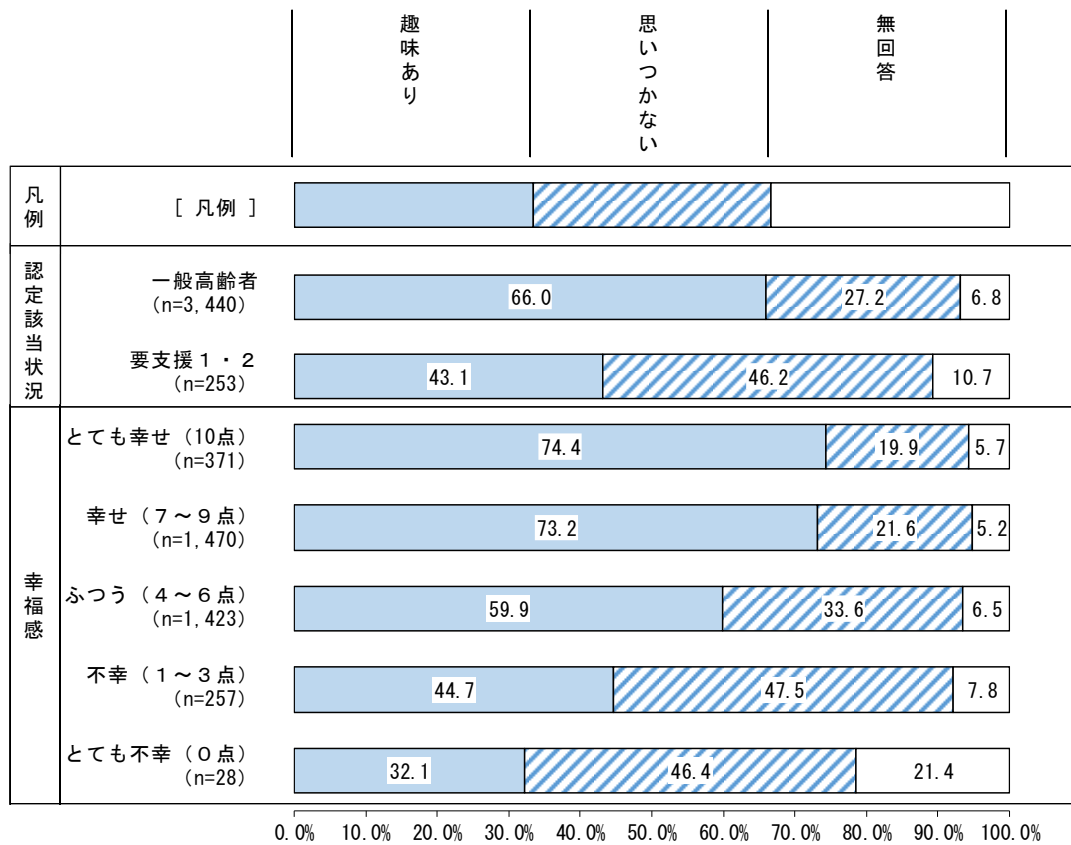
(3) 趣味・生きがいについて

●問4.9 趣味はありますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 趣味の有無について、「趣味あり」が 64.5%、「思いつかない」が 28.5%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「趣味あり」が多くなっています。
【地区】
○ 「趣味あり」は南地区が 55.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「趣味あり」は一般高齢者が 66.0%、要支援 1・2 が 43.1%となっています。
【幸福感】
○ 幸福感が低いほど「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。

【趣味の有無】

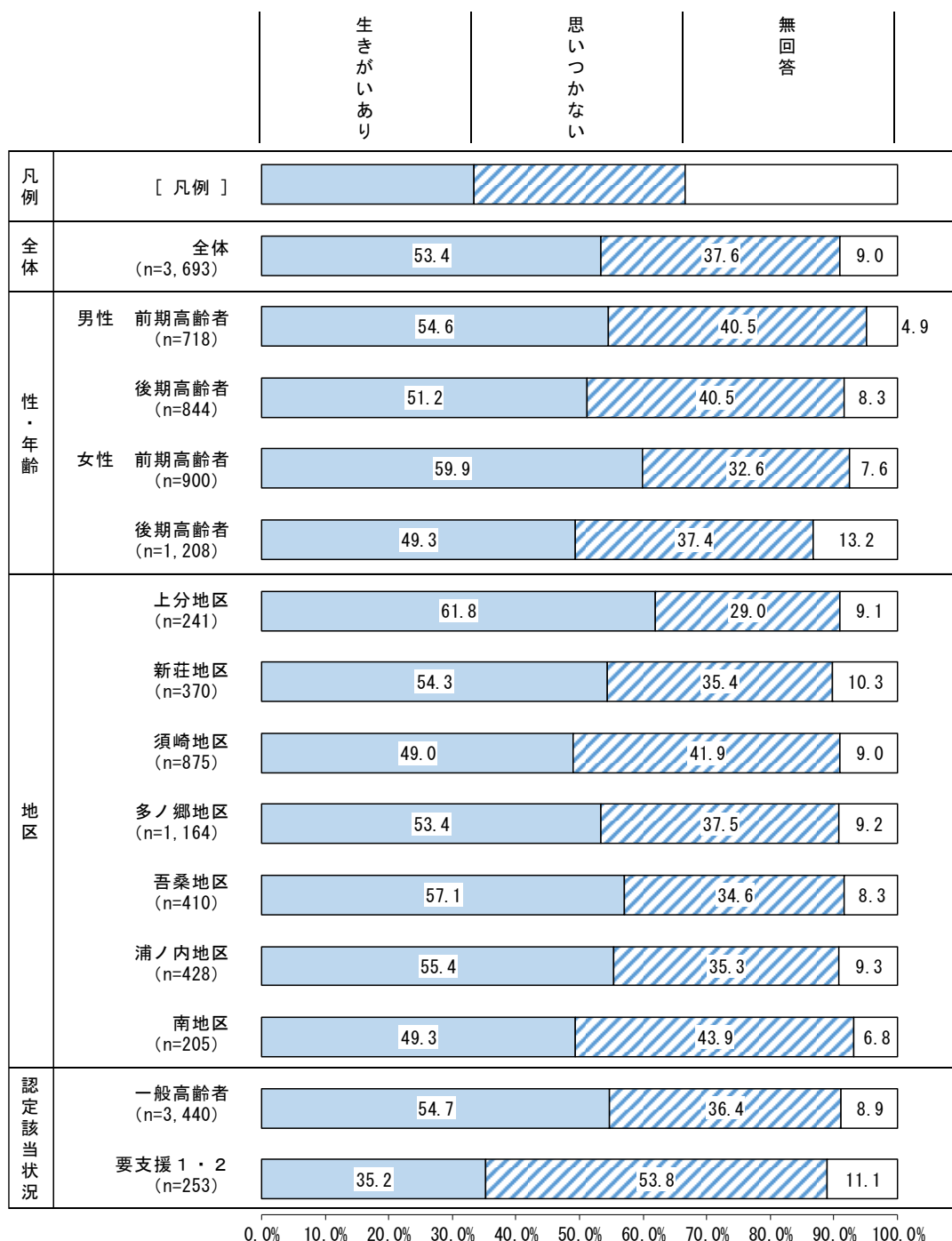


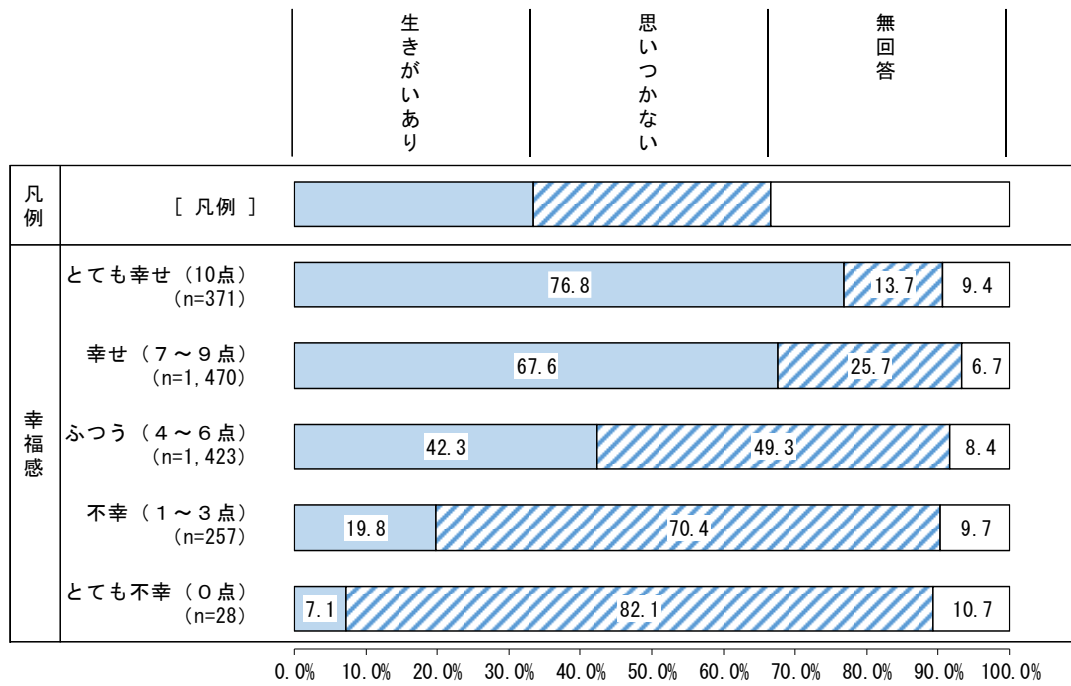


●問4.10 生きがいがありますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が53.4%、「思いつかない」が37.6%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「生きがいあり」が多くなっています。
【地区】
○ 「生きがいあり」は上分地区が61.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「生きがいあり」は一般高齢者が54.7%、要支援1・2が35.2%となっています。
【幸福感】
○ 幸福感が低いほど「思いつかない」が多くなる傾向がみられます。

【生きがいの有無】



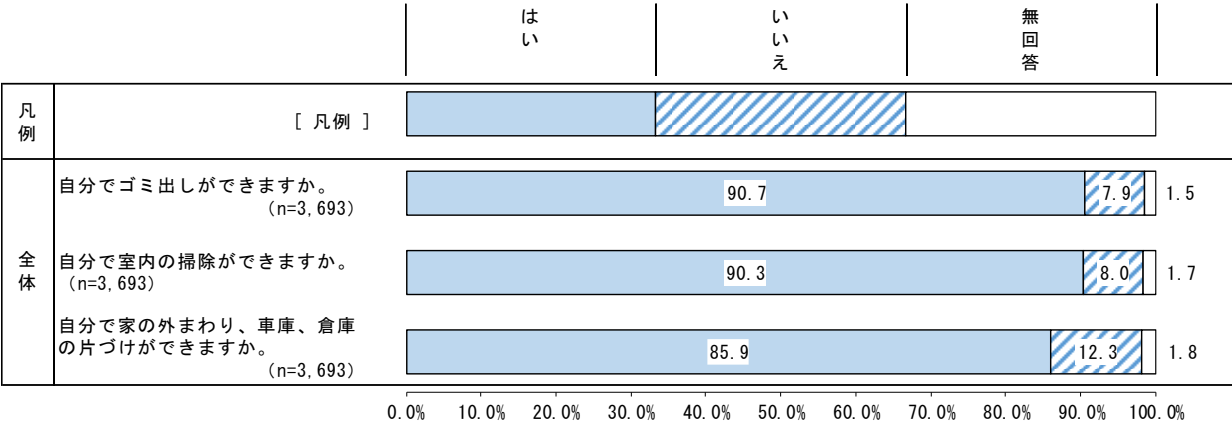


(4) ゴミ出しや掃除について

- 問4.11 自分でゴミ出しができますか。(1つだけ○)
- 問4.12 自分で室内の掃除ができますか。(1つだけ○)
- 問4.13 自分で家の外まわり、車庫、倉庫の片づけができますか。(1つだけ○)

【全体】
○ ゴミ出しについて、「できる」が 90.7%、「できない」が 7.9%となっています。
○ 室内の掃除について、「できる」が 90.3%、「できない」が 8.0%となっています。
○ 家の外まわり、車庫、倉庫の片づけについて、「できる」が 85.9%、「できない」が 12.3%となっています。

【ゴミ出しや掃除について（まとめ）】



7. 地域での活動について

(1) 地域活動への参加の状況

- 問5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①～⑧それぞれ1つ)

【全体】

- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は⑧収入のある仕事が19.8%、②スポーツ関係のグループやクラブが9.5%、③趣味関係のグループが7.6%となっています。

【会・グループ等への参加頻度（まとめ）】

単位：%

	母数 (n)	会・グループ等への参加頻度（全体）							参 加 週 1 回 以 上 人 ”
		週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
①ボランティアのグループ	3,693	0.6	1.0	0.7	2.7	6.7	61.7	26.5	2.3
②スポーツ関係のグループやクラブ	3,693	1.5	4.0	4.0	2.2	1.9	61.2	25.2	9.5
③趣味関係のグループ	3,693	1.1	2.7	3.8	6.3	4.8	56.6	24.6	7.6
④学習・教養サークル	3,693	0.2	0.2	0.7	1.6	1.9	66.0	29.4	1.1
⑤（運動教室などの） 介護予防のための通いの場	3,693	0.5	1.2	2.3	0.9	1.5	66.1	27.4	4.0
⑥老人クラブ	3,693	0.3	0.4	0.5	1.0	2.6	67.3	27.9	1.2
⑦町内会・自治会	3,693	0.2	0.3	0.4	1.5	16.6	54.0	27.1	0.9
⑧収入のある仕事	3,693	13.5	5.2	1.1	2.1	3.5	50.0	24.6	19.8

①ボランティアのグループ

【性・年齢】

○ “週1回以上参加している人”は女性 前期高齢者が4.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

○ “週1回以上参加している人”は上分地区が5.4%、新荘地区が4.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【①ボランティアのグループへの参加頻度】

		母数 (n)	①ボランティアのグループへの参加頻度							単位：％ 参 加 週 1 回 以 上 人
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体		3,693	0.6	1.0	0.7	2.7	6.7	61.7	26.5	2.3
性・年齢	男性 前期高齢者	718	1.1	0.3	0.6	3.8	9.9	70.2	14.2	2.0
	後期高齢者	844	0.5	0.6	0.7	1.5	7.5	60.7	28.6	1.8
	女性 前期高齢者	900	0.8	2.4	1.1	3.9	6.8	65.8	19.2	4.3
	後期高齢者	1,208	0.4	0.7	0.4	2.2	4.4	53.8	38.2	1.5
地区	上分地区	241	2.1	2.1	1.2	5.0	12.9	54.8	22.0	5.4
	新荘地区	370	0.8	2.2	1.6	4.3	5.9	60.0	25.1	4.6
	須崎地区	875	0.6	0.7	0.5	2.5	5.1	68.1	22.5	1.8
	多ノ郷地区	1,164	0.4	0.3	0.8	2.1	5.1	65.2	26.1	1.5
	吾桑地区	410	0.5	1.7	0.2	1.0	9.0	57.8	29.8	2.4
	浦ノ内地区	428	0.9	1.2	0.5	2.1	8.9	54.7	31.8	2.6
	南地区	205	-	1.5	-	6.3	7.8	▼ 47.8	36.6	1.5

②スポーツ関係のグループやクラブ

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“週1回以上参加している人”が多くなっています。

【地区】

○ “週1回以上参加している人”は須崎地区が7.5%、南地区が6.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度】

		母数 (n)	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度							参 加 週 1 回 以 上 人 ”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体		3,693	1.5	4.0	4.0	2.2	1.9	61.2	25.2	9.5
性・年齢	男性 前期高齢者	718	0.7	3.2	1.8	2.8	2.6	△ 74.7	14.2	5.7
	後期高齢者	844	1.9	2.4	1.9	2.0	3.8	61.1	26.9	6.2
	女性 前期高齢者	900	1.2	6.3	6.7	2.7	1.2	64.8	17.1	14.2
	後期高齢者	1,208	2.0	4.0	4.8	1.6	0.7	▼ 50.2	36.7	10.8
地区	上分地区	241	0.4	7.1	4.1	3.3	4.1	56.8	24.1	11.6
	新荘地区	370	1.4	3.5	6.5	2.7	2.2	59.5	24.3	11.4
	須崎地区	875	1.4	3.2	2.9	1.8	1.9	66.7	22.1	7.5
	多ノ郷地区	1,164	1.8	4.1	4.5	2.1	1.5	63.1	23.0	10.4
	吾桑地区	410	1.7	4.6	4.1	2.4	2.2	57.3	27.6	10.4
	浦ノ内地区	428	1.9	4.2	3.0	1.9	1.6	56.3	31.1	9.1
	南地区	205	1.0	2.9	2.9	2.0	2.0	53.2	36.1	6.8

③趣味関係のグループ

【性・年齢】

○ “週1回以上参加している人”は女性が男性に比べて多くなっています。

【地区】

○ “週1回以上参加している人”は吾桑地区が9.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【③趣味関係のグループへの参加頻度】

		母数 (n)	③趣味関係のグループへの参加頻度							参加週1回以上 している人”
			週4回以上	週2 ～ 3回	週1回	月1 ～ 3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体		3,693	1.1	2.7	3.8	6.3	4.8	56.6	24.6	7.6
性・年齢	男性 前期高齢者	718	0.4	2.9	3.6	8.1	9.5	62.0	13.5	6.9
	後期高齢者	844	1.2	2.6	2.5	3.6	6.0	57.0	27.1	6.3
	女性 前期高齢者	900	1.0	3.0	4.7	9.6	3.8	61.6	16.4	8.7
	後期高齢者	1,208	1.7	2.6	4.3	4.8	1.8	49.1	35.8	8.6
地区	上分地区	241	1.7	2.1	4.6	9.5	9.1	51.0	22.0	8.4
	新荘地区	370	1.6	3.0	3.8	9.2	7.0	53.5	21.9	8.4
	須崎地区	875	1.3	3.0	3.5	6.2	3.3	61.4	21.4	7.8
	多ノ郷地区	1,164	0.9	2.4	4.0	5.3	5.2	59.1	23.0	7.3
	吾桑地区	410	0.7	4.4	4.6	8.3	4.4	50.7	26.8	9.7
	浦ノ内地区	428	1.2	1.9	3.7	4.2	3.5	53.5	32.0	6.8
	南地区	205	1.0	2.4	2.0	3.4	2.4	53.2	35.6	5.4

④学習・教養サークル

【性・年齢】

○ “週1回以上参加している人”は女性が男性に比べて多くなっています。

【地区】

○ “週1回以上参加している人”は上分地区が2.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【④学習・教養サークルへの参加頻度】

		母数 (n)	④学習・教養サークルへの参加頻度							参加して いない	無回答	単位：％ 参加週1回以上 している人
			週4回以上	週2 ～ 3回	週1回	月1 ～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答			
全体		3,693	0.2	0.2	0.7	1.6	1.9	66.0	29.4	1.1		
性・年齢	男性 前期高齢者	718	0.1	—	0.7	1.7	1.7	△ 79.1	16.7	0.8		
	後期高齢者	844	0.2	0.2	0.4	0.8	1.3	66.2	30.8	0.8		
	女性 前期高齢者	900	—	0.3	0.9	3.4	3.0	70.7	21.7	1.2		
	後期高齢者	1,208	0.3	0.2	0.7	0.7	1.8	▼ 54.2	42.0	1.2		
地区	上分地区	241	0.4	0.4	1.2	2.1	5.8	63.5	26.6	2.0		
	新莊地区	370	—	—	0.5	3.0	2.2	64.9	29.5	0.5		
	須崎地区	875	0.2	0.3	0.6	1.7	1.8	70.1	25.3	1.1		
	多ノ郷地区	1,164	0.3	0.2	0.3	1.3	1.5	68.8	27.6	0.8		
	吾桑地区	410	0.2	0.2	0.7	1.0	1.5	62.9	33.4	1.1		
	浦ノ内地区	428	—	—	1.2	1.6	1.6	60.0	35.5	1.2		
	南地区	205	—	—	1.5	1.0	1.5	56.6	39.5	1.5		

⑤介護予防のための通いの場（地域の集い・あったかふれあいセンターなど）

【性・年齢】

○ “週1回以上参加している人”は女性 後期高齢者が7.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

○ “週1回以上参加している人”は上分地区が8.6%、新荘地区が7.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【⑤介護予防のための参加頻度】

		母数 (n)	⑤（運動教室などの）介護予防のための通いの場							参加して いる人”
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体		3,693	0.5	1.2	2.3	0.9	1.5	66.1	27.4	4.0
性・年齢	男性 前期高齢者	718	-	0.1	0.6	0.1	1.5	△ 81.6	16.0	0.7
	後期高齢者	844	0.6	0.7	1.5	0.5	1.3	66.1	29.3	2.8
	女性 前期高齢者	900	0.3	1.4	1.8	0.6	1.8	73.0	21.1	3.5
	後期高齢者	1,208	0.9	2.2	4.2	2.1	1.5	▼ 51.4	37.7	7.3
地区	上分地区	241	1.2	3.7	3.7	1.7	2.5	65.1	22.0	8.6
	新荘地区	370	0.8	1.4	4.9	1.4	2.4	63.5	25.7	7.1
	須崎地区	875	0.3	0.9	1.1	1.4	0.9	72.0	23.3	2.3
	多ノ郷地区	1,164	0.7	0.8	2.0	0.6	1.0	68.5	26.5	3.5
	吾桑地区	410	-	1.7	3.2	0.5	1.2	61.5	32.0	4.9
	浦ノ内地区	428	0.2	0.7	2.3	0.9	2.6	59.8	33.4	3.2
	南地区	205	0.5	2.4	1.0	0.5	2.4	▼ 55.6	37.6	3.9

⑥老人クラブ

【性・年齢】

○ “週1回以上参加している人”は女性 後期高齢者が2.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

○ “週1回以上参加している人”は上分地区が2.9%、新荘地区が2.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【⑥老人クラブへの参加頻度】

		母数 (n)	⑥老人クラブへの参加頻度							単位：％ 参加“週1回以上 している人”
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参加 して い な い	無 回 答	
全体		3,693	0.3	0.4	0.5	1.0	2.6	67.3	27.9	1.2
性・年齢	男性 前期高齢者	718	－	0.1	0.1	0.6	1.9	△ 81.5	15.7	0.2
	後期高齢者	844	0.5	0.2	0.5	1.2	2.8	65.8	29.0	1.2
	女性 前期高齢者	900	0.1	0.2	0.1	0.4	1.7	75.6	21.9	0.4
	後期高齢者	1,208	0.5	0.7	1.2	1.7	3.6	▼ 53.4	39.0	2.4
地区	上分地区	241	－	2.1	0.8	3.3	5.8	64.3	23.7	2.9
	新荘地区	370	0.5	0.3	1.6	0.5	0.8	67.6	28.6	2.4
	須崎地区	875	0.2	0.5	0.3	0.9	0.7	73.5	23.9	1.0
	多ノ郷地区	1,164	0.5	0.3	0.6	0.8	3.3	68.8	25.8	1.4
	吾桑地区	410	－	－	－	1.2	4.4	62.0	32.4	－
	浦ノ内地区	428	0.2	－	0.2	0.5	1.6	62.9	34.6	0.4
	南地区	205	－	0.5	0.5	2.0	4.9	▼ 55.1	37.1	1.0

⑦町内会・自治会

【性・年齢】

- “週1回以上参加している人”は男性 後期高齢者が1.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

- “週1回以上参加している人”は吾桑地区が1.4%、浦ノ内地区が1.2%、南地区が1.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【⑦町内会・自治会への参加頻度】

		母数 (n)	⑦町内会・自治会への参加頻度							単位：％ 参加週1回以上 している人
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体		3,693	0.2	0.3	0.4	1.5	16.6	54.0	27.1	0.9
性・年齢	男性 前期高齢者	718	—	0.4	0.6	2.9	△ 29.2	54.0	12.8	1.0
	後期高齢者	844	0.5	0.4	0.4	1.3	19.1	51.1	27.4	1.3
	女性 前期高齢者	900	0.1	0.2	—	1.3	17.6	60.1	20.7	0.3
	後期高齢者	1,208	0.2	0.2	0.6	1.0	6.7	50.9	40.4	1.0
地区	上分地区	241	—	0.4	0.4	0.8	△ 30.7	▼ 43.6	24.1	0.8
	新荘地区	370	0.5	—	—	2.2	22.2	48.9	26.2	0.5
	須崎地区	875	0.2	0.2	0.3	0.9	10.6	63.8	23.9	0.7
	多ノ郷地区	1,164	0.2	0.1	0.3	1.0	15.6	56.7	26.0	0.6
	吾桑地区	410	—	0.7	0.7	1.5	17.8	48.8	30.5	1.4
	浦ノ内地区	428	0.5	0.7	—	1.6	18.5	46.7	32.0	1.2
	南地区	205	—	—	1.5	6.3	14.1	▼ 43.4	34.6	1.5

⑧収入のある仕事

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“週1回以上参加している人”が多くなっています。

【地区】

- “週1回以上参加している人”は新莊地区が22.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【⑧収入のある仕事への参加頻度】

										単位：％
		母数 (n)	⑧収入のある仕事への参加頻度							参加週1回以上 している人
			週4 回以上	週2 ～ 3回	週1 回	月1 ～ 3回	年に 数回	参加 して いない	無 回 答	
全体		3,693	13.5	5.2	1.1	2.1	3.5	50.0	24.6	19.8
性・年齢	男性 前期高齢者	718	△ 24.5	6.3	1.1	4.0	6.7	46.1	11.3	△ 31.9
	後期高齢者	844	7.3	3.2	1.1	2.3	3.3	57.0	25.8	11.6
	女性 前期高齢者	900	21.3	10.1	1.6	2.1	3.6	46.2	15.1	△ 33.0
	後期高齢者	1,208	5.0	2.4	0.8	1.0	1.8	50.1	38.9	▼ 8.2
地区	上分地区	241	11.6	5.8	1.7	4.6	5.8	49.0	21.6	19.1
	新荘地区	370	15.4	5.9	0.8	1.4	5.4	47.8	23.2	22.1
	須崎地区	875	12.9	4.9	0.8	2.5	2.1	54.9	21.9	18.6
	多ノ郷地区	1,164	13.9	5.8	1.4	2.1	2.9	50.9	23.1	21.1
	吾桑地区	410	14.9	4.6	1.0	2.0	3.7	46.3	27.6	20.5
	浦ノ内地区	428	12.4	4.9	1.4	0.9	4.4	45.3	30.6	18.7
	南地区	205	11.2	2.9	0.5	2.4	4.9	46.3	31.7	14.6

(2) 活動の認知状況

●問5.2 以下のような活動についてお答えください。(それぞれ1つだけ○)

①地域の集い (いきいき百歳体操等をしている自主グループ)

【全体】

○ ①地域の集い (いきいき百歳体操等をしている自主グループ) の周知・参加状況について、「知っているが、参加していない」が 57.8%で最も多く、次いで「知らない」が 22.3%、「知っており、参加している」が 11.3%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。

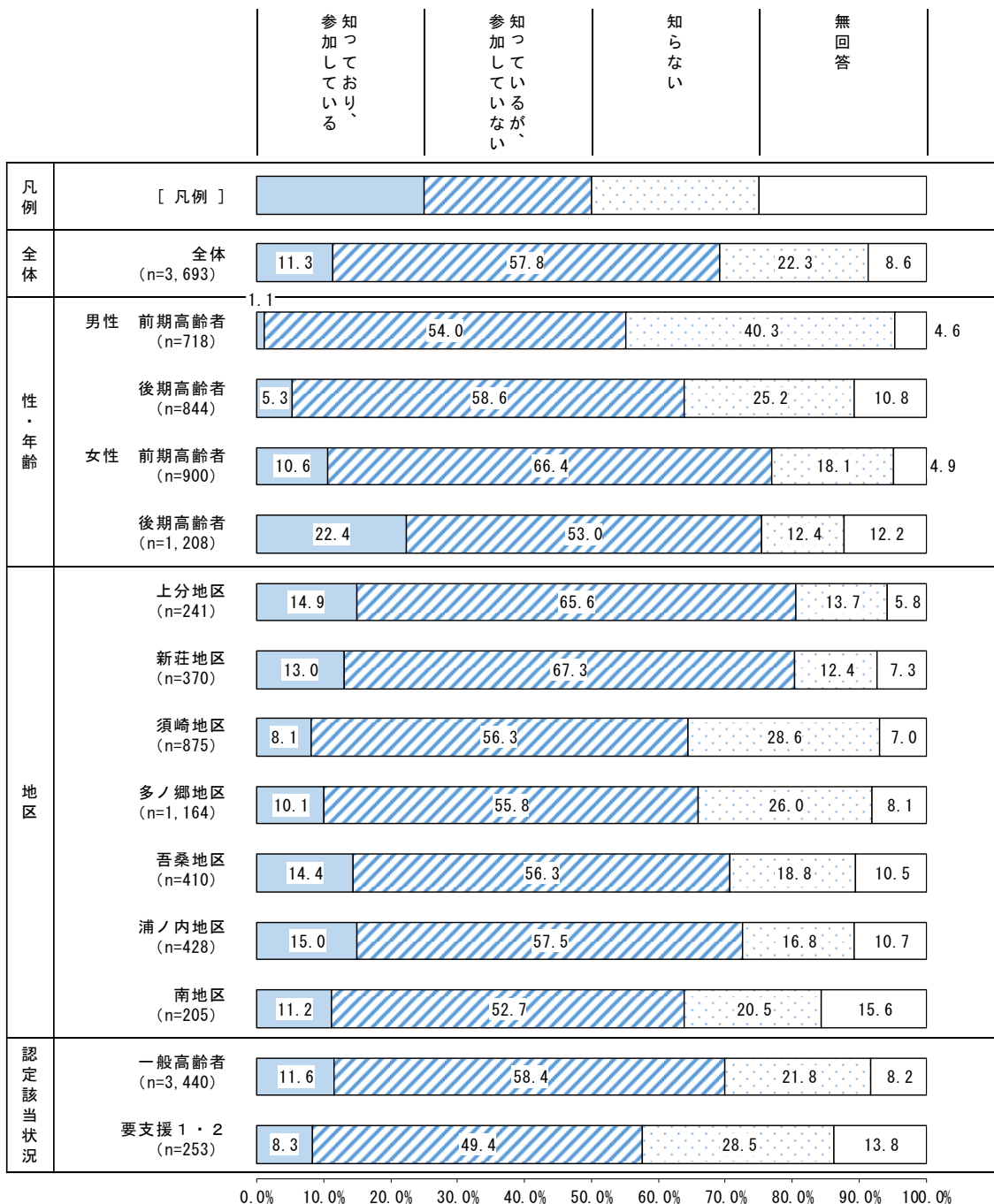
【地区】

○ 「知らない」は須崎地区が 28.6%、多ノ郷地区が 26.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「知らない」は一般高齢者が 21.8%、要支援1・2が 28.5%となっています。

【地域の集いの認知】



②あったかふれあいセンター（8店会、しんまち、山手町、さんぽ、上分、安和）

【全体】

- ②あったかふれあいセンター（8店会、しんまち、山手町、さんぽ、上分、安和）の周知・参加状況について、「知らない」が44.7%で最も多く、次いで「知っているが、参加していない」が34.8%、「知っており、参加している」が2.9%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。

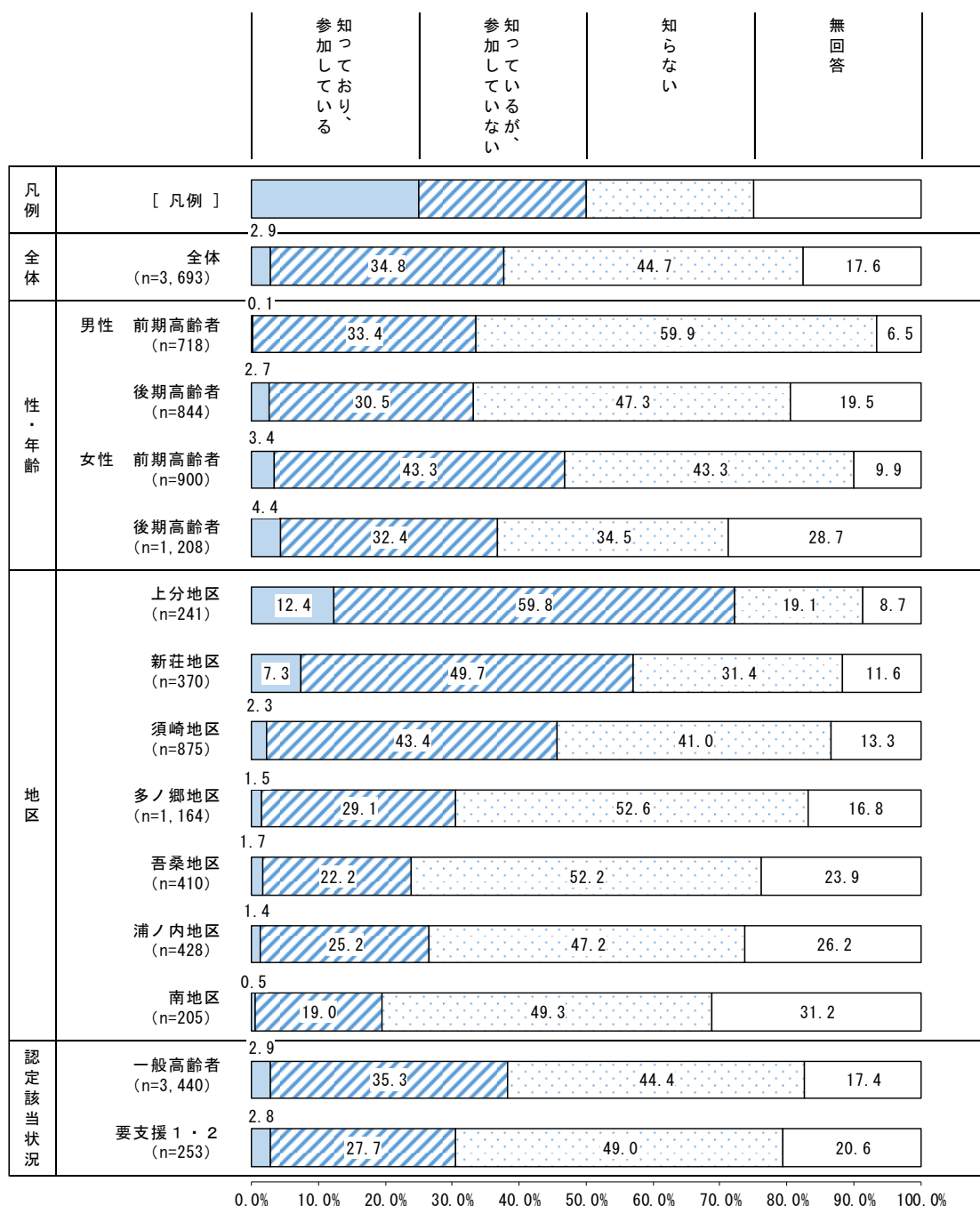
【地区】

- 「知らない」は多ノ郷地区が52.6%、吾桑地区が52.2%となっています。

【認定該当状況】

- 「知っているが、参加していない」は一般高齢者が35.3%、要支援1・2が27.7%となっています。

【あったかふれあいセンターの認知】

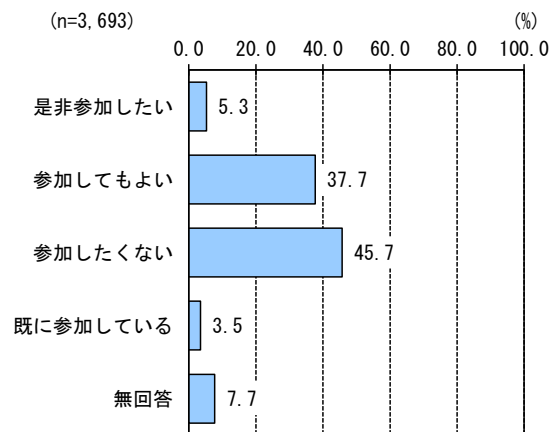


(2) 地域活動づくりへの参加意向

- 問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】	
○	地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加したくない」が45.7%で最も多く、次いで「参加してもよい」が37.7%、「是非参加したい」が5.3%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は43.0%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“参加意向がある方”が多くなっています。
【地区】	
○	“参加意向がある方”は南地区が45.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	“参加意向がある方”は一般高齢者が44.9%、要支援1・2が18.6%となっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



		母数 (n)	地域づくり活動に対する 参加者としての参加意向					“ 参加 意向が ある方”
			是非 参加し たい	参 加し ても よい	参 加し たく ない	既 に 参 加し てい る	無 回 答	
全体		3,693	5.3	37.7	45.7	3.5	7.7	43.0
性・年齢	男性 前期高齢者	718	3.2	40.7	52.2	0.7	3.2	43.9
	後期高齢者	844	3.9	34.2	50.0	3.0	8.9	38.1
	女性 前期高齢者	900	5.7	46.2	39.4	3.8	4.9	51.9
	後期高齢者	1,208	7.3	32.4	43.1	5.5	11.8	39.7
地区	上分地区	241	6.6	35.3	44.8	4.6	8.7	41.9
	新荘地区	370	4.3	37.6	42.7	7.0	8.4	41.9
	須崎地区	875	5.0	37.7	47.7	2.4	7.2	42.7
	多ノ郷地区	1,164	5.3	37.9	47.2	2.2	7.4	43.2
	吾桑地区	410	5.4	38.5	45.1	5.1	5.9	43.9
	浦ノ内地区	428	5.1	37.4	43.7	4.4	9.3	42.5
	南地区	205	6.3	39.5	41.0	2.9	10.2	45.8
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	5.5	39.4	44.3	3.6	7.3	44.9
	要支援 1・2	253	2.8	▼ 15.8	△ 64.4	2.8	14.2	▼ 18.6

- 問5.4 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ○）

【全体】

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が65.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が22.6%、「既に参加している」が2.2%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は24.0%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“参加意向がある方”が多くなっています。

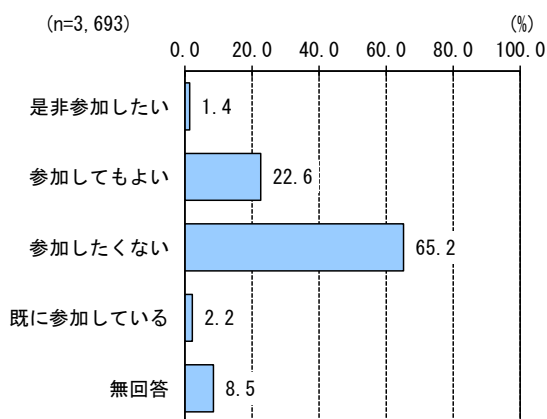
【地区】

- “参加意向がある方”は吾桑地区が26.1%、多ノ郷地区が25.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- “参加意向がある方”は一般高齢者が25.3%、要支援1・2が6.7%となっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



		単位：％						単位：％
		母数 (n)	地域づくり活動に対する お世話役としての参加意向					“ 参加 意向が ある方”
			是非 参加し たい	参 加し ても よい	参 加し たく ない	既 に 参 加し てい る	無 回 答	
全体		3,693	1.4	22.6	65.2	2.2	8.5	24.0
性・年齢	男性 前期高齢者	718	1.9	25.8	68.8	0.8	2.6	27.7
	後期高齢者	844	1.1	22.6	65.3	1.9	9.1	23.7
	女性 前期高齢者	900	1.8	27.1	63.3	2.9	4.9	28.9
	後期高齢者	1,208	1.2	17.4	64.4	2.7	14.3	18.6
地区	上分地区	241	2.5	19.1	65.1	2.9	10.4	21.6
	新荘地区	370	0.8	23.5	63.0	3.5	9.2	24.3
	須崎地区	875	1.6	20.5	67.9	2.1	8.0	22.1
	多ノ郷地区	1,164	1.4	23.9	65.8	1.4	7.6	25.3
	吾桑地区	410	1.0	25.1	63.9	2.7	7.3	26.1
	浦ノ内地区	428	0.9	20.3	66.6	2.8	9.3	21.2
	南地区	205	2.9	27.3	▼ 54.6	2.0	13.2	30.2
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	1.5	23.8	64.4	2.2	8.0	25.3
	要支援 1・2	253	-	▼ 6.7	△ 75.9	1.6	15.8	6.7

8. たすけあいについて

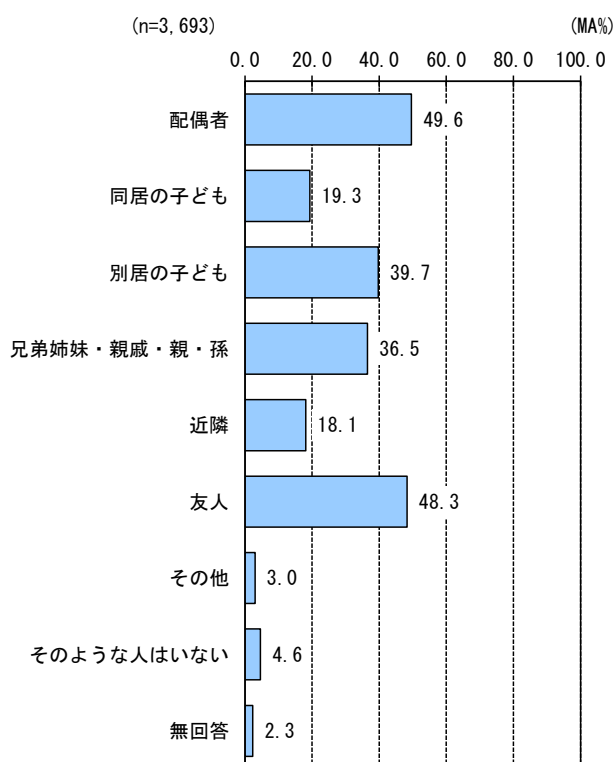
(1) 周囲との相互の関係

●問6.1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも○）

【全体】

○ あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 49.6%で最も多く、次いで「友人」が 48.3%、「別居の子ども」が 39.7%となっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



単位：％

単位：％

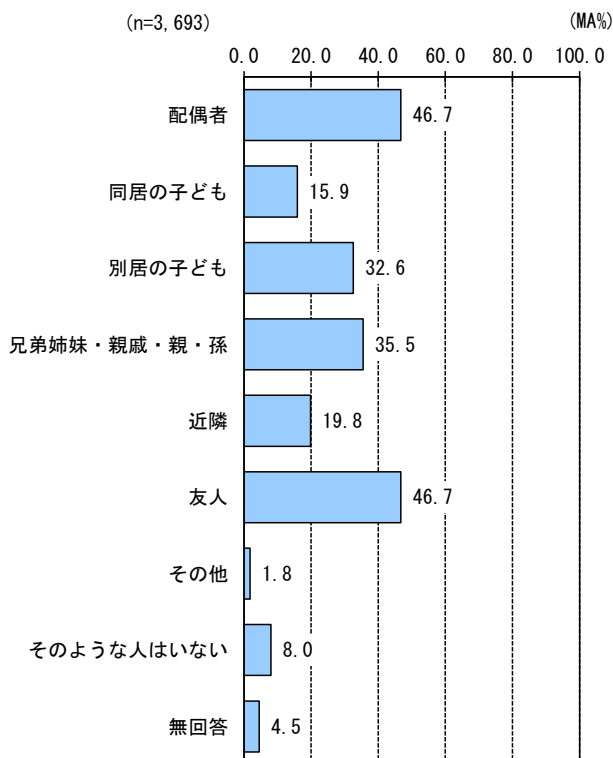
		母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,693	49.6	19.3	39.7	36.5	18.1	48.3	3.0	4.6	2.3
性・年齢	男性 前期高齢者	718	△ 64.5	13.5	▼ 24.1	▼ 25.3	11.3	44.2	2.6	7.7	1.5
	後期高齢者	844	△ 62.4	17.8	34.8	▼ 26.2	14.3	▼ 31.5	3.3	5.8	3.6
	女性 前期高齢者	900	51.6	17.4	47.9	△ 49.0	18.2	△ 66.1	3.1	2.4	1.3
	後期高齢者	1,208	▼ 30.1	25.2	47.0	41.0	24.8	49.2	2.7	3.3	2.7
地区	上分地区	241	57.7	25.3	43.6	42.7	22.4	44.8	3.7	3.3	2.1
	新荘地区	370	50.3	21.4	40.8	33.0	22.2	52.4	2.7	4.9	1.6
	須崎地区	875	46.5	17.7	39.7	36.5	15.3	49.1	4.2	4.7	2.6
	多ノ郷地区	1,164	49.6	18.6	40.2	36.8	16.0	48.9	2.7	4.8	2.1
	吾桑地区	410	52.9	16.8	38.0	33.4	18.5	49.8	1.0	4.1	2.7
	浦ノ内地区	428	50.5	23.6	38.8	36.4	21.5	44.6	2.6	4.4	2.8
	南地区	205	43.4	15.6	36.1	40.0	21.5	42.9	3.4	4.9	2.4
認定該当状況	一般高齢者	3,440	51.3	19.2	39.6	36.8	18.1	49.9	2.7	4.3	2.1
	要支援 1・2	253	▼ 25.7	20.2	41.5	32.0	17.8	▼ 26.9	5.9	8.3	5.5

●問6.2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも○）

【全体】

○ 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」「友人」が 46.7%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 35.5%、「別居の子ども」が 32.6%となっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



単位：％

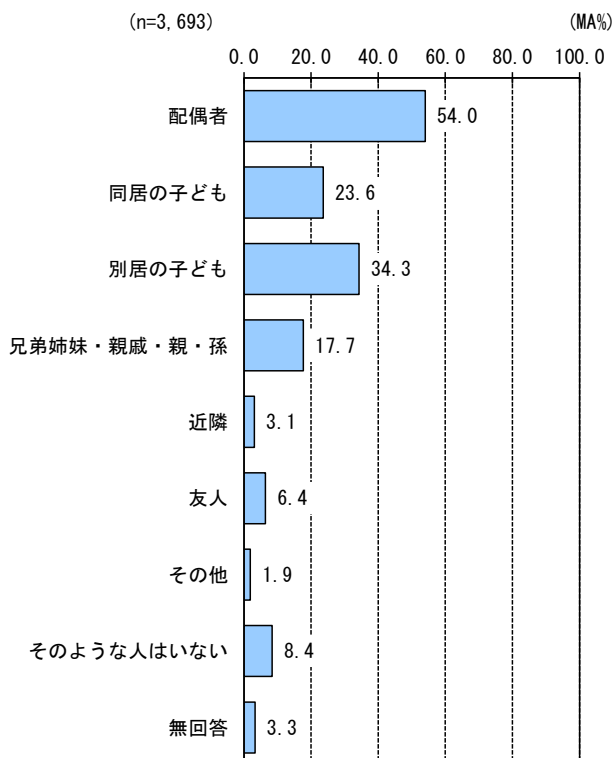
		母数 (n)	単位：％ 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,693	46.7	15.9	32.6	35.5	19.8	46.7	1.8	8.0	4.5
性・年齢	男性 前期高齢者	718	△ 62.7	14.1	24.9	▼ 24.9	13.2	43.2	2.9	9.6	1.9
	後期高齢者	844	△ 59.0	14.8	30.9	27.1	16.6	▼ 30.3	1.7	11.1	6.6
	女性 前期高齢者	900	49.2	14.7	40.7	△ 49.8	21.2	△ 63.8	2.0	3.4	2.1
	後期高齢者	1,208	▼ 26.4	18.9	32.7	36.9	25.0	47.1	1.1	8.4	6.5
地区	上分地区	241	51.9	22.4	35.7	40.7	24.1	44.0	1.7	7.5	3.3
	新荘地区	370	48.4	17.6	34.3	32.4	25.7	50.0	2.7	8.9	3.0
	須崎地区	875	43.8	15.3	32.0	36.2	17.7	48.5	2.6	9.1	4.2
	多ノ郷地区	1,164	47.0	15.0	33.0	35.0	16.7	47.0	1.5	7.0	4.5
	吾桑地区	410	51.0	14.6	32.4	32.2	20.5	47.8	0.7	6.8	4.6
	浦ノ内地区	428	45.1	17.8	31.8	37.9	22.2	43.2	1.4	8.4	7.2
	南地区	205	42.9	12.2	28.8	36.1	23.9	39.0	2.0	9.3	4.9
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	48.4	16.0	33.0	36.3	20.1	48.2	1.8	7.3	4.1
	要支援 1・2	253	▼ 23.3	15.0	27.3	▼ 24.1	15.4	▼ 25.7	1.6	17.8	10.7

●問6.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）

【全体】

○ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 54.0%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 34.3%、「同居の子ども」が 23.6%となっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



単位：%

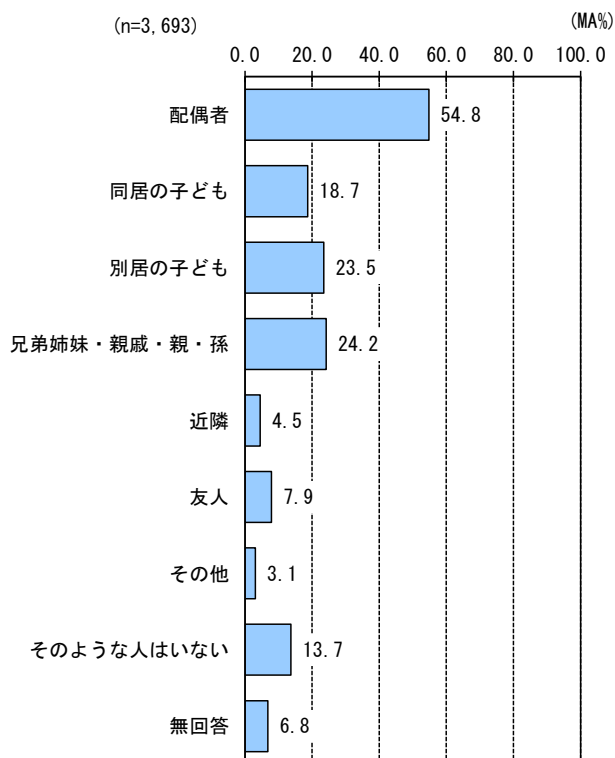
		母数 (n)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,693	54.0	23.6	34.3	17.7	3.1	6.4	1.9	8.4	3.3
性・年齢	男性 前期高齢者	718	△ 68.9	16.6	▼ 19.6	15.5	2.2	3.8	1.3	11.7	1.7
	後期高齢者	844	△ 67.4	21.2	33.1	15.3	2.1	4.0	1.2	7.2	4.6
	女性 前期高齢者	900	59.4	22.9	35.6	23.0	2.6	9.7	2.0	6.8	1.6
	後期高齢者	1,208	▼ 31.4	30.1	43.0	16.6	4.9	7.2	2.8	8.3	4.6
地区	上分地区	241	△ 64.3	31.5	36.1	16.6	2.5	5.4	0.4	5.8	2.5
	新荘地区	370	53.2	27.0	42.2	16.5	4.3	6.5	2.4	7.3	2.7
	須崎地区	875	49.9	22.2	36.0	19.9	2.9	7.7	1.9	9.4	2.1
	多ノ郷地区	1,164	53.2	21.8	33.0	17.6	2.5	6.8	2.3	8.9	2.7
	吾桑地区	410	60.2	22.4	29.0	14.9	3.9	4.4	0.7	8.3	4.4
	浦ノ内地区	428	55.8	27.1	33.9	15.4	3.5	4.0	2.1	7.5	5.1
	南地区	205	49.3	19.5	28.8	22.0	4.4	8.8	2.4	7.8	7.8
認定該当状況	一般高齢者	3,440	55.8	23.6	33.9	17.9	3.0	6.5	1.8	8.1	3.1
	要支援1・2	253	▼ 29.6	23.7	38.7	14.2	5.5	5.5	3.6	11.5	6.3
家族構成	1人暮らし	929	▼ 2.4	▼ 2.2	40.7	26.9	6.4	11.9	3.8	△ 24.3	5.4
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,482	△ 87.3	▼ 4.9	39.3	13.0	2.2	5.0	0.8	3.4	2.1
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	143	△ 92.3	15.4	25.9	11.2	-	3.5	0.7	1.4	2.1
	息子・娘との2世帯	522	50.8	△ 79.7	25.5	13.0	1.5	3.4	0.8	0.8	2.7
	その他	527	47.1	△ 56.9	▼ 22.2	21.3	2.3	4.7	3.0	3.4	2.7

●問6.4 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも○)

【全体】

○ 反対に、看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 54.8%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 24.2%、「別居の子ども」が 23.5%となっています。

【反対に、看病や世話をしあける人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	反対に、看病や世話をしあげる人(MA)									単位：%
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答	
全体		3,693	54.8	18.7	23.5	24.2	4.5	7.9	3.1	13.7	6.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	718	△ 66.6	16.7	16.7	22.0	2.8	5.4	2.1	14.3	2.4	
	後期高齢者	844	64.0	14.9	19.8	16.8	3.4	5.7	3.1	14.2	7.8	
	女性 前期高齢者	900	61.9	21.0	△ 34.2	△ 38.6	4.9	10.6	2.3	8.0	3.1	
	後期高齢者	1,208	▼ 35.7	20.9	22.0	19.9	6.1	8.9	4.4	17.3	11.4	
地区	上分地区	241	△ 65.6	25.7	27.8	24.1	4.6	7.5	2.1	10.0	4.1	
	新荘地区	370	57.6	20.3	29.2	24.9	5.9	8.9	3.5	14.3	4.1	
	須崎地区	875	49.5	17.5	25.3	25.1	5.3	9.7	4.1	16.1	5.6	
	多ノ郷地区	1,164	55.2	16.9	23.5	24.9	3.3	7.4	2.8	12.7	7.4	
	吾桑地区	410	59.0	19.0	18.0	22.0	3.9	5.9	1.7	13.9	7.3	
	浦ノ内地区	428	53.3	22.7	21.7	21.0	4.4	4.9	3.7	14.3	9.3	
	南地区	205	51.2	14.6	15.6	26.3	7.3	11.2	2.9	10.7	10.2	
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	57.0	19.5	24.4	25.4	4.7	8.2	2.6	12.3	6.0	
	要支援1・2	253	▼ 23.7	▼ 8.7	▼ 11.5	▼ 7.5	1.6	2.8	10.7	△ 32.8	18.2	
家族構成	1人暮らし	929	▼ 2.6	▼ 1.3	20.2	26.9	6.6	12.6	4.8	△ 36.2	13.1	
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1,482	△ 88.5	▼ 4.3	30.0	21.5	3.9	6.9	1.2	4.3	3.3	
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	143	△ 85.3	12.6	22.4	23.1	0.7	7.0	1.4	5.6	4.2	
	息子・娘との2世帯	522	52.5	△ 61.3	18.6	22.2	4.2	4.8	2.7	8.8	5.7	
	その他	527	49.1	△ 47.4	17.6	30.4	4.0	5.9	6.3	7.8	4.4	

◆たすけあい合計点

●たすけあいの判定

以下の設問に「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」「その他」のいずれかと回答した場合を1点として、4点満点で評価。

設問	配点
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1点
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1点
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1点
反対に、看病や世話をしてあげる人	1点

【全体】

- たすけあいの合計点について、「4点」が72.0%で最も多く、次いで「3点」が13.9%、「2点」が7.6%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「4点」が多くなっています。
○ 「0点」は男性 前期高齢者が3.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【地区】

- 「4点」は上分地区が77.6%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「0点」は浦ノ内地区が3.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

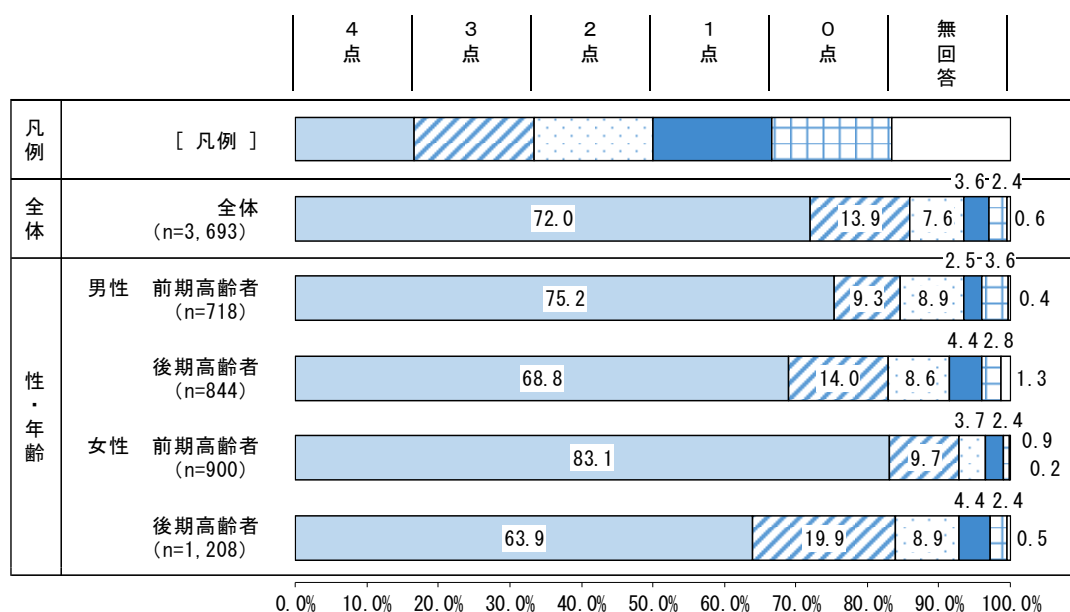
【認定該当状況】

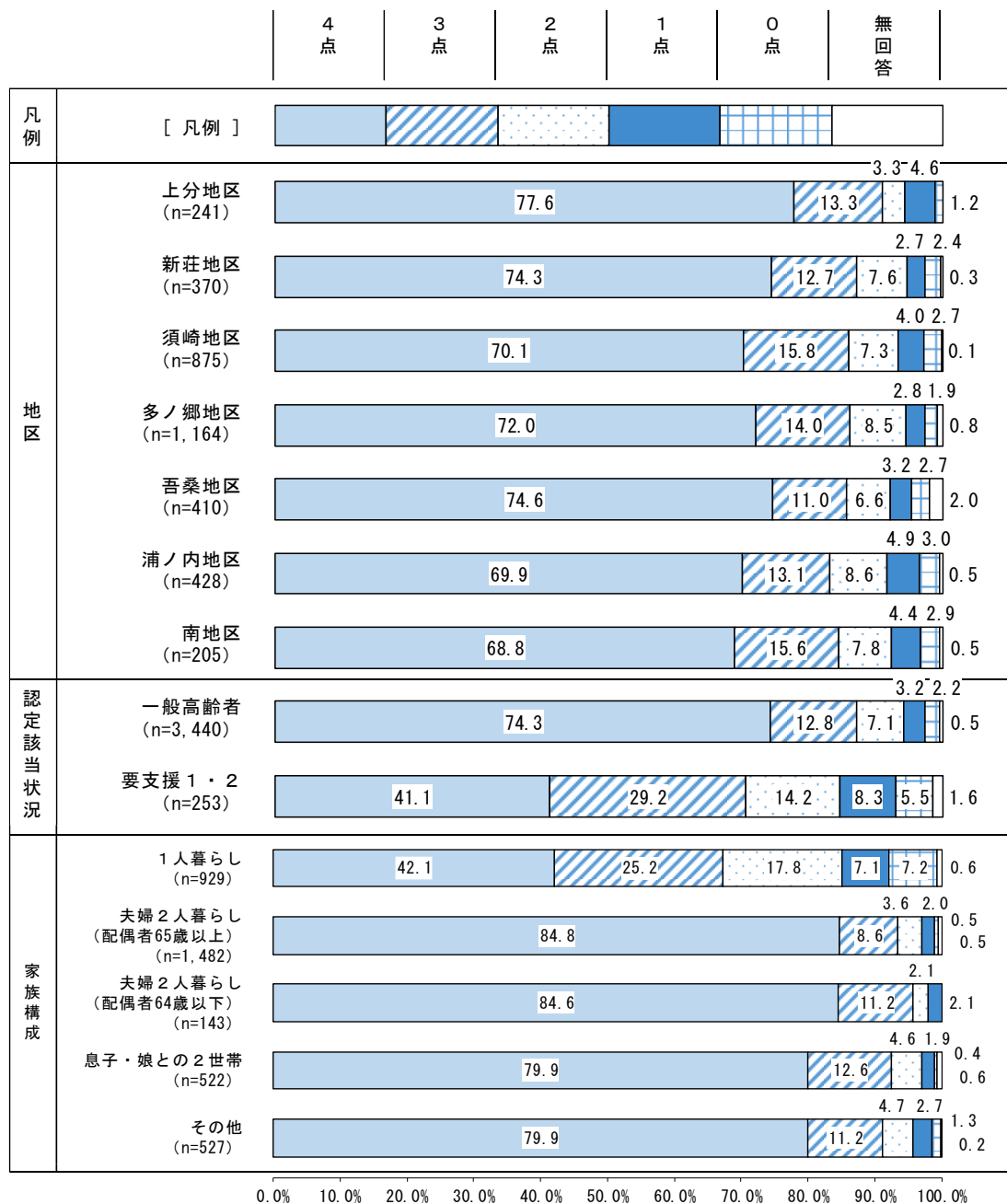
- 「0点」は要支援1・2が5.5%となっています。

【家族構成】

- 「0点」は1人暮らしが7.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【たすけあいの合計点】



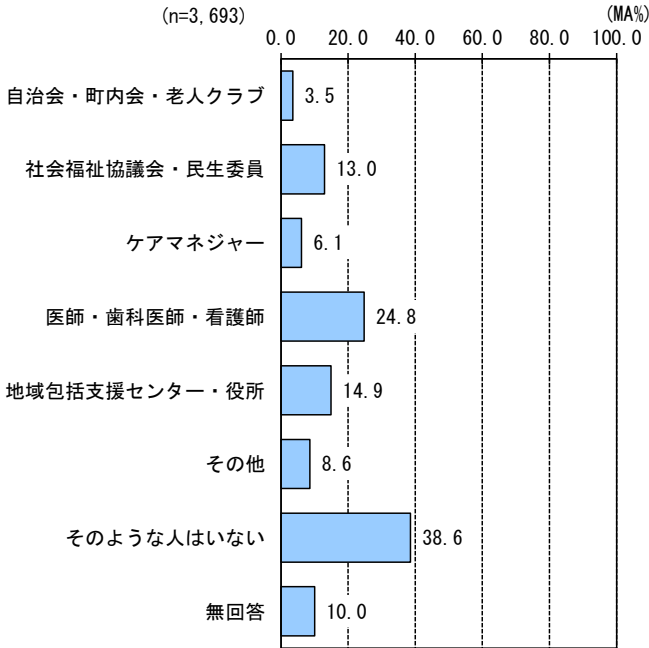


(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

●問6.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも○)

【全体】
○ 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 38.6%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 24.8%、「地域包括支援センター・役所」が 14.9%となっています。

【何かあったときの相談相手(MA)】



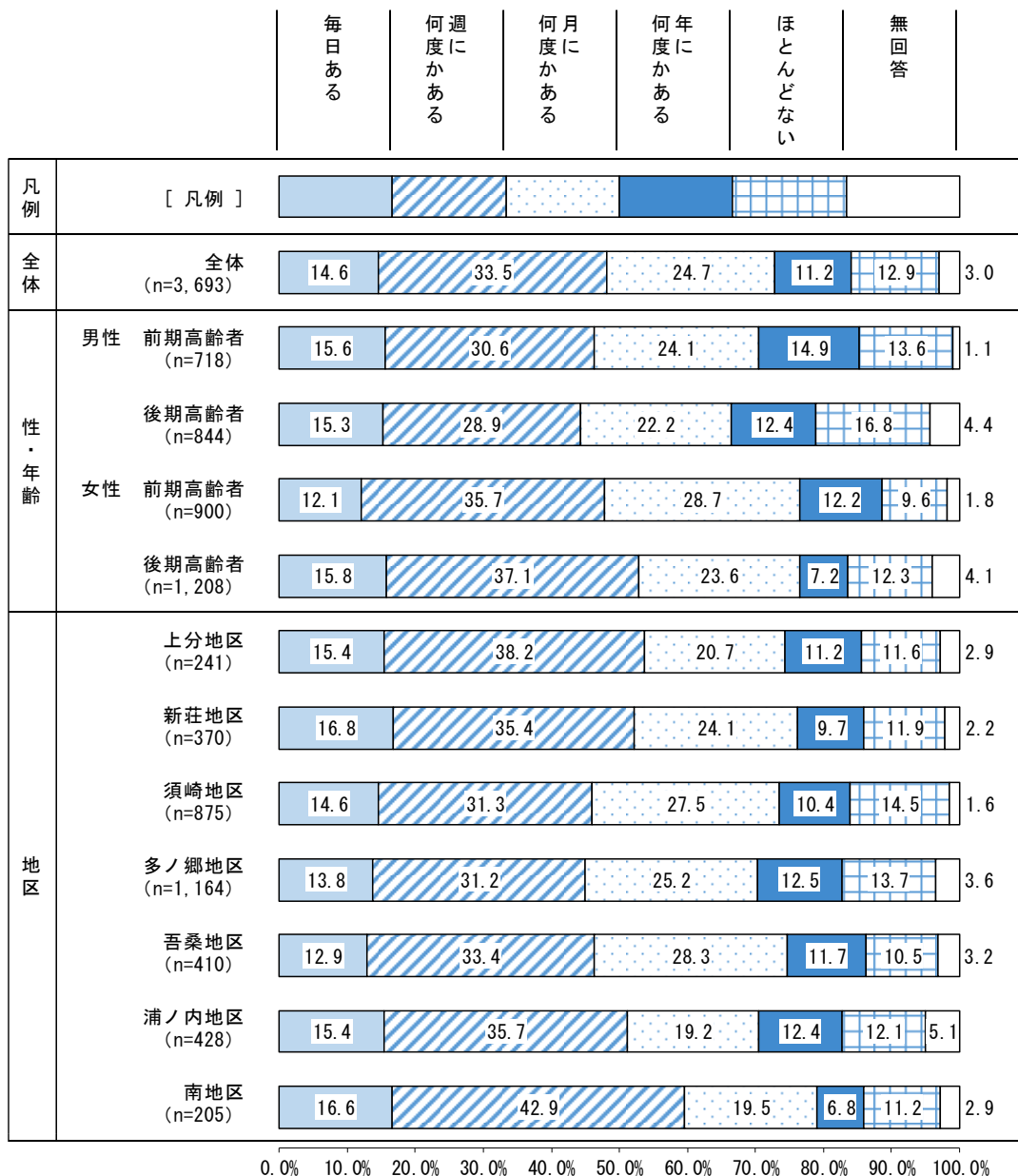
単位：％											
		母数 (n)	何かあったときの相談相手(MA)								
			老人自治会・町内会・クラブ	民生社会福祉協議会・委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	役所 地域包括支援センター・	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		3,693	3.5	13.0	6.1	24.8	14.9	8.6	38.6	10.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	718	3.9	10.6	2.6	20.6	11.3	11.4	△ 49.3	4.5	
	後期高齢者	844	4.5	13.6	6.2	27.1	13.0	6.9	38.5	10.9	
	女性 前期高齢者	900	2.3	9.8	6.3	23.3	17.0	9.9	42.2	7.8	
	後期高齢者	1,208	3.6	16.7	7.7	26.8	16.8	7.4	29.3	14.4	
地区	上分地区	241	4.1	16.6	4.6	29.9	18.7	8.3	35.7	8.3	
	新荘地区	370	4.1	12.4	8.6	24.6	17.8	8.9	38.9	6.8	
	須崎地区	875	5.5	12.5	5.4	21.6	15.0	11.0	40.6	7.4	
	多ノ郷地区	1,164	2.9	10.0	7.0	25.1	14.7	7.5	39.8	11.0	
	吾桑地区	410	2.7	13.4	3.9	23.9	14.1	7.6	40.7	13.4	
	浦ノ内地区	428	2.3	18.7	5.6	27.8	11.7	7.7	34.1	11.7	
	南地区	205	1.0	17.1	6.8	26.3	15.1	9.3	31.2	12.7	
認定該当状況	一般高齢者	3,440	3.6	12.8	4.2	24.8	14.1	8.7	40.1	9.9	
	要支援１・２	253	2.8	15.4	△ 31.6	24.5	△ 26.1	8.3	▼ 18.6	11.9	
家族構成	１人暮らし	929	2.9	15.2	5.8	21.0	15.3	8.1	39.3	10.2	
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,482	4.0	12.3	5.2	26.2	14.4	7.8	40.4	8.7	
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	143	4.9	9.8	5.6	23.1	9.8	8.4	41.3	11.2	
	息子・娘との２世帯	522	2.9	13.8	6.1	28.5	15.5	7.5	36.4	11.3	
	その他	527	3.6	11.6	8.3	25.2	17.1	13.1	36.4	8.0	

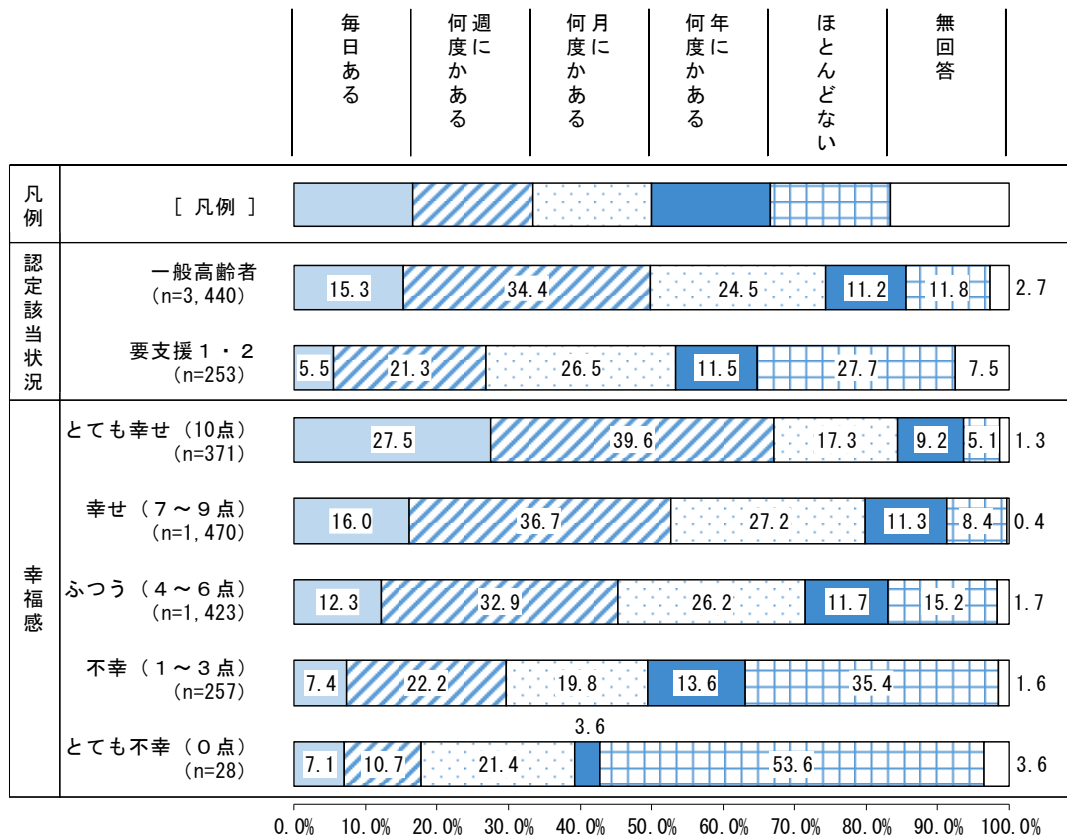
(3) 友人・知人との関係性

●問6.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

【全体】	
○	友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が 33.5%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 24.7%、「毎日ある」が 14.6%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほとんどない」が多くなっています。
【地区】	
○	「ほとんどない」は須崎地区が 14.5%、多ノ郷地区が 13.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「ほとんどない」は一般高齢者が 11.8%、要支援1・2が 27.7%となっています。
【幸福感】	
○	幸福感が低いほど「ほとんどない」が多くなる傾向がみられます。

【友人・知人と会う頻度】





- 問6.7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ○)

【全体】

○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が29.5%で最も多く、次いで「1～2人」が23.6%、「10人以上」が22.4%となっています。

【性・年齢】

○ 「0人(いない)」「1～2人」は男性 前期高齢者、男性 後期高齢者が他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

○ 「0人(いない)」は須崎地区が10.2%、多ノ郷地区が10.0%、南地区が8.8%と他の区分に比べて多くなっています。

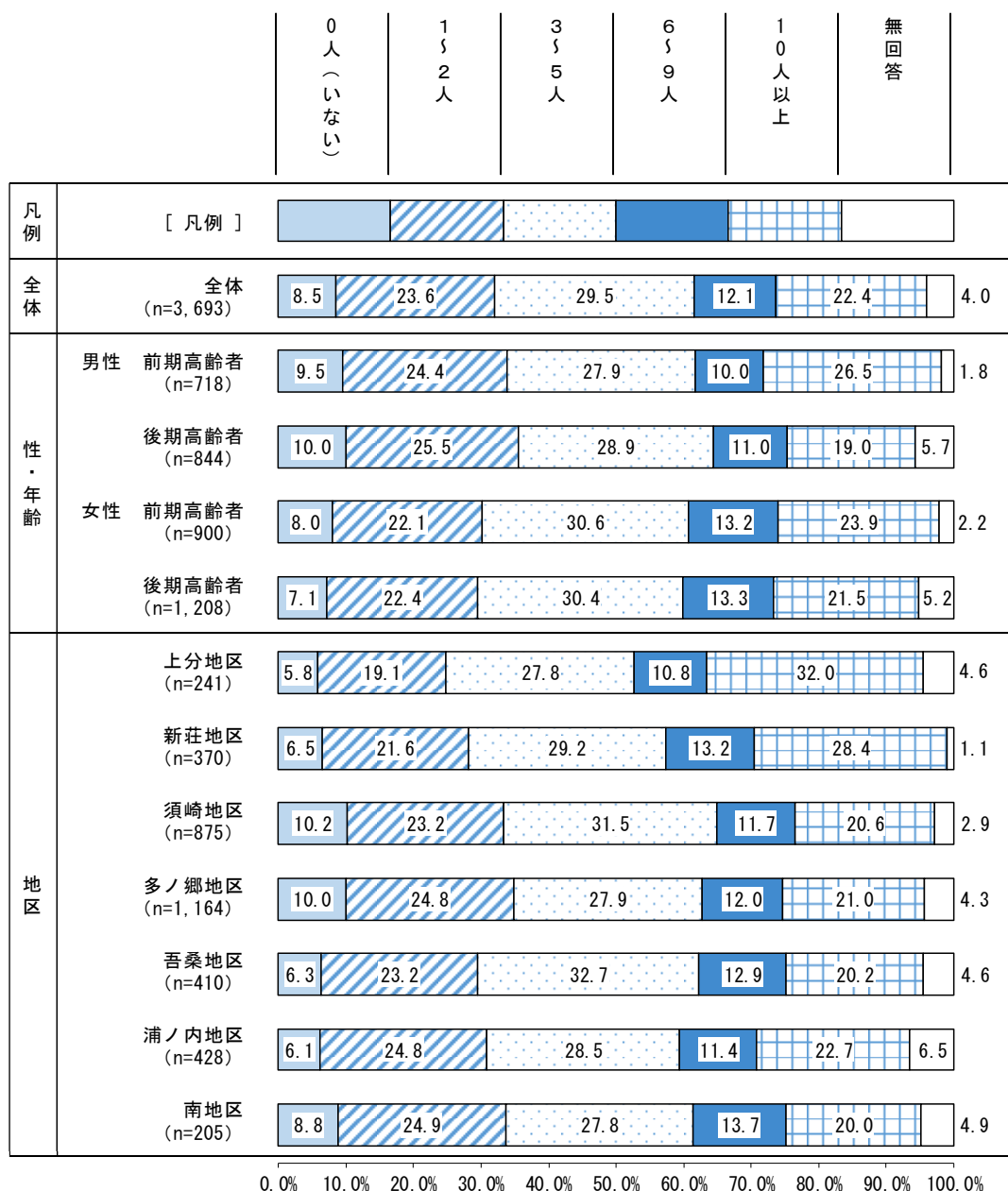
【認定該当状況】

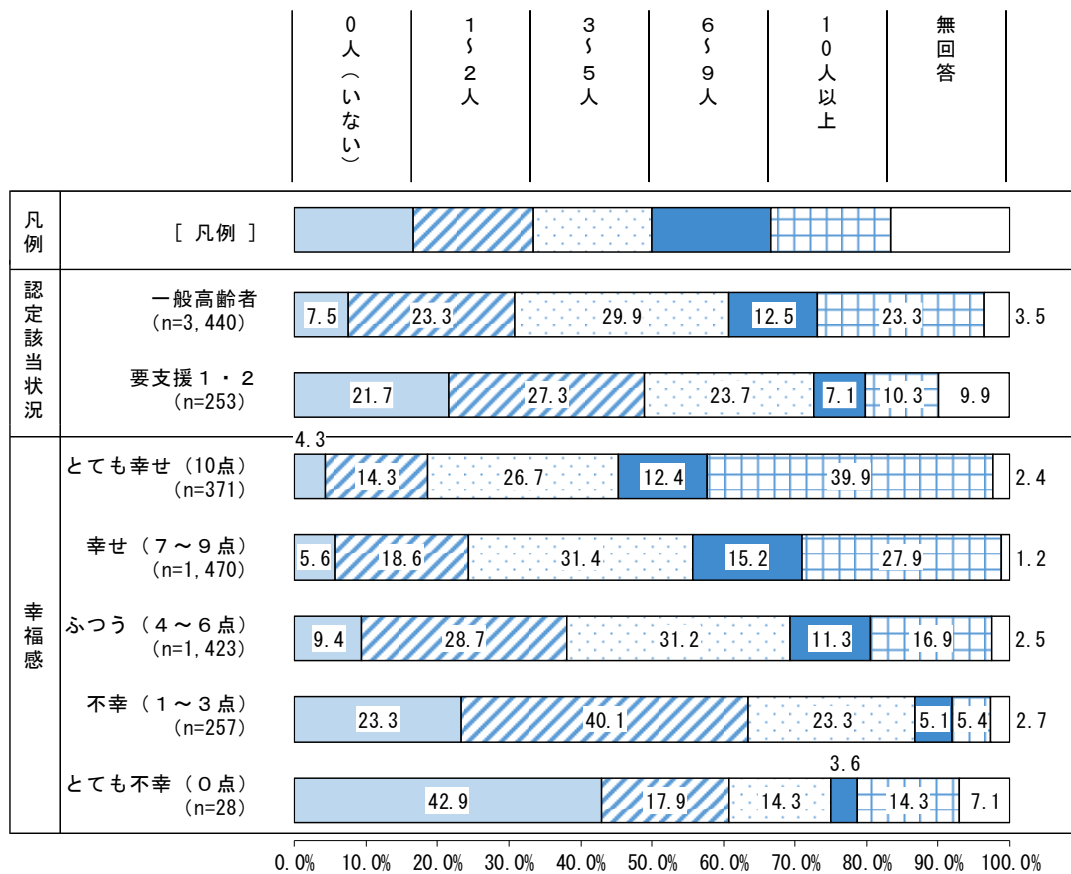
○ 「0人(いない)」は一般高齢者が7.5%、要支援1・2が21.7%となっています。

【幸福感】

○ 幸福感が低いほど「0人(いない)」が多くなる傾向がみられます。

【この1か月間で会った友人・知人の数】

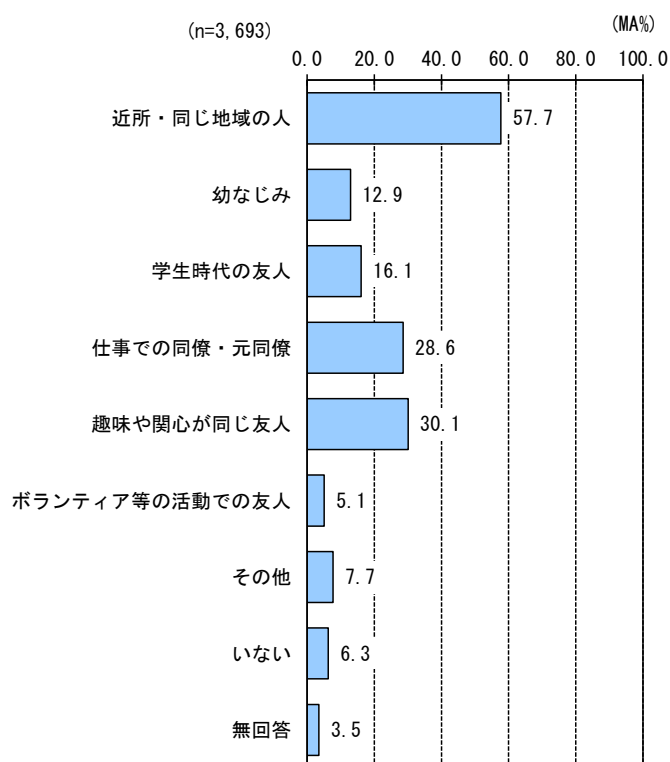




●問6.8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

【全体】
○ よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が 57.7%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 30.1%、「仕事での同僚・元同僚」が 28.6%となっています。
【性・年齢】
○ 「いない」は男性 後期高齢者が 8.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】
○ 「いない」は須崎地区が 7.2%、多ノ郷地区が 7.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「いない」は一般高齢者が 5.4%、要支援1・2が 18.2%となっています。

【よく会う友人・知人との関係(MA)】



単位：%

			母数 (n)	よく会う友人・知人との関係(MA)								
				近 所・ 同じ 地域	幼 な じ み	学 生 時 代 の 友 人	元 仕 事 で の 同 僚	同 趣 味 や 関 心 が	活 動 で の 友 人	ボ ラ ン テ ィ ア 等 の	そ の 他	い な い
全体			3,693	57.7	12.9	16.1	28.6	30.1	5.1	7.7	6.3	3.5
性・年齢	男性	前期高齢者	718	▼ 47.2	16.2	19.9	37.9	36.2	4.0	7.1	6.5	1.7
		後期高齢者	844	56.0	11.3	12.4	24.3	30.5	4.4	6.9	8.2	4.7
	女性	前期高齢者	900	54.2	12.2	21.8	△ 40.3	30.0	6.6	10.4	4.8	2.3
		後期高齢者	1,208	△ 68.0	12.5	11.8	▼ 17.5	26.7	5.3	6.5	5.7	4.7
地区		上分地区	241	△ 68.9	14.9	10.8	32.0	32.8	10.8	7.1	3.7	3.3
		新荘地区	370	63.5	15.7	19.2	26.2	35.1	6.8	7.0	5.1	1.9
		須崎地区	875	50.6	12.5	20.5	27.1	31.5	4.8	8.7	7.2	2.7
		多ノ郷地区	1,164	52.6	10.7	14.6	31.0	30.2	4.0	8.8	7.7	3.9
		吾桑地区	410	57.3	12.7	16.1	30.2	31.2	5.4	7.1	5.1	4.6
		浦ノ内地区	428	66.4	12.1	12.6	24.1	27.1	4.4	4.9	4.7	4.7
		南地区	205	△ 75.6	21.0	14.6	27.8	▼ 15.1	4.4	6.3	4.4	3.4
認定該当 状況	一般高齢者		3,440	58.2	13.2	16.6	30.1	31.6	5.3	7.5	5.4	3.2
	要支援1・2		253	50.6	8.7	9.5	▼ 8.7	▼ 9.9	2.8	10.3	△ 18.2	8.3

9. 健康について

(1) 健康状態

① 主観的な健康感

●問7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

【全体】

- 主観的健康感について、「まあよい」が64.7%で最も多く、次いで「あまりよくない」が21.2%、「とてもよい」が7.0%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は71.7%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は25.3%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“よくない方”が多くなっています。

【地区】

- “よくない方”は浦ノ内地区が28.7%、南地区が28.8%と他の区分に比べて多くなっています。

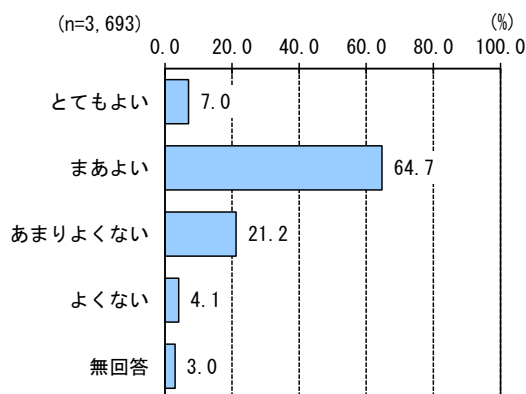
【認定該当状況】

- “よくない方”は一般高齢者が23.2%、要支援1・2が53.3%となっています。

【幸福感】

- “よくない方”は不幸（1～3点）が62.3%、とても不幸（0点）が57.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】



単位：%

		母数 (n)	主観的健康感					“ よい方 ”	“ よくない方 ”
			と ても よ い	ま あ よ い	あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答		
全体		3,693	7.0	64.7	21.2	4.1	3.0	71.7	25.3
性・年齢	男性 前期高齢者	718	8.2	71.6	17.0	1.7	1.5	79.8	18.7
	後期高齢者	844	5.7	57.6	26.3	5.9	4.5	63.3	32.2
	女性 前期高齢者	900	9.8	73.0	13.6	2.1	1.6	△ 82.8	15.7
	後期高齢者	1,208	4.9	59.6	25.9	5.8	3.8	64.5	31.7
地区	上分地区	241	8.3	66.4	19.1	2.5	3.7	74.7	21.6
	新荘地区	370	9.2	66.2	20.3	3.0	1.4	75.4	23.3
	須崎地区	875	5.5	68.7	20.5	3.9	1.5	74.2	24.4
	多ノ郷地区	1,164	7.3	63.9	21.0	4.6	3.3	71.2	25.6
	吾桑地区	410	6.8	64.4	22.0	3.9	2.9	71.2	25.9
	浦ノ内地区	428	6.3	59.6	23.1	5.6	5.4	65.9	28.7
	南地区	205	7.3	59.5	24.4	4.4	4.4	66.8	28.8
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	7.4	66.6	19.9	3.3	2.6	74.0	23.2
	要支援 1・2	253	0.4	▼ 39.1	△ 38.3	△ 15.0	7.1	▼ 39.5	△ 53.3
幸福感	とても幸せ（10点）	371	△ 24.8	65.5	▼ 7.5	1.9	0.3	△ 90.3	▼ 9.4
	幸せ（7～9点）	1,470	7.5	△ 75.6	14.4	1.5	1.0	△ 83.1	15.9
	ふつう（4～6点）	1,423	3.3	63.7	27.5	4.6	0.8	67.0	32.1
	不幸（1～3点）	257	1.2	▼ 35.4	△ 46.7	△ 15.6	1.2	▼ 36.6	△ 62.3
	とても不幸（0点）	28	7.1	▼ 25.0	28.6	△ 28.6	10.7	▼ 32.1	△ 57.2

② こころの健康

●問7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。（１つだけ○）

【全体】

○ 幸福感について、「幸せ（７～９点）」が 39.8%で最も多く、次いで「ふつう（４～６点）」が 38.5%、「とても幸せ（１０点）」が 10.0%となっています。「とても幸せ（１０点）」「幸せ（７～９点）」を合わせた“幸せな方”は 49.8%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“幸せな方”が多くなっています。

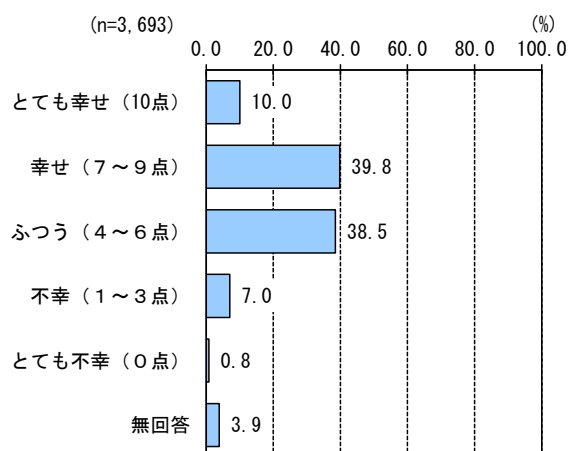
【地区】

○ “幸せな方”は南地区が 41.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ “幸せな方”は一般高齢者が 51.2%、要支援１・２が 30.9%となっています。

【幸福感】

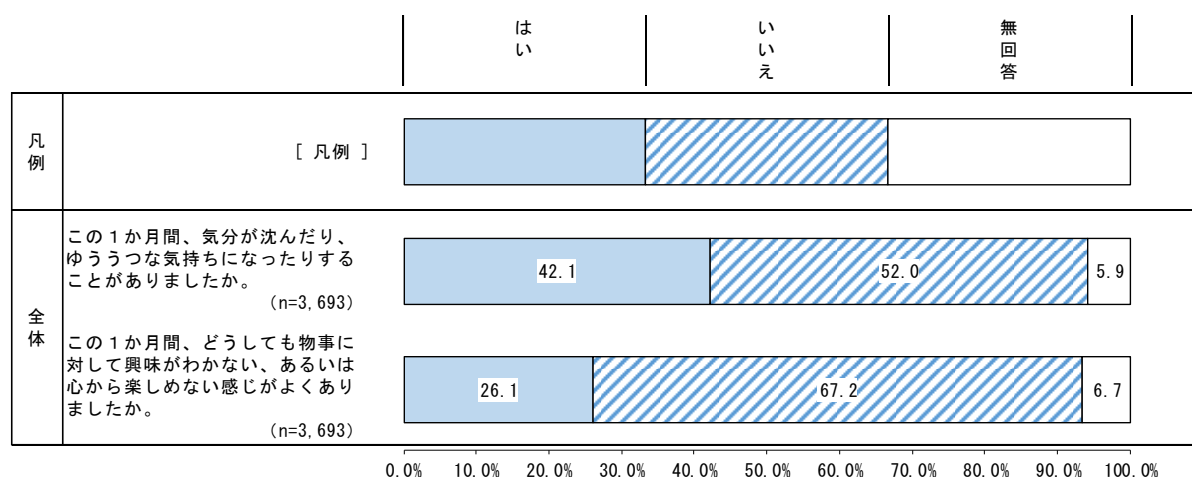


		母数 (n)	幸福感						“ 幸 せ な 方 ”
			(1 0 点) と て も 幸 せ	(7 ～ 9 点) 幸 せ	(4 ～ 6 点) ふ つ う	(1 ～ 3 点) 不 幸	(0 点) と て も 不 幸	無 回 答	
全体		3,693	10.0	39.8	38.5	7.0	0.8	3.9	49.8
性・年齢	男性 前期高齢者	718	7.1	39.4	41.6	8.2	1.1	2.5	46.5
	後期高齢者	844	9.8	33.4	42.5	8.6	0.7	4.9	43.2
	女性 前期高齢者	900	9.9	46.7	35.4	5.2	0.4	2.3	56.6
	後期高齢者	1,208	12.3	39.5	36.1	6.0	0.8	5.3	51.8
地区	上分地区	241	10.4	42.3	37.3	5.4	0.4	4.1	52.7
	新荘地区	370	12.2	42.2	36.2	7.3	0.5	1.6	54.4
	須崎地区	875	9.0	40.3	40.9	6.1	1.1	2.5	49.3
	多ノ郷地区	1,164	10.3	38.4	39.3	7.1	0.8	4.0	48.7
	吾桑地区	410	9.3	45.1	34.4	7.3	0.2	3.7	54.4
	浦ノ内地区	428	11.0	37.1	37.4	6.5	0.7	7.2	48.1
	南地区	205	8.3	33.2	40.0	11.2	1.0	6.3	41.5
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	10.0	41.2	37.9	6.5	0.7	3.6	51.2
	要支援 1・2	253	10.3	▼ 20.6	46.6	13.0	1.2	8.3	▼ 30.9

- 問7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)
- 問7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)

【全体】	
○	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が42.1%、「いいえ」が52.0%となっています。
○	どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が26.1%、「いいえ」が67.2%となっています。

【こころの健康（まとめ）】



◆うつリスクの判定

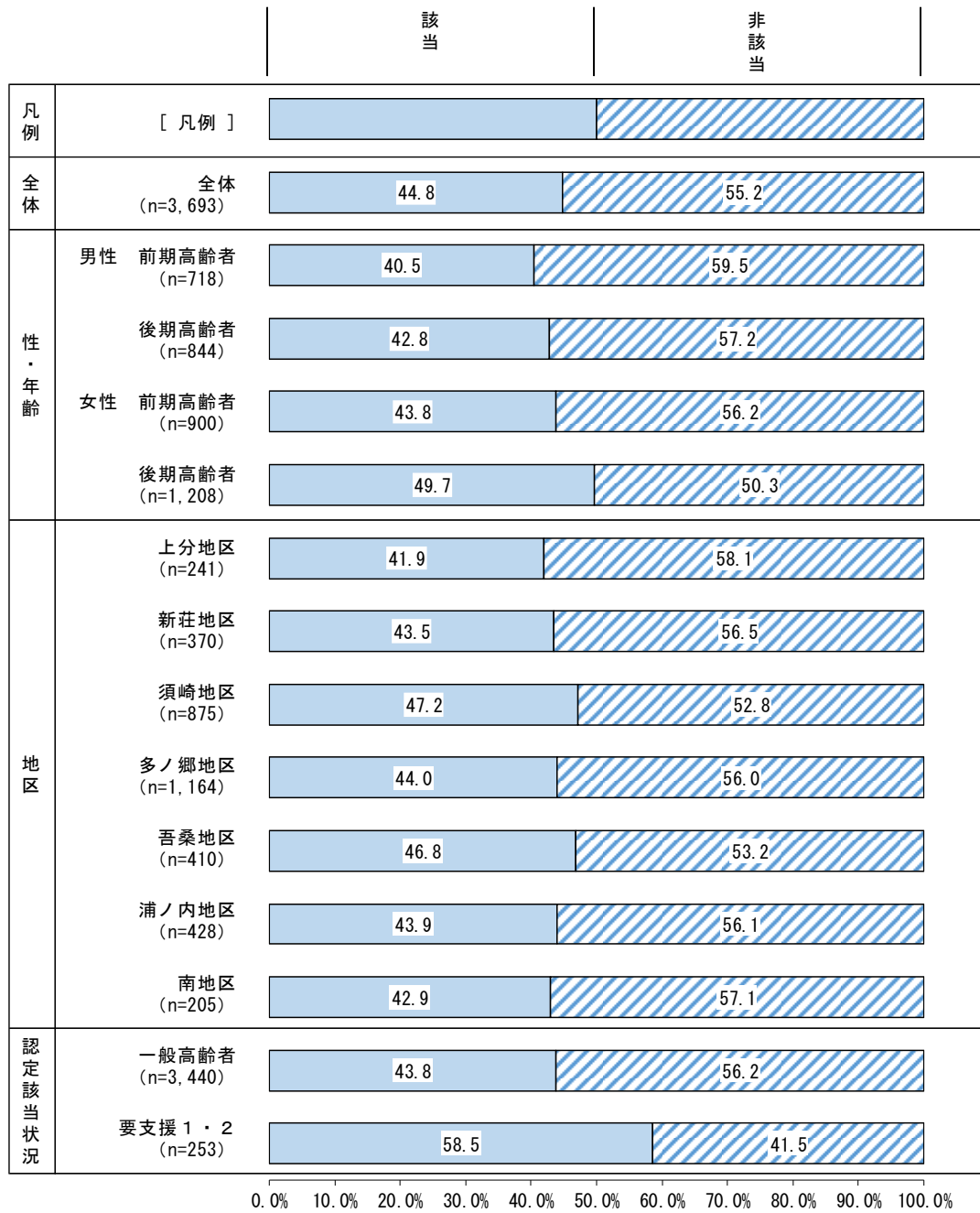
●判定方法

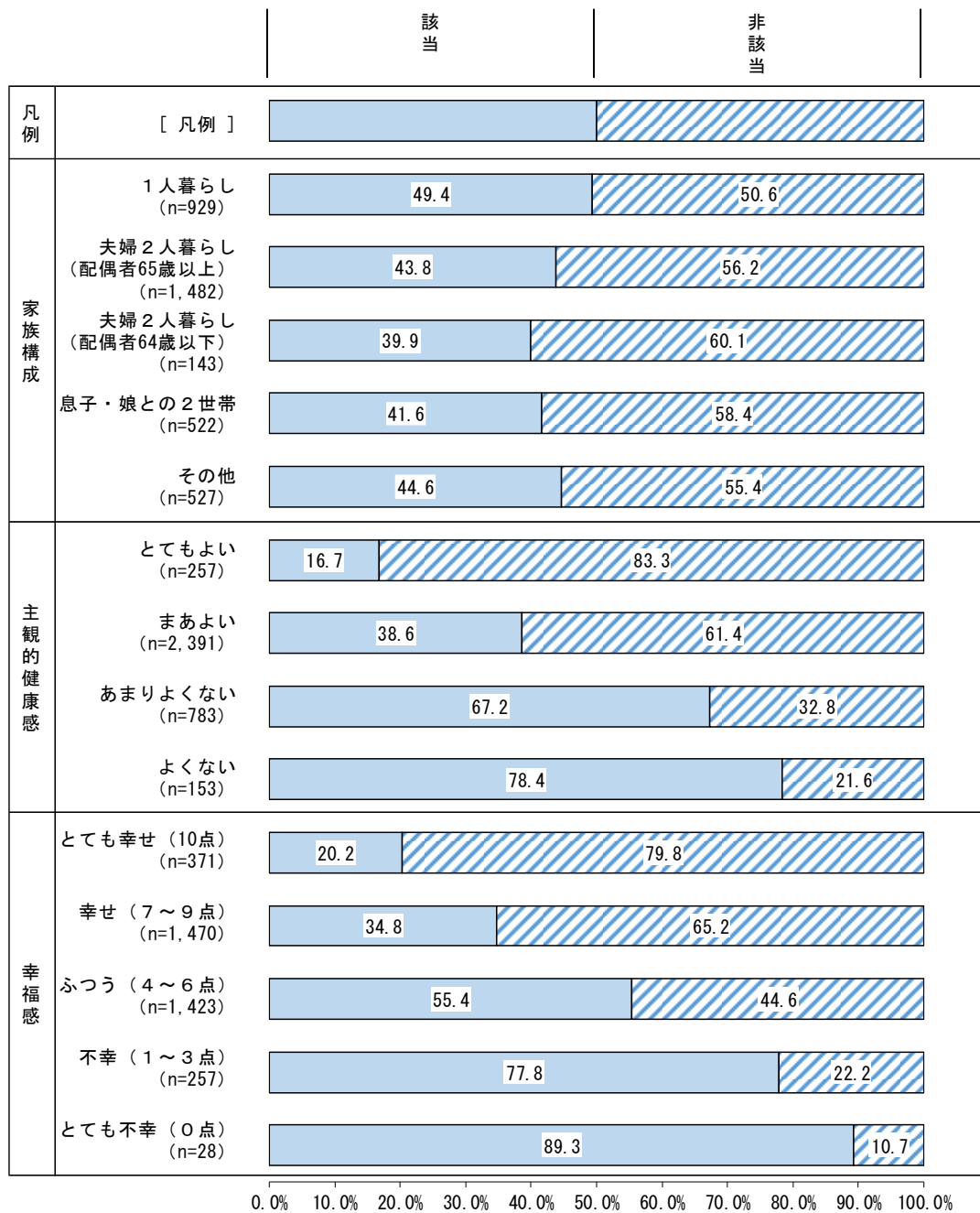
以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

【全体】	
○	うつリスクについて、「該当」が44.8%、「非該当」が55.2%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
【地区】	
○	「該当」は須崎地区が47.2%、吾桑地区が46.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「該当」は一般高齢者が43.8%、要支援1・2が58.5%となっています。
【家族構成】	
○	「該当」は1人暮らしが49.4%と他の区分に比べて多くなっています。
【主観的健康感】	
○	健康観がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。
【幸福感】	
○	幸福感が低いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【うつリスク】





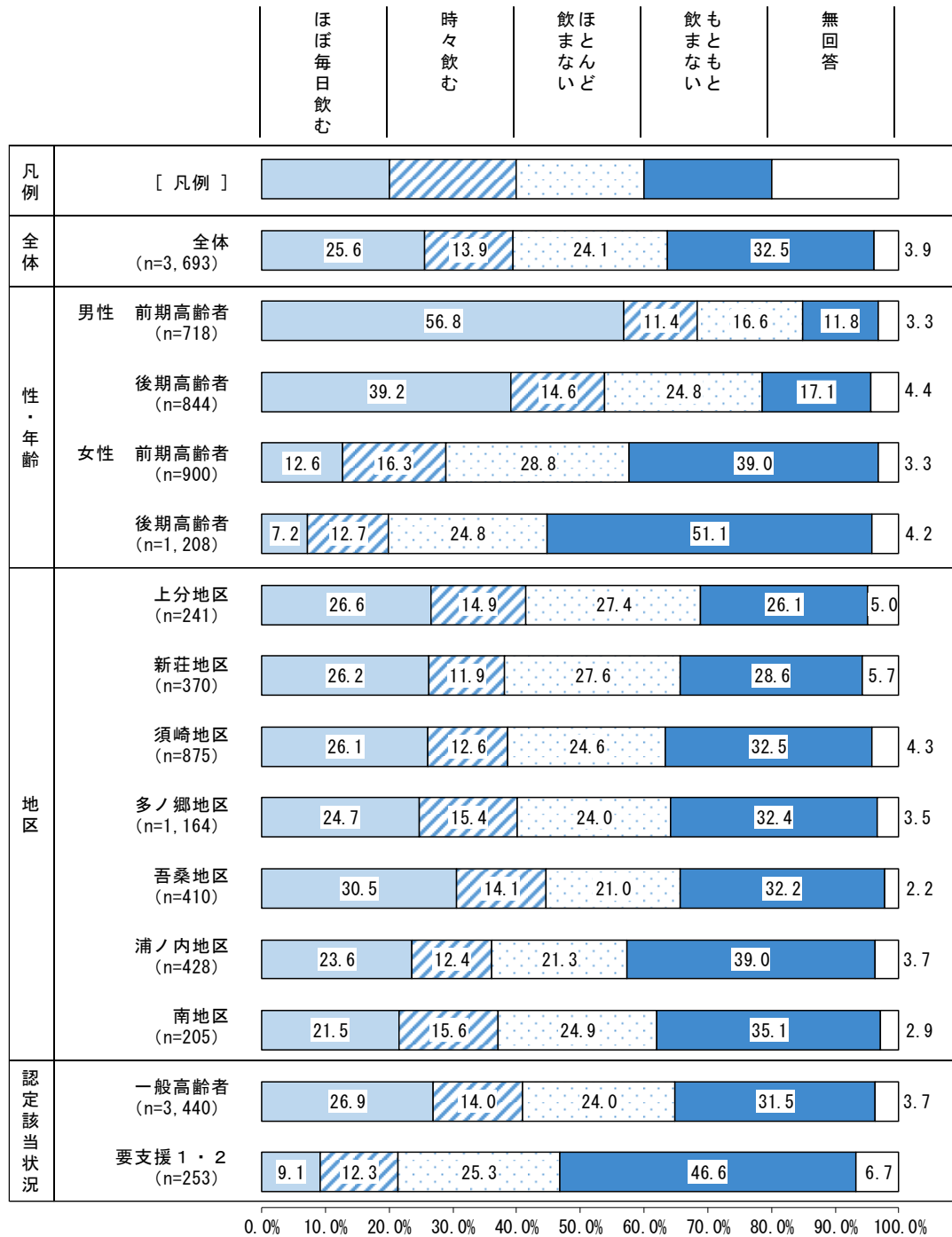
(2) 飲酒・喫煙

●問7.5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が32.5%で最も多く、次いで「ほぼ毎日飲む」が25.6%、「ほとんど飲まない」が24.1%となっています。

【飲酒の状況】

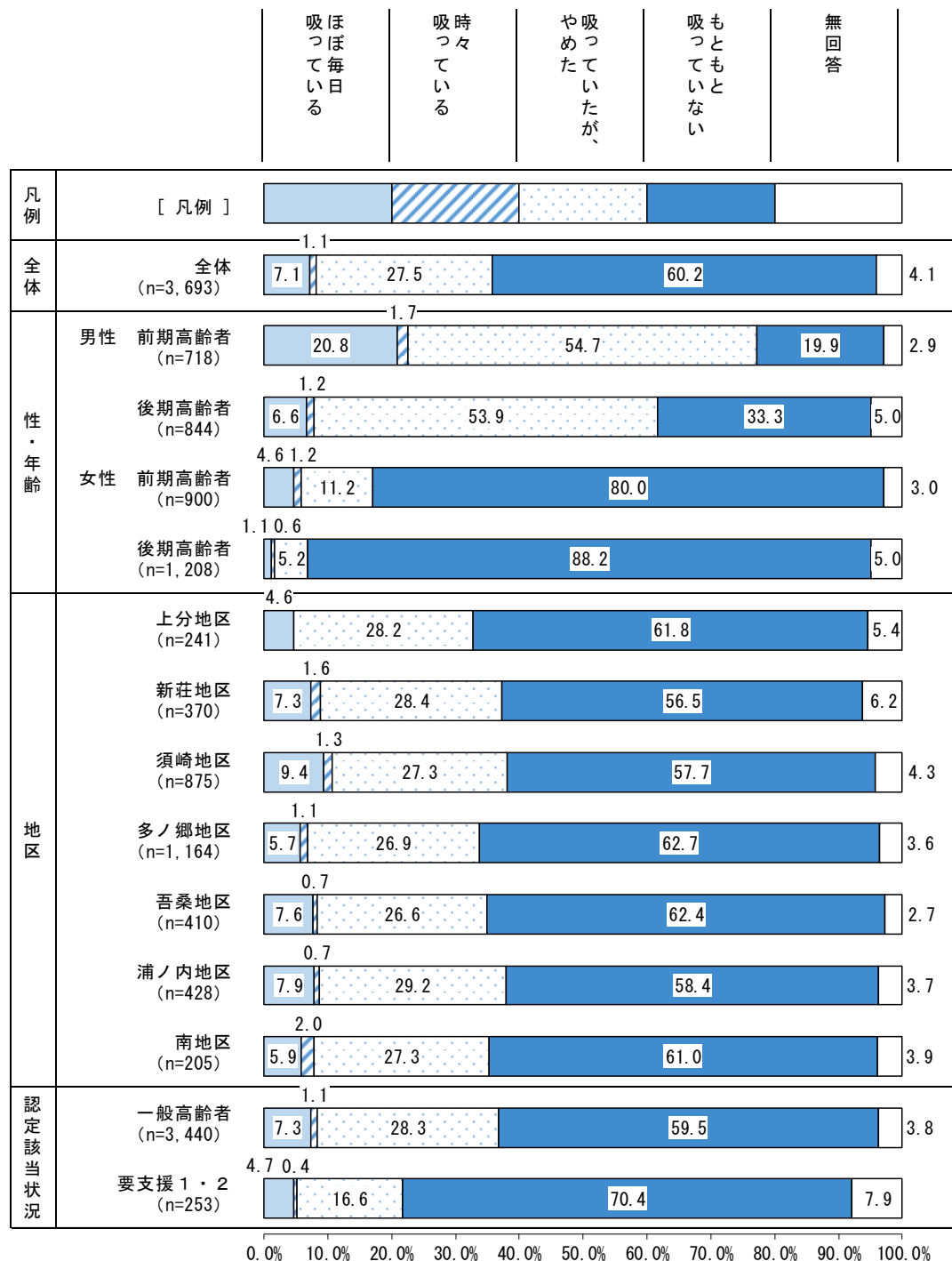


●問7.6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が 60.2%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が 27.5%、「ほぼ毎日吸っている」が 7.1%となっています。

【喫煙の状況】



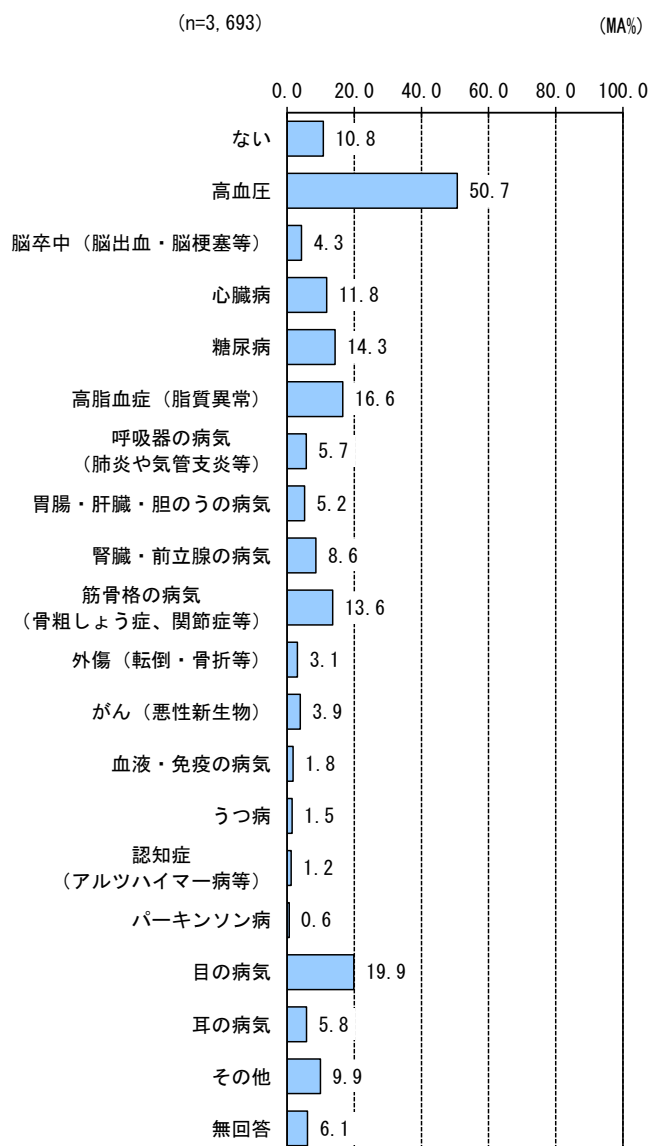
(3) 病気の状況

●問7.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）

【全体】

○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 50.7%で最も多く、次いで「目の病気」が 19.9%、「高脂血症（脂質異常）」が 16.6%となっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			ない	高 血 圧	(脳卒中 ・ 脳梗塞等)	心 臓 病	糖 尿 病	高 脂 血 症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管 支炎等)	胃腸・肝臓・ 胆のうの病気	腎臓・前立腺の 病気	筋骨格の病気、 (関節症等)
全体		3,693	10.8	50.7	4.3	11.8	14.3	16.6	5.7	5.2	8.6	13.6
性・年齢	男性 前期高齢者	718	14.9	52.1	3.2	8.5	16.7	16.2	4.3	5.7	13.2	3.9
	後期高齢者	844	7.5	55.3	7.2	18.0	16.6	10.2	8.4	6.3	△ 21.2	6.6
	女性 前期高齢者	900	16.0	▼ 38.3	2.9	5.2	11.3	25.1	5.1	4.0	1.4	15.3
	後期高齢者	1,208	6.6	56.0	3.6	14.2	13.7	15.1	5.0	5.0	2.3	23.0
地区	上分地区	241	10.8	52.7	3.3	10.0	10.8	16.2	5.8	3.7	6.6	10.4
	新荘地区	370	13.0	47.0	6.5	10.0	13.0	15.4	2.4	4.9	7.8	13.0
	須崎地区	875	11.8	50.4	3.3	13.8	14.5	17.4	7.3	6.6	8.1	14.1
	多ノ郷地区	1,164	11.0	49.3	4.7	10.4	15.4	16.6	5.4	3.8	9.4	12.5
	吾桑地区	410	8.3	54.4	4.9	13.7	16.1	21.0	4.4	5.1	8.0	16.6
	浦ノ内地区	428	10.5	50.7	3.5	12.1	12.4	14.7	7.0	6.5	9.1	15.2
	南地区	205	7.3	56.1	3.9	11.2	14.1	11.2	5.9	6.3	9.3	13.7
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	11.3	50.6	3.4	11.2	14.3	17.2	5.6	5.3	8.7	12.8
	要支援1・2	253	4.0	51.8	△ 16.2	19.8	14.2	9.1	6.7	3.6	6.7	△ 23.7
家族構成	1人暮らし	929	10.1	51.3	5.6	13.0	14.1	13.7	4.4	5.9	5.5	17.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	1,482	11.0	48.6	4.3	11.4	14.2	19.0	6.4	5.3	11.5	11.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	143	11.9	51.7	3.5	15.4	16.1	18.2	4.9	4.2	12.6	6.3
	息子・娘との2世帯	522	9.8	54.6	4.6	11.5	17.0	15.7	6.7	4.0	7.7	15.3
	その他	527	12.1	52.4	2.7	10.1	12.3	17.1	5.1	4.9	6.3	13.1

単位：％

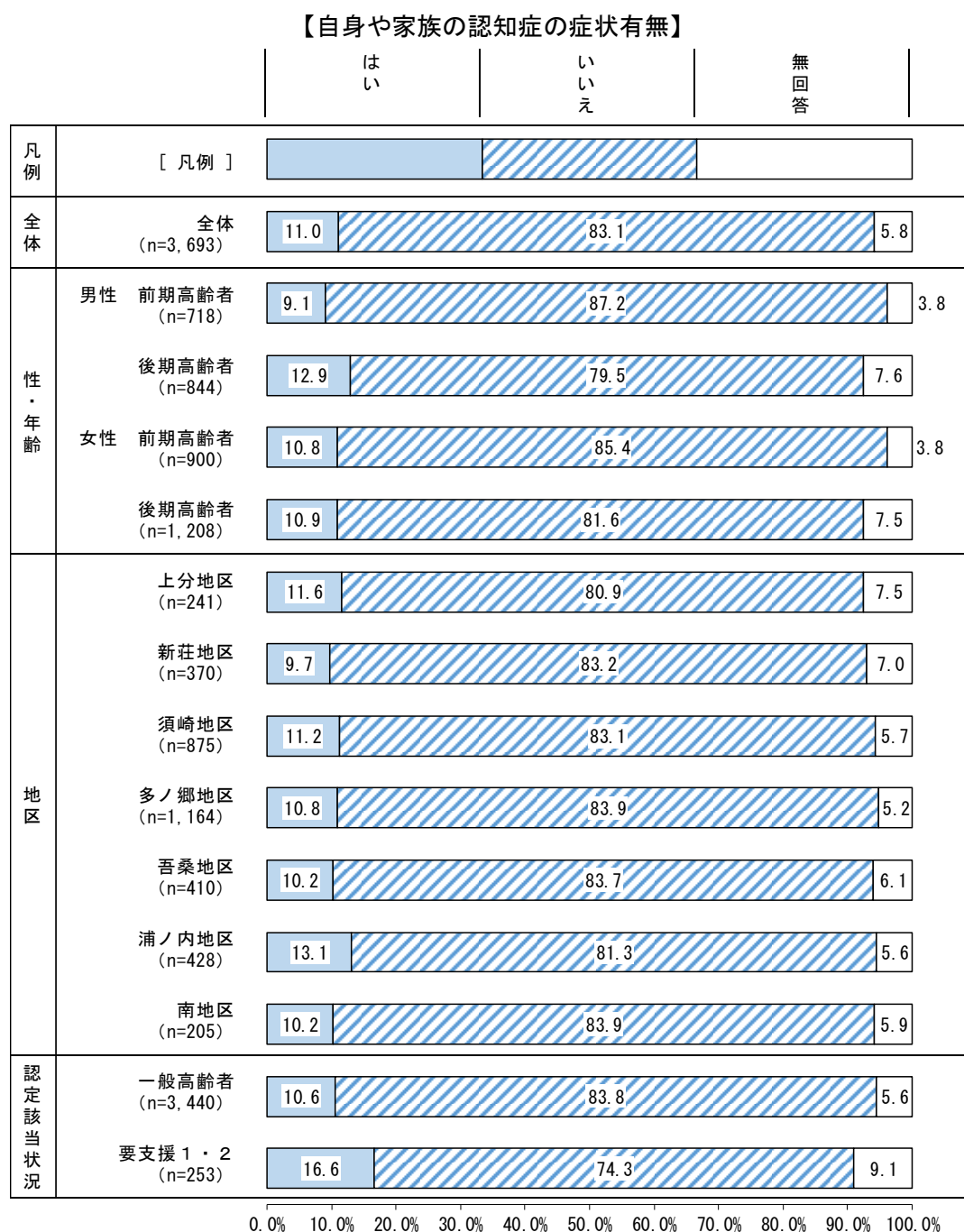
		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		3,693	3.1	3.9	1.8	1.5	1.2	0.6	19.9	5.8	9.9	6.1
性・年齢	男性 前期高齢者	718	1.3	4.6	0.7	1.1	0.3	0.4	11.0	4.0	9.7	5.4
	後期高齢者	844	2.7	5.6	2.0	0.9	2.4	0.7	21.9	7.5	8.2	5.8
	女性 前期高齢者	900	2.3	3.0	1.6	2.1	0.2	0.7	15.7	4.1	12.8	6.1
	後期高齢者	1,208	4.9	3.1	2.6	1.6	1.6	0.6	26.9	7.0	9.1	6.6
地区	上分地区	241	2.1	4.1	1.7	0.8	2.1	-	17.4	6.6	10.4	6.6
	新荘地区	370	2.4	4.1	1.9	1.9	0.5	1.4	19.2	5.7	10.8	8.9
	須崎地区	875	3.8	4.0	1.5	1.3	1.1	0.3	19.5	5.4	10.2	6.6
	多ノ郷地区	1,164	2.8	4.0	2.1	1.9	0.9	0.7	20.5	5.4	9.5	5.5
	吾桑地区	410	2.9	4.6	1.7	1.0	1.0	1.0	23.2	8.0	10.0	5.1
	浦ノ内地区	428	3.5	2.8	1.6	1.4	1.6	-	18.0	6.5	10.0	4.9
	南地区	205	2.9	3.4	2.9	1.5	2.4	1.0	20.0	3.4	8.8	5.9
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	2.6	3.8	1.7	1.3	1.0	0.4	19.4	5.5	9.8	5.9
	要支援1・2	253	9.1	5.1	3.2	4.0	3.6	3.6	26.5	9.9	11.1	9.1
家族構成	1人暮らし	929	4.1	3.1	2.4	1.7	0.9	0.4	24.5	6.2	10.0	6.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	1,482	2.8	4.2	1.0	1.3	1.1	0.7	19.5	5.5	9.8	5.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	143	2.1	4.9	0.7	1.4	0.7	-	▼ 9.8	4.2	9.1	6.3
	息子・娘との2世帯	522	2.3	4.6	2.5	1.3	1.1	0.6	19.7	6.1	8.8	6.5
	その他	527	2.7	3.8	2.8	1.3	1.7	0.6	16.3	5.9	12.3	6.1

10. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状の有無

●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が11.0%、「いいえ」が83.1%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は男性 後期高齢者が12.9%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】
○ 「はい」は浦ノ内地区が13.1%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は一般高齢者が10.6%、要支援1・2が16.6%となっています。

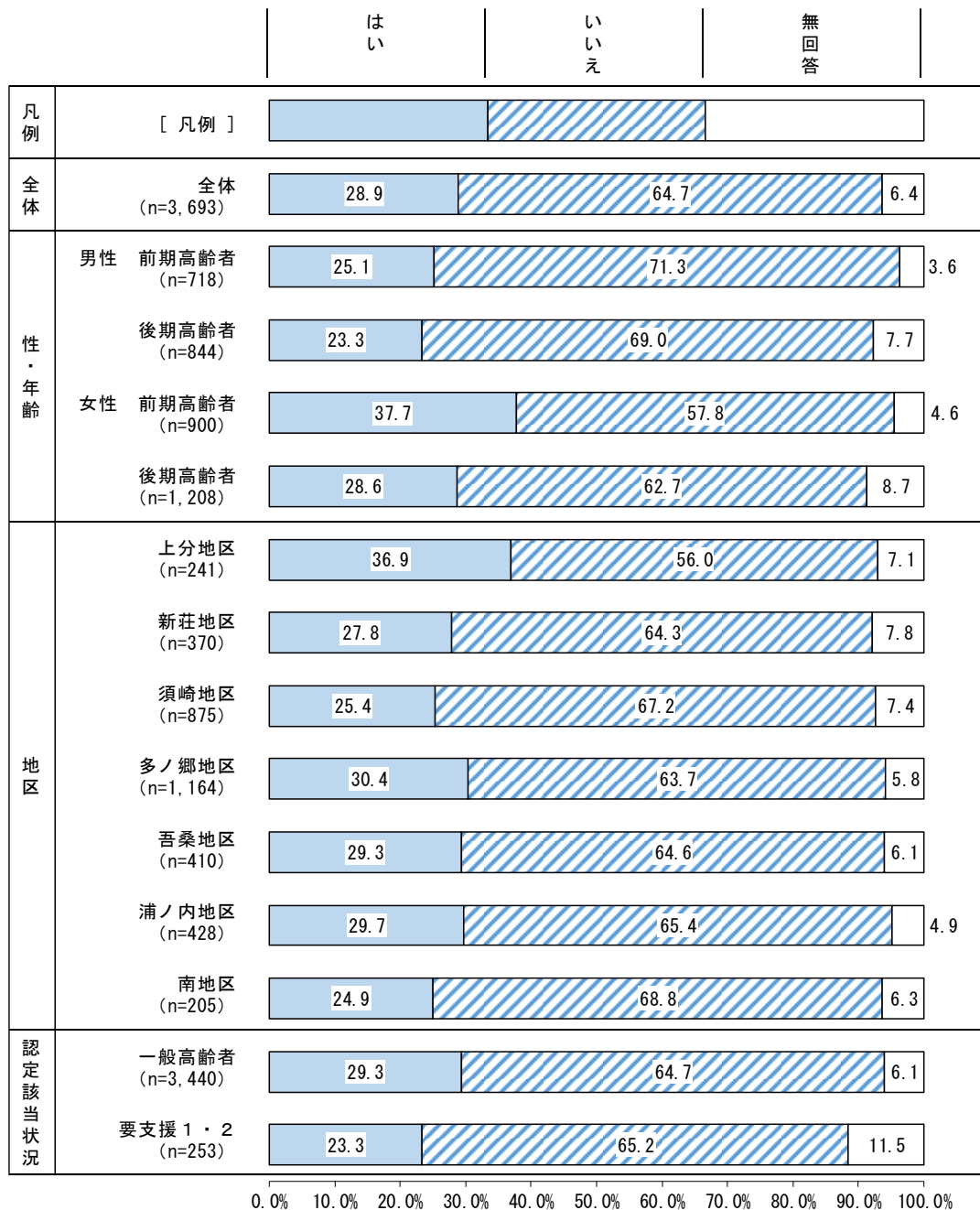


(2) 認知症の相談窓口の周知状況

●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】	
○	認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が28.9%、「いいえ」が64.7%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。
【地区】	
○	「いいえ」は南地区が68.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「いいえ」は一般高齢者が64.7%、要支援1・2が65.2%となっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】

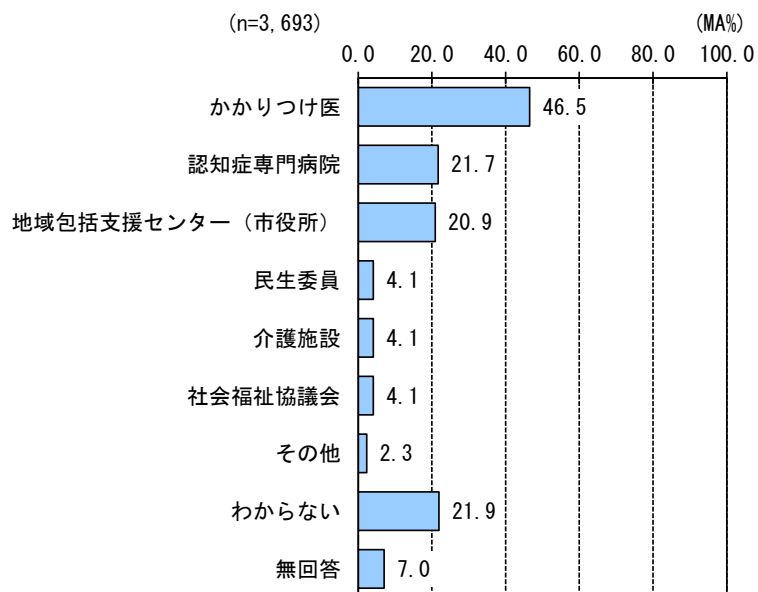


●問8.3 認知症に関する相談をどこでしますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 認知症に関する相談先について、「かかりつけ医」が 46.5%で最も多く、次いで「わからない」が 21.9%、「認知症専門病院」が 21.7%となっています。

【認知症に関する相談先(MA)】



単位：％

			単位：%									
			認知症に関する相談先(MA)									
母数 (n)			かかりつけ 医	認知 症専 門病 院	地域 包括 支援 セン ター (市役 所)	民 生 委 員	介 護 施 設	社 会 福 祉 協 議 会	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全体			3,693	46.5	21.7	20.9	4.1	4.1	4.1	2.3	21.9	7.0
性・年齢	男性	前期高齢者	718	40.9	14.6	17.8	2.8	5.3	3.6	1.9	30.4	4.2
		後期高齢者	844	49.3	16.5	13.0	3.9	3.1	3.2	2.1	24.4	9.1
	女性	前期高齢者	900	42.6	29.4	△ 31.3	3.3	4.6	6.8	2.9	17.9	5.6
		後期高齢者	1,208	51.1	23.8	20.4	5.8	3.8	2.9	2.3	17.7	8.4
地区	上分地区	241	44.8	30.7	22.8	5.8	5.8	2.5	1.2	19.9	8.3	
	新荘地区	370	44.6	22.2	24.9	5.9	5.7	5.7	3.2	21.4	8.4	
	須崎地区	875	46.5	20.2	19.1	3.2	3.8	4.0	2.3	21.8	7.7	
	多ノ郷地区	1,164	47.6	20.9	20.6	2.2	4.2	4.2	3.0	22.3	6.1	
	吾桑地区	410	42.9	20.2	21.7	4.9	3.2	3.4	2.0	22.7	8.3	
	浦ノ内地区	428	47.4	24.8	19.6	8.2	3.5	3.5	1.9	20.8	4.9	
	南地区	205	50.7	17.1	21.5	3.9	3.9	4.9	-	23.4	7.3	
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	46.7	22.1	20.5	4.1	3.6	4.1	2.2	21.8	6.7	
	要支援 1・2	253	43.9	16.2	26.1	4.3	11.1	3.2	3.6	22.1	10.7	

11. 健康づくりや生活支援体制について

(1) 健康づくりや介護予防への関心

●問9.1 健康づくりや介護予防に関心があるものは何ですか。(1つだけ○)

【全体】

- 健康づくりや介護予防に関心があるものについて、「体を動かす場や運動方法」が 34.2%で最も多く、次いで「もの忘れや認知症予防」が 14.9%、「転倒予防」が 13.7%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「体を動かす場や運動方法」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「転倒予防」が多くなっています。

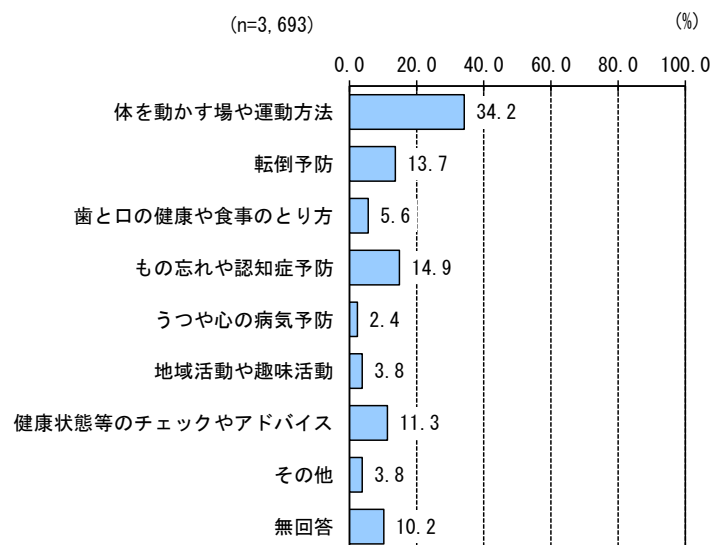
【地区】

- 「体を動かす場や運動方法」は南地区が 39.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「もの忘れや認知症予防」は上分地区が 18.3%、吾桑地区が 18.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「体を動かす場や運動方法」は一般高齢者が 35.1%と要支援1・2の 21.7%に比べて多くなっています。
- 「転倒予防」は要支援1・2が 31.2%と一般高齢者の 12.4%に比べて多くなっています。

【健康づくりや介護予防に関心があるもの】



単位：%

単位：％

		母数 (n)	健康づくりや介護予防に関心があるもの								
			運動を動かす場や方法	転倒予防	食事のとり方や健康	もの忘れや認知症予防	うつや心の病気の予防	地域活動や趣味活動	アチ健康ドエバツイクスや等の	その他	無回答
全体		3,693	34.2	13.7	5.6	14.9	2.4	3.8	11.3	3.8	10.2
性・年齢	男性 前期高齢者	718	42.2	6.0	6.7	10.4	2.5	6.0	13.5	4.6	8.1
	後期高齢者	844	32.3	15.9	6.4	13.3	2.3	3.2	10.8	4.7	11.1
	女性 前期高齢者	900	37.6	10.6	5.3	16.1	3.1	5.0	11.1	3.9	7.3
	後期高齢者	1,208	28.4	19.2	4.5	18.0	1.7	2.2	10.5	2.7	12.7
地区	上分地区	241	34.4	9.1	5.0	18.3	1.7	6.2	9.5	3.7	12.0
	新莊地区	370	32.7	12.7	6.2	15.4	3.8	4.1	11.1	3.5	10.5
	須崎地区	875	34.4	14.9	5.0	13.4	2.3	2.1	13.5	4.2	10.3
	多ノ郷地区	1,164	35.7	13.7	5.4	13.9	2.7	4.6	10.9	4.2	8.8
	吾桑地区	410	31.5	11.7	6.8	18.0	1.5	6.1	11.0	2.9	10.5
	浦ノ内地区	428	31.1	16.6	6.1	16.4	2.1	2.6	11.0	2.6	11.7
	南地区	205	39.5	14.1	4.9	13.7	1.5	2.4	7.3	5.4	11.2
認定該当状況	一般高齢者	3,440	35.1	12.4	5.7	15.1	2.3	4.1	11.5	3.9	9.9
	要支援1・2	253	▼ 21.7	△ 31.2	4.0	13.0	3.6	0.8	7.5	3.2	15.0

(2) 在宅生活を続けるために必要なこと

●問9.2 何があれば、在宅生活を長く続けられると思いますか。(いくつでも○)

【全体】

- 在宅生活を長く続けるために必要なものについて、「買い物や通院時などの介助や送迎」が 56.7%で最も多く、次いで「緊急時に通報できる手段や連絡体制」が 44.2%、「配食サービスなど食事の提供」が 37.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「買い物や通院時などの介助や送迎」「配食サービスなど食事の提供」「認知症の方などが困っているときに対応できるサポーター（援助者）」「緊急時に通報できる手段や連絡体制」が多くなっています。
- 「話し相手や相談相手」は女性 前期高齢者が 33.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「簡単な日常生活の支援（窓ふき、ゴミ出し、電球の取替など）」が多くなっています。

【地区】

- 「買い物や通院時などの介助や送迎」は上分地区が 66.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「定期的な安否の確認」は須崎地区が 31.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「話し相手や相談相手」「簡単な日常生活の支援（窓ふき、ゴミ出し、電球の取替など）」は吾桑地区が他の区分に比べて多くなっています。
- 「緊急時に通報できる手段や連絡体制」は上分地区が 47.3%、須崎地区が 49.1%と他の区分に比べて多くなっています。

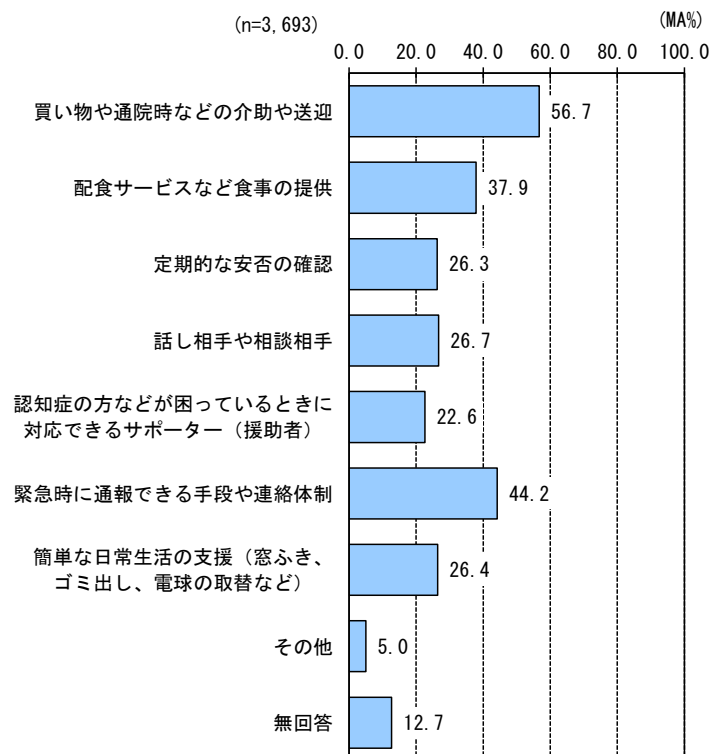
【認定該当状況】

- 「認知症の方などが困っているときに対応できるサポーター（援助者）」は一般高齢者が 23.3%と要支援1・2の 12.6%に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「定期的な安否の確認」は1人暮らしが 29.8%、夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）が 28.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【在宅生活を長く続けられるために必要なもの(MA)】



単位：％

		母数 (n)	在宅生活を長く続けるために必要なもの(MA)									単位：%
			買い物や通院などの 介助や送迎	配食サービスなどの 食事の提供	定期的な安否の確認	話し相手や相談相手	認知症の方などが困っているときに 対応できるサポーター（援助者）	緊急時に通報できる 手段や連絡体制	簡単な日常生活の支援 （窓ふき、ゴミ出し、 電球の取替など）	その他	無回答	
全体		3,693	56.7	37.9	26.3	26.7	22.6	44.2	26.4	5.0	12.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	718	56.7	42.8	26.0	23.8	21.9	46.4	23.4	6.3	7.8	
	後期高齢者	844	52.1	34.8	25.6	23.5	18.7	38.6	21.3	4.9	15.8	
	女性 前期高齢者	900	63.6	44.4	28.0	33.3	29.3	51.4	30.8	4.3	9.6	
	後期高齢者	1,208	54.7	32.0	25.9	25.5	20.6	41.4	28.3	4.9	15.9	
地区	上分地区	241	66.4	42.7	27.0	19.9	26.1	47.3	25.3	3.3	10.4	
	新荘地区	370	58.9	37.6	27.0	30.3	18.9	40.8	25.9	6.5	10.8	
	須崎地区	875	54.6	38.9	31.0	24.0	22.5	49.1	28.1	4.5	11.3	
	多ノ郷地区	1,164	52.1	35.5	22.9	27.5	21.6	42.4	25.6	6.4	14.8	
	吾桑地区	410	62.7	43.2	29.8	31.2	27.8	43.7	31.2	4.1	10.7	
	浦ノ内地区	428	63.3	40.2	22.2	27.3	23.6	40.2	22.2	4.2	13.1	
	南地区	205	49.8	▼ 26.3	25.9	24.4	18.0	44.4	25.4	2.9	16.6	
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	56.8	38.3	26.7	26.9	23.3	44.5	26.2	4.9	12.5	
	要支援１・２	253	54.5	31.2	21.7	22.9	▼ 12.6	39.1	30.0	7.5	16.2	
家族構成	１人暮らし	929	48.9	34.1	29.8	25.1	15.7	42.8	27.2	6.6	12.7	
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,482	61.7	43.3	28.7	28.7	26.6	47.0	29.3	4.3	10.7	
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	143	57.3	41.3	18.2	25.2	16.1	41.3	23.8	2.8	15.4	
	息子・娘との２世帯	522	57.3	30.7	19.7	25.1	22.2	42.1	20.9	3.4	15.3	
	その他	527	58.8	38.3	24.3	26.2	26.6	45.2	25.6	6.3	11.8	

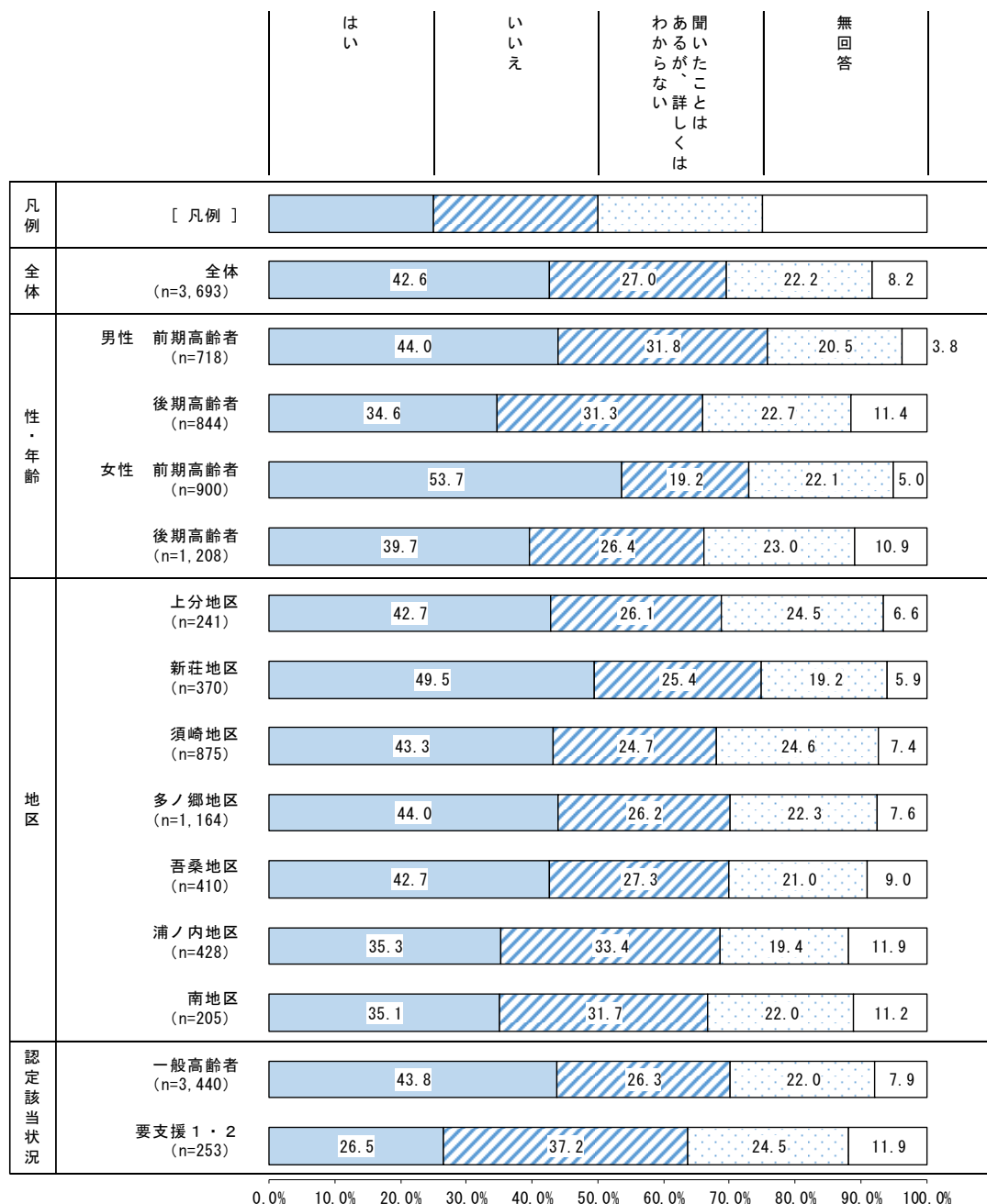
12. その他

(1) 成年後見制度の認知状況

- 問10.1 認知症などで判断力がなくなった場合、あなたの権利を守る制度として、成年後見制度（※）があることを知っていますか。（1つだけ○）

【全体】	
○	成年後見制度の周知状況について、「はい」が 42.6%で最も多く、次いで「いいえ」が 27.0%、「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」が 22.2%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
【地区】	
○	「はい」は浦ノ内地区が 35.3%、南地区が 35.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】	
○	「はい」は一般高齢者が 43.8%、要支援 1・2 が 26.5%となっています。

【成年後見制度の周知状況】

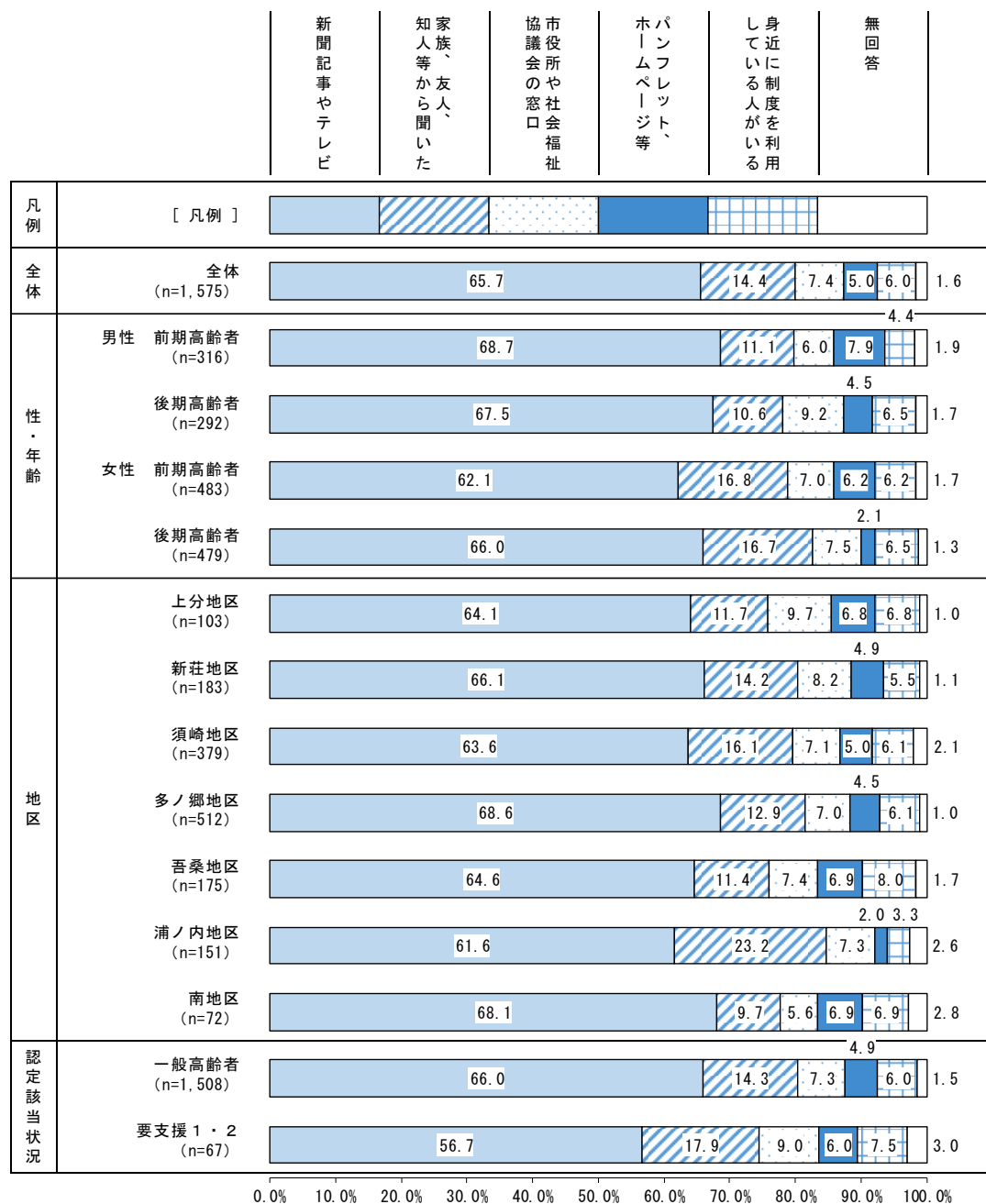


●問10.1-1 どこで成年後見制度を知りましたか。(1つだけ○)

【全体】

○ 成年後見制度を何で知ったかについて、「新聞記事やテレビ」が 65.7%で最も多く、次いで「家族、友人、知人等から聞いた」が 14.4%、「市役所や社会福祉協議会の窓口」が 7.4%となっています。

【成年後見制度を知ったきっかけ】

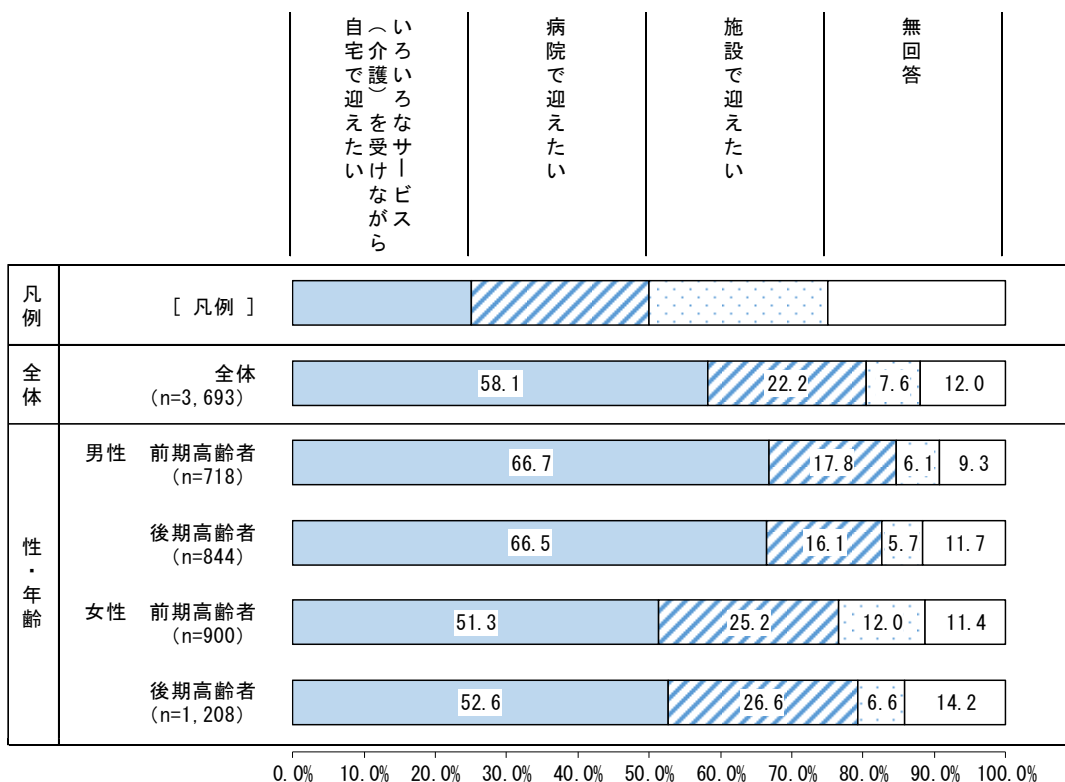


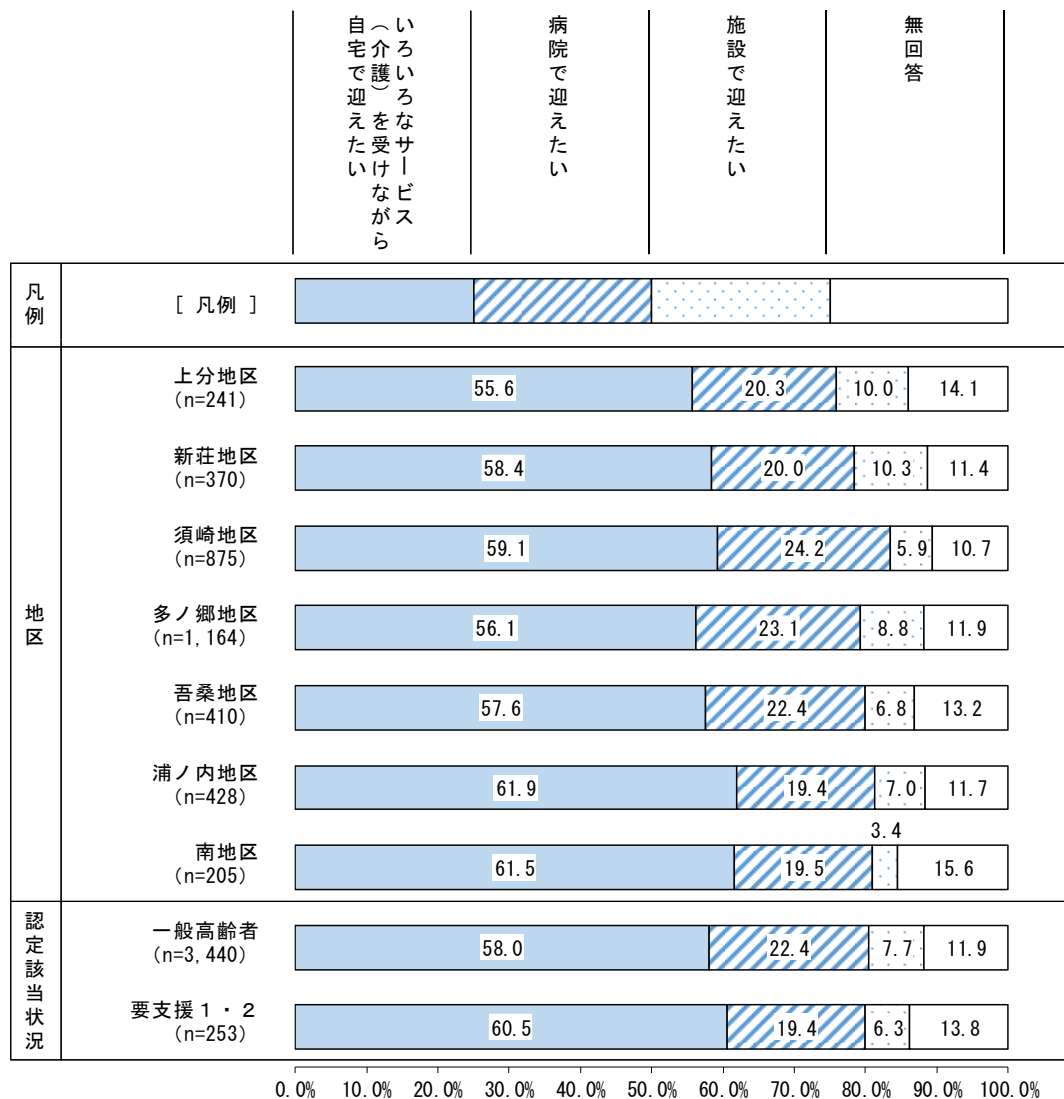
(2) 人生の最期への備え

- 問10.2 人生の最期（看取り）を迎えるにあたって、どこで迎えたいですか。（1つだけ○）

【全体】	
○	人生の最期をどこで迎えたいかについて、「いろいろなサービス（介護）を受けながら自宅で迎えたい」が 58.1%で最も多く、次いで「病院で迎えたい」が 22.2%、「施設で迎えたい」が 7.6%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いろいろなサービス（介護）を受けながら自宅で迎えたい」が多くなっています。
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「病院で迎えたい」が多くなっています。
○	「施設で迎えたい」は女性 前期高齢者が 12.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】	
○	「いろいろなサービス（介護）を受けながら自宅で迎えたい」は浦ノ内地区が 61.9%、南地区が 61.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「いろいろなサービス（介護）を受けながら自宅で迎えたい」は一般高齢者が 58.0%、要支援１・２が 60.5%となっています。

【人生の最期（看取り）を迎える場所】





- 問10.3 あなたは自身の判断力がなくなったり、人生で最期を迎えるときのことについて、家族と話し合ったり、伝えたりしていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 人生で最期を迎えるときのことについて、家族と話し合ったり、伝えたりしているかについて、「はい」が32.7%、「いいえ」が59.5%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

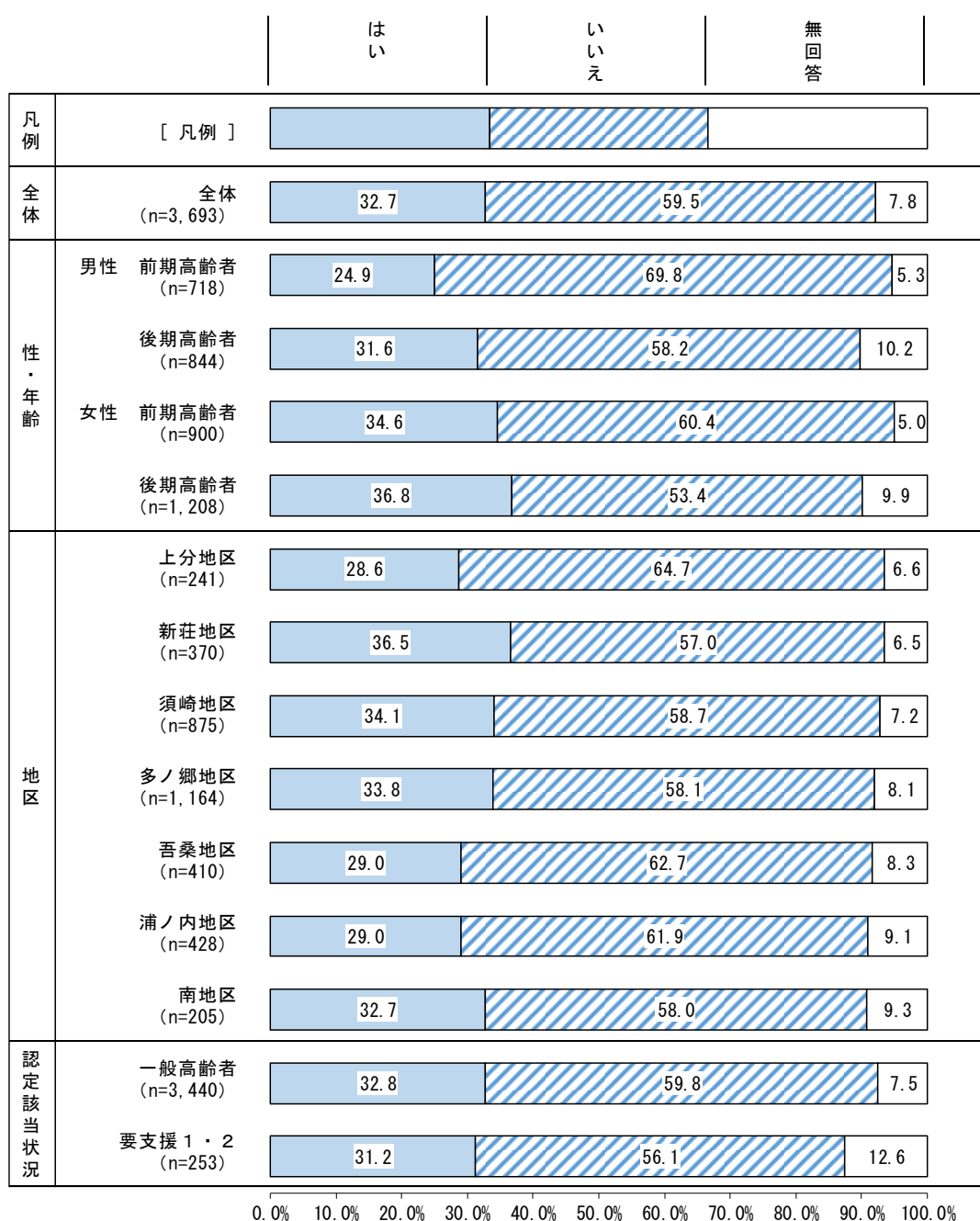
【地区】

○ 「はい」は新荘地区が36.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「はい」は一般高齢者が32.8%、要支援1・2が31.2%となっています。

【人生の最期について家族と話し合っているか】



- 問10.4 あなたは将来に備えて知りたい（学びたい）と思うものがありますか。（いくつでも○）

【全体】

- 将来に備えて知りたい（学びたい）と思うものについて、「相続について」が 21.8%で最も多く、次いで「葬儀について」が 20.1%、「遺言について」が 13.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「エンディングノートについて」「後見制度について」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「相続について」が多くなっています。

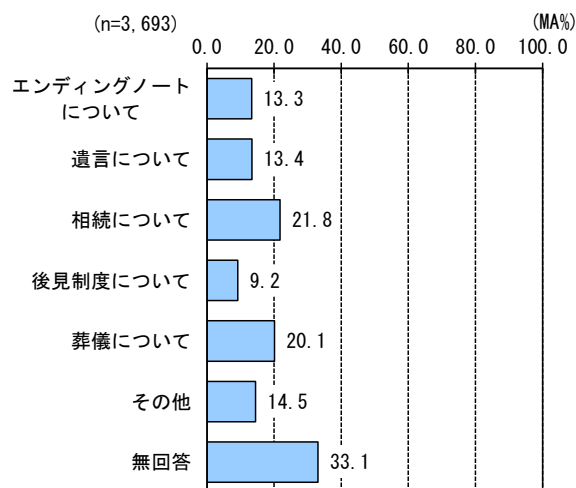
【地区】

- 「エンディングノートについて」は吾桑地区が 17.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「遺言について」は新荘地区が 17.3%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「葬儀について」は須崎地区が 24.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「相続について」が 22.4%で最も多く、要支援1・2では、「葬儀について」が 25.3%で最も多くなっています。

【将来に備えて知りたい（学びたい）と思うもの(MA)】



		母数 (n)	将来に備えて知りたい（学びたい）と思うもの（MA）						
			ノ ー ト に 関 心 有 り	遺 言 に 関 心 有 り	相 続 に 関 心 有 り	後 見 制 度 に 関 心 有 り	葬 儀 に 関 心 有 り	そ の 他	無 回 答
全体		3,693	13.3	13.4	21.8	9.2	20.1	14.5	33.1
性・年齢	男性 前期高齢者	718	15.7	16.9	28.6	11.6	19.2	14.1	25.3
	後期高齢者	844	7.8	14.9	25.5	8.3	21.3	14.9	33.4
	女性 前期高齢者	900	19.6	12.7	19.3	11.2	20.1	16.7	26.2
	後期高齢者	1,208	10.9	10.8	17.1	7.1	19.9	12.4	42.7
地区	上分地区	241	12.0	11.2	25.3	11.2	17.8	12.9	37.3
	新荘地区	370	12.7	17.3	29.7	9.2	21.1	9.5	30.0
	須崎地区	875	14.2	13.6	21.9	9.6	24.7	16.6	28.0
	多ノ郷地区	1,164	13.1	12.5	19.0	8.8	19.7	14.8	34.7
	吾桑地区	410	17.1	15.1	22.9	10.2	16.6	12.4	34.6
	浦ノ内地区	428	10.7	13.8	24.8	8.2	15.0	16.6	35.3
	南地区	205	10.2	9.8	▼ 9.8	7.8	22.4	14.1	38.5
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	13.8	13.8	22.4	9.4	19.8	14.3	32.6
	要支援 1・2	253	6.7	9.1	12.6	6.7	25.3	17.0	40.3

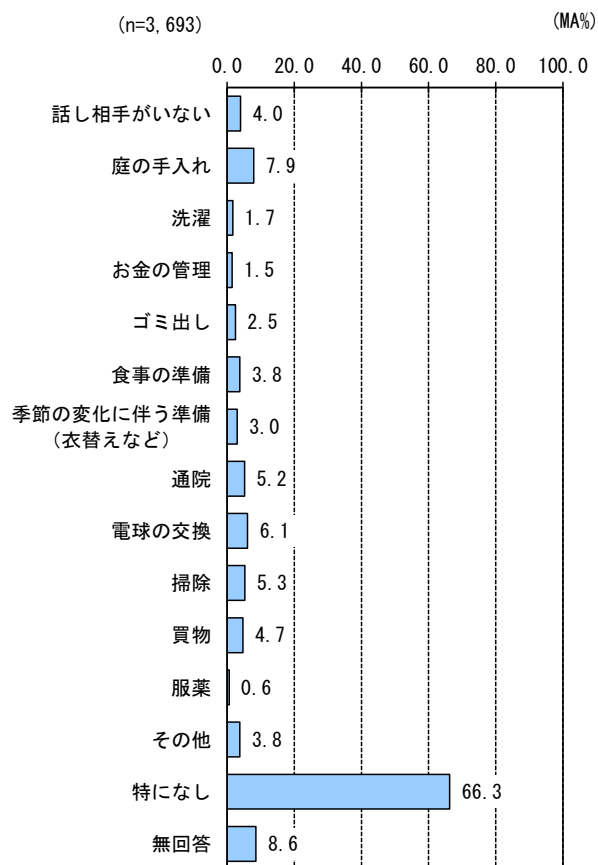
(3) 生活での困りごと

●問10.5 現在の生活で困っていることは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 現在の生活で困っていることについて、「特になし」が 66.3%で最も多く、次いで「庭の手入れ」が 7.9%、「電球の交換」が 6.1%となっています。

【現在の生活で困っていること (MA)】



単位：％

		母数 (n)	現在の生活で困っていること(MA)							
			話し 相手が いない	庭の 手入れ	洗濯	お金の 管理	ゴミ出し	食事の 準備	季節の 変化に伴う 準備 (衣替えなど)	通院
全体		3,693	4.0	7.9	1.7	1.5	2.5	3.8	3.0	5.2
性・年齢	男性 前期高齢者	718	3.8	3.9	1.0	1.1	0.6	3.9	0.8	1.4
	後期高齢者	844	6.0	8.3	3.2	2.5	2.1	6.5	4.1	5.8
	女性 前期高齢者	900	1.9	5.9	0.6	0.8	1.2	1.2	1.6	2.1
	後期高齢者	1,208	4.3	11.4	1.7	1.6	4.8	3.9	4.4	9.2
地区	上分地区	241	2.5	8.7	0.8	1.7	1.2	2.5	2.1	3.7
	新荘地区	370	5.7	9.7	0.5	1.9	1.4	4.6	3.0	4.6
	須崎地区	875	4.6	7.4	2.4	2.3	2.5	4.3	3.8	6.4
	多ノ郷地区	1,164	3.6	6.6	1.4	1.4	2.8	3.5	2.8	3.8
	吾桑地区	410	3.2	9.0	2.4	0.7	2.2	3.2	2.7	3.7
	浦ノ内地区	428	3.5	9.8	1.9	0.9	3.5	4.9	3.0	8.9
	南地区	205	5.9	6.8	2.0	1.5	3.4	2.9	2.0	5.9
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	3.4	7.1	1.0	1.3	1.6	3.2	2.2	4.2
	要支援 1・2	253	13.0	△ 18.6	10.7	5.1	△ 15.0	12.3	△ 13.8	△ 19.0

単位：％

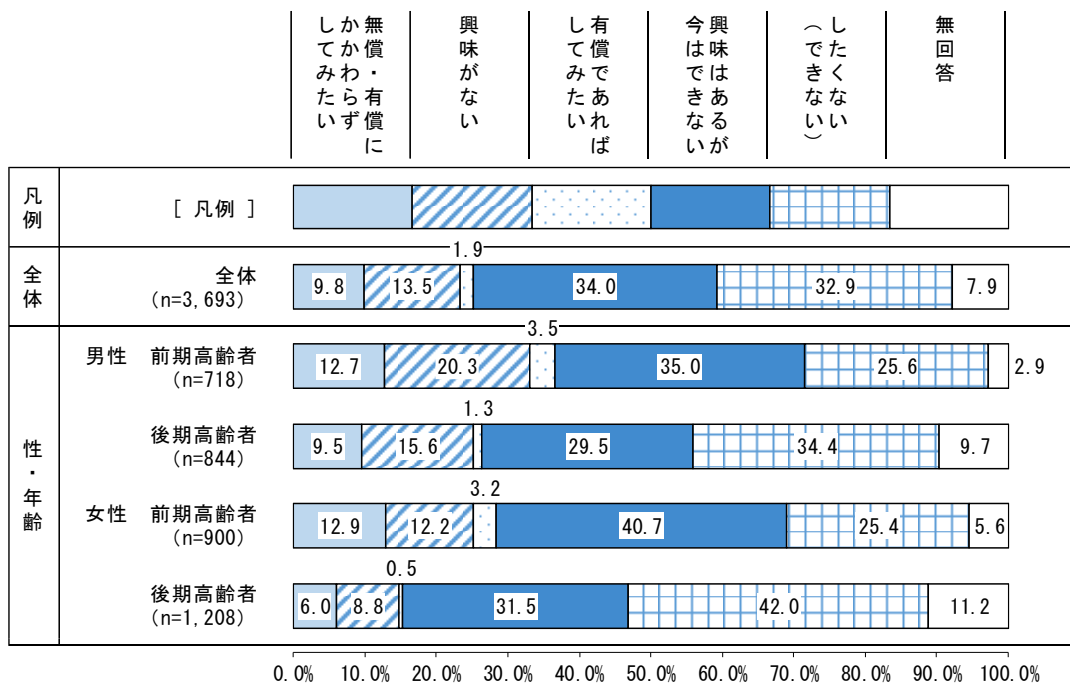
		母数 (n)	現在の生活で困っていること(MA)						
			電球の 交換	掃除	買物	服薬	その他	特になし	無回答
全体		3,693	6.1	5.3	4.7	0.6	3.8	66.3	8.6
性・年齢	男性 前期高齢者	718	1.1	2.1	1.1	0.4	3.3	△ 79.4	5.0
	後期高齢者	844	4.0	6.6	4.3	0.9	4.0	63.0	10.8
	女性 前期高齢者	900	4.8	3.1	1.6	0.3	3.2	75.7	6.2
	後期高齢者	1,208	11.6	7.9	9.3	0.8	4.3	▼ 54.2	10.9
地区	上分地区	241	4.6	5.4	3.3	0.4	2.5	71.8	10.4
	新荘地区	370	4.1	4.9	3.0	0.5	5.4	66.2	7.0
	須崎地区	875	6.9	5.7	6.4	0.6	4.3	66.9	5.5
	多ノ郷地区	1,164	7.1	4.6	4.0	0.7	3.2	67.5	9.4
	吾桑地区	410	6.3	5.6	3.4	0.5	4.9	63.7	11.2
	浦ノ内地区	428	4.7	6.5	6.3	0.9	3.0	63.6	8.6
	南地区	205	5.4	5.9	4.4	1.0	3.4	62.4	13.2
認定該当 状況	一般高齢者	3,440	5.2	4.4	3.4	0.6	3.7	68.8	8.5
	要支援 1・2	253	△ 18.2	△ 17.4	△ 22.1	1.6	5.5	▼ 33.6	10.7

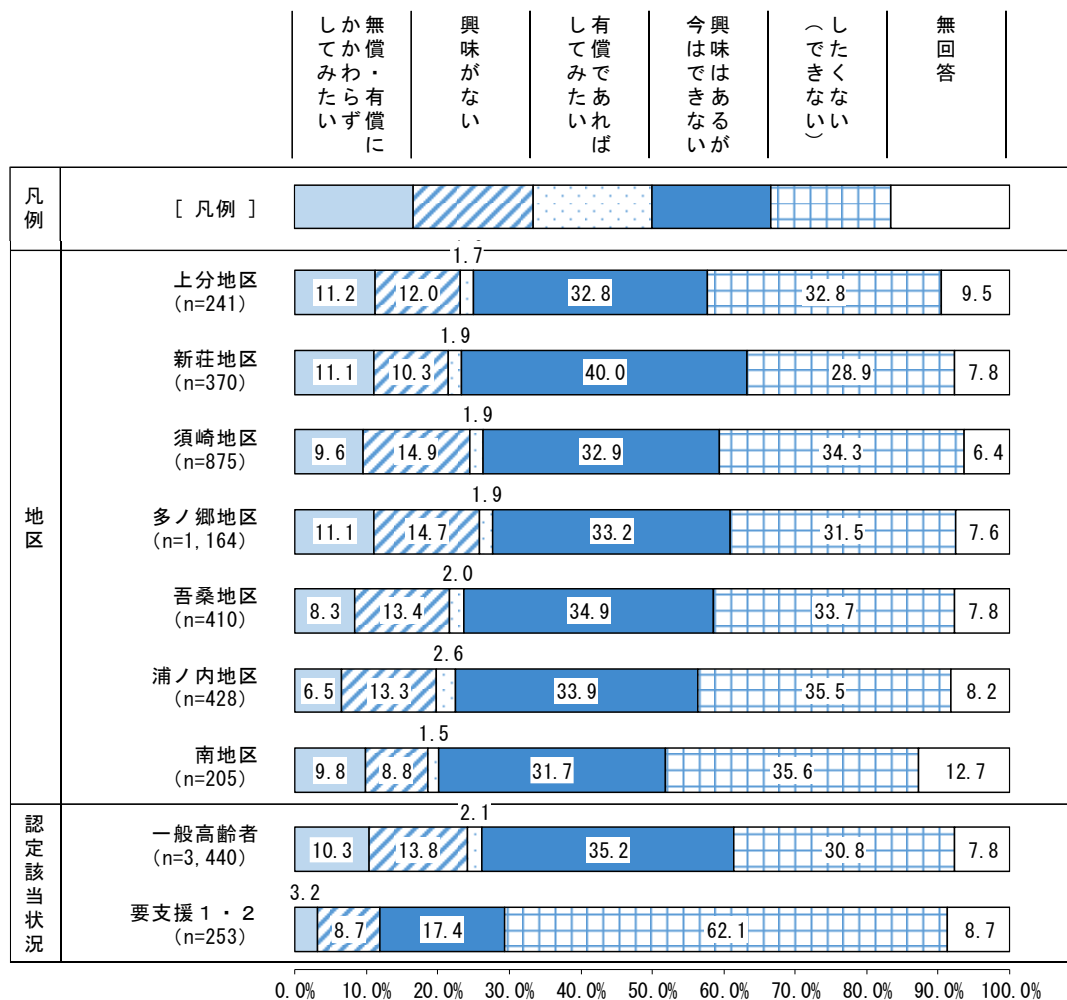
(4) ボランティアへの参加意向

- 問10.6 自分出来ることを生かしてボランティア活動をやってみたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】	
○	自分出来ることを生かしたボランティア活動の参加意向について、「興味はあるが今はできない」が34.0%で最も多く、次いで「したくない（できない）」が32.9%、「興味がない」が13.5%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「無償・有償にかかわらずしてみたい」が多くなっています。
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「興味がない」が多くなっています。
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「興味はあるが今はできない」が多くなっています。
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「したくない（できない）」が多くなっています。
【地区】	
○	「無償・有償にかかわらずしてみたい」は浦ノ内地区が6.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
○	「興味がない」は須崎地区が14.9%、多ノ郷地区が14.7%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「興味はあるが今はできない」は新荘地区が40.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「無償・有償にかかわらずしてみたい」は一般高齢者が10.3%と要支援1・2の3.2%に比べて多くなっています。

【ボランティア活動をやってみたいか】



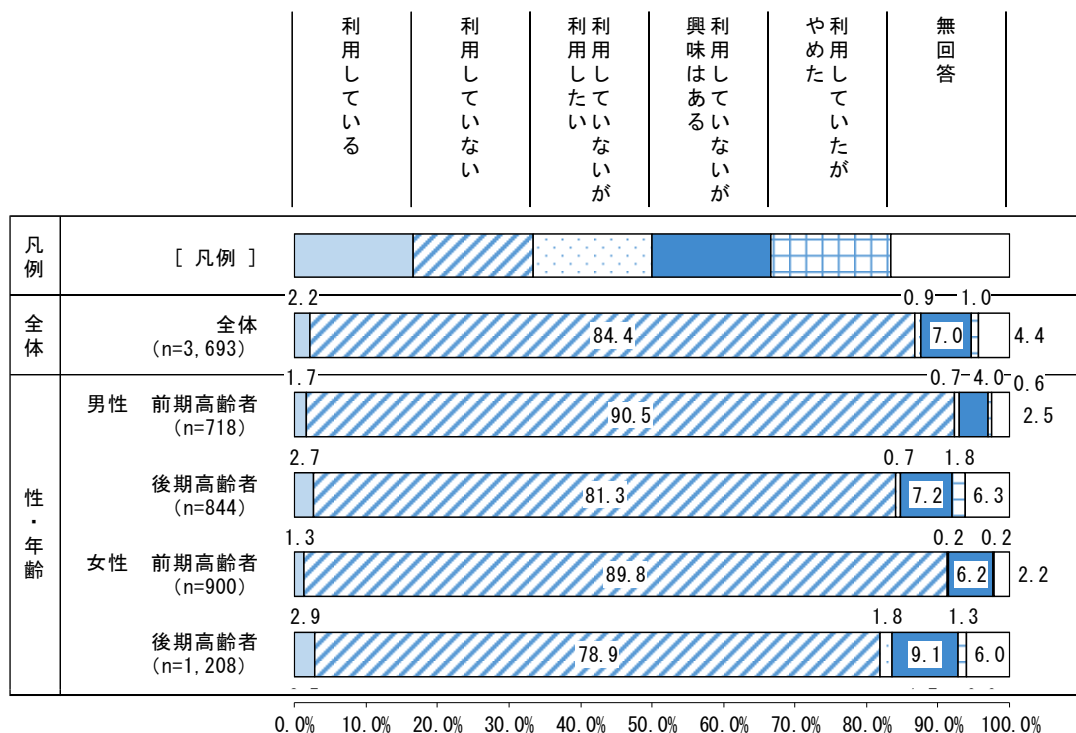


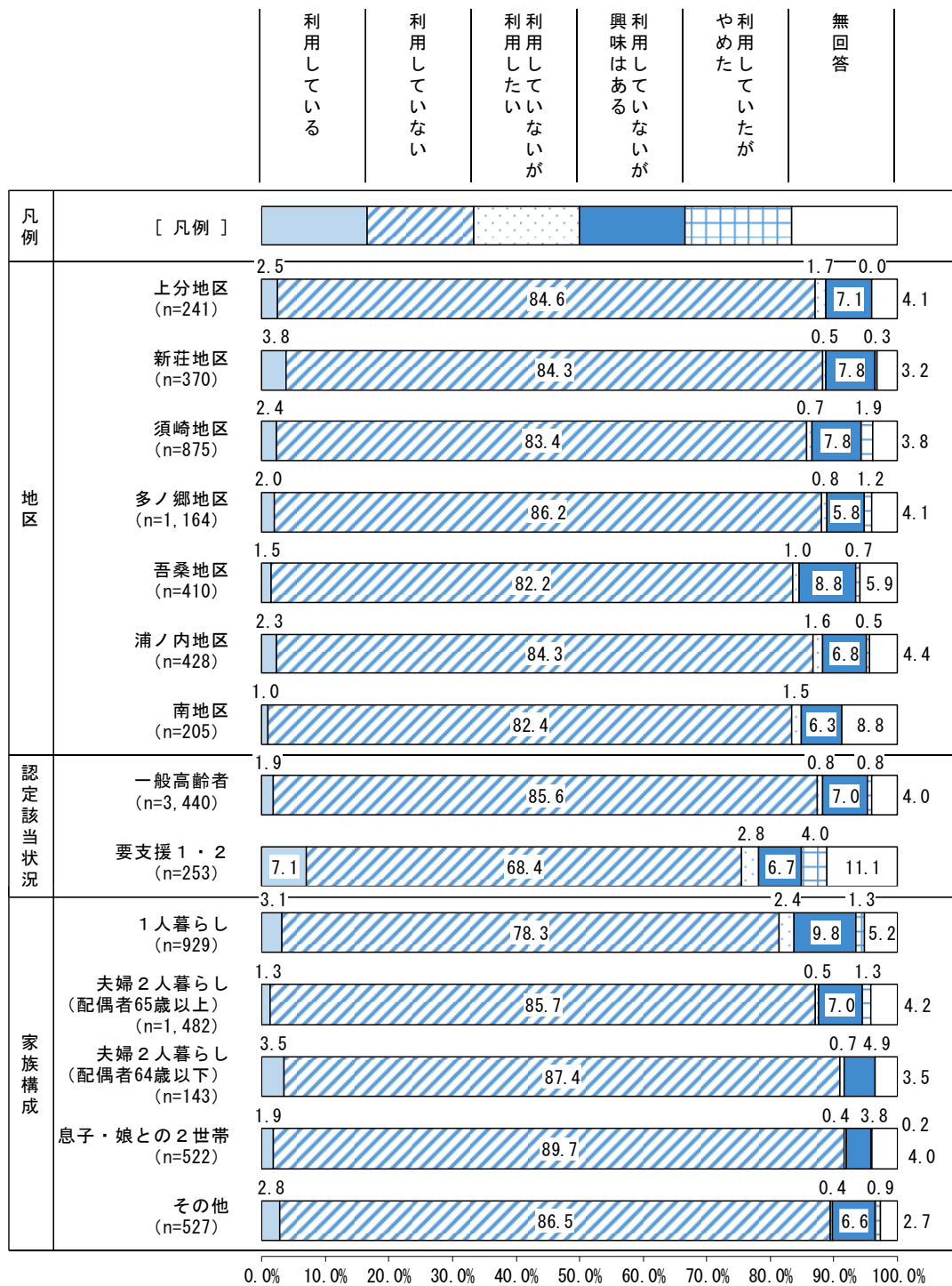
(5) 配食サービスの利用状況

●問10.7 配食サービス（民間事業者が行う有料のもの）を利用していますか。（1つだけ○）

【全体】	
○	配食サービスの利用有無について、「利用していない」が 84.4%で最も多く、次いで「利用していないが興味はある」が 7.0%、「利用している」が 2.2%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「利用していない」が多くなっています。
○	「利用していないが興味はある」は女性 後期高齢者が 9.1%と他の区分に比べて多くなっています。
【地区】	
○	「利用していないが興味はある」は吾桑地区が 8.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「利用している」は要支援 1・2 が 7.1%となっています。
【家族構成】	
○	「利用していないが利用したい」「利用していないが興味はある」は 1 人暮らしが他の区分に比べて多くなっています。

【配食サービスの利用】





- 問10.7-1 配食サービス（民間事業者が行う有料のもの）を利用していない理由は何ですか。（1つだけ○）

【全体】

- 配食サービスの利用有無を利用していない理由について、「詳しく知らないから」が48.3%で最も多く、次いで「金銭的に厳しいから」が16.7%、「対象地域で無いなど申し込みができないから」が2.7%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「詳しく知らないから」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「金銭的に厳しいから」が多くなっています。

【地区】

- 「詳しく知らないから」は須崎地区が60.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「金銭的に厳しいから」は新荘地区が25.8%、吾桑地区が22.5%、南地区が25.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「金銭的に厳しいから」は要支援1・2が33.3%と一般高齢者の15.2%に比べて多くなっています。

【配食サービスを利用していない理由】

